

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』「葵」翻刻

凡例

一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重書庫092.4/75/H）を用いた。

一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次のような操作を加えた。

1 次の文字は通行の字体に改めた。

(例) 爲↓為 肩↓書 往↓往 寸↓時 虽↓雖 畧↓略 灵↓靈

拜↓拝 遲↓遅 难↓難 广↓磨 獨↓独 亓↓事 算↓算

早↓畢 麻↓鹿 告↓旨

2 合字は分割して翻刻した。

カ↓ヨリ メ↓シテ・シタ 下↓コト

3 漢字に付された濁点は（・）で表した。

4 振り仮名などの傍記は、右側のもを（ ）で括った。

5 本文に傍記されている日付は ≪ ≫ で括った。なお丁数が一緒に記されている場合も同様に表記した。

6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字においては、文字サイズを小さいままとした。

7 割り注は「」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、

割り注内の改行は / で表した。

一、反復記号は、ゞ々 / など、原態に近い形で翻刻した。また、

濁点の付されたヲドリ字は / (・) で表した。

一、堅点の表記は右側のもを「去*年」（三才）、左側のもを「今年」（三才）のように表した。

一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂

正文字を（ ）で括った。

一、抹消は●で表した。

一、写本の損傷により判読不能の文字は□で表した。

一、挿入記号は◇で表し、挿入文を（ ）で括った。

一、一文字空白はアンダーバーで表した。

一、文字に付された圏点は・で表した。

一、和歌の開始記号は「で表した。

一、本文中に見られた「の記号は『で表した。

一、頭注は（ ）で括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐものは、開始丁にまとめて掲載した。

日向一雅
木下綾子
芝崎有里子

一、図は〔図(番号)〕と表し、図版を別掲した。

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 木下 (校正) 芝崎 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯浅と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・

RA) で再修正を施した。

翻刻

【一オ】

源氏物語聞録「葵九」

【一ウ】

【二オ】

葵

《十一月朔日會》

此卷ハ抄ノ通哥ヲ以名ク葵ノ哥二首アリ一首ハ「ハカナシヤ」是源内侍ノ哥也又一首「カサシケル」是源氏ノ哥也源氏ノ物語故凡源氏ノ哥ヲ以名付トシタ者也此卷源氏ノ哥デ名付タトシレヌソノ子細ハ源内侍ノハ人ノカサセル葵ユヘ是葵也源ノ哥ハ葵ヲヨミヤリヌ也逢日ヲトヨマネハナラヌソレ故此卷ハ源内侍ノ哥ヲ以名付タ者也此卷ハ源氏ノ二十一歳カラ二歳迄ノ事記シテ初メ紅葉賀ハ十九歳ノ三月迄ミユ一年半餘ノ事見エズ其ノ間ニ桐壺ノ帝ノヲ位ユツル事朱雀院源氏ノ兄ゴ位ニ即事其弟冷泉院東宮ニナル事悪后朱雀院ノ母是ヲ后ニナル事賀茂ノ齊院ヲ定アリ伊勢ノ齊宮ヲ定アル此六色カゲニナリアル

也一年餘ノ間ニ是有テソレヲカゲニシテ前カド有テトシテアル也

○世中―世ノ中カハリテ後ト云ハ先程云様ニ紅葉賀ニハ見エヌ事ナレドモ源氏ノ父帝桐壺御隠居ナサレテ兄ゴノ世ニナル也ソノ母ゴハ太后トテ源氏

【二ウ】

トナカ悪也ソレ故ソノナカ悪ヲ后天下自由ニナサル万―ハ父ゴノ御代(ミヨノ)様ニナリ扣ヘメニナサレネバナラヌ也御身ノ―ソフトハヲ位上ル事也源ハ紅葉賀迄ハ宰相也此デハ大将也宰相デ兼帯也大納言中納言ヲモ兼帯スル也ヨイ人デナケレバナラヌ是親王故ニナル也モカヅ也先程云カズノ二ツ也カ／＼―大将ニナルト隨身ナト上(カミ)カラ下サレ人付アルク色也事デ歩ク事ナラヌ也人目ツ、ム也コ、モ―源ヲ忍処方々ニアルニタビ／＼エ行ヌ故皆待カヌル也コ、モ―ト云中ニハ六条ノ御息処ナド處コモル也ムクヒニヤ―此様ニ源ノ先ノ待カネル処ニ行ヌソノ先ノムクヒニヤ源ノマ、母藤壺初メカラ心カハシテアレドモ先モヲ后ニナリヲ年スクニ従ヒアルマイ事ト思ヒ源思ドモ逢ヌ也惟サヘモ藤ハツレナフモテ為ニ況シヨ方ヘ無沙汰ナサルソノ怨ニヤ猶以藤壺ツレナヒ源ノ思シナグク也今ハ―今ハ桐壺御隠居故前サヘモ御出頭デゼウジウヲソバニアルニ院ニナリ今ハマシテ也天子御ヒマ故ニ藤壺ゼウ住ヒツソヒテアル也

【三オ】

天子ナドソ様ニソフテ居ル事ナケレドモ御隠居故平生ノ人ノ様ニタトウト(ド)ノ様ニソヒアル也今后ハ―朱雀院ノ母ゴ也ヲ子天子ニナル故ゼヒトモヲ后ニナル是ラモ陰ニナル去*年今年ニナルコレラハシレヌ也ソノ藤ノヲ后ガ天子ニヒツソヒアルヲ立腹也内ニノミ―是藤ノ事也今ハ天子ノソバニヒツソヒアル故誰ジヤ藤ニ立并争フ人ナヒ故藤ハ却心易院ノソバニ引ソヒアル

也折―桐壺隱居故折節ニ從ヒ樂ナドナサルケクデヲ位持テアル時ヨリヲラク
 ナ故人ノウラヤム程ニゲウサンニシタ樂也セ間ニヒゞキワタル様ナゲフサン
 ナ樂スルケクデマヘノヨリマシジヤト也院ノヲ身モ藤ノ身モラクジヤト云也
 惟―藤ノヲウミナサル子也源ノ弟ナレドモ実ハ源ノヲ子ナレドモ院シラヌ故
 也此東宮ニナルモ陰（カゲ）也モ六ノ中也院悲シフ思召也御―キツトシタ
 大（一）臣ト云様ナ東宮ノ後口見ナヒ也ソレ故カノ源氏也此デ初テ大将ノ君
 ト云也先ノヤンゴトナサモソフト云是也聞―云付也ウシロミヨト被仰也カタ
 ハラ

（○源氏男女官職私考曰今后―后ノ事桐壺紅葉賀花宴等ノ卷ニ委記ス位也爰
 ニイヘルハ帝母ノ御事ナレバ皇太后宮ト聞エタリ）

【三ウ】

―ハツライ也実ハノシノヲ子ヲ天子知ヌ故也ウレシイハヲノシノ子デ天子ノ
 被仰付ナフテサヘ後口見シタイニ被仰付故猶ウレシイ也マコトヤハイツモア
 ル詞也マヘニ乱ノ事段々書コレヲソフナルトテ思ヒ出シタ様ニ書今デモ俗ニ
 思ヒ出シテ誠ニソレト云也是也彼―六條ノ御息所ノウム姫君也前坊ハ六條
 ノ御息処ノ前ノテイ主也是ハ先ノ東宮也此姫宮ハ源ノイトコ也先坊ハ桐壺ノ
 ヲ弟源ノヲヂ也此御息処ウム姫宮齊宮ニナルモ陰也此年野ノ宮ニ入り来年伊
 勢ニ往也齊宮ノ定メアルト一年禁裏ニ入ル一年スギ野ノ宮ヘ入りソレヨリ伊
 勢ヘ往也是ハ垂仁ニ初ル姫宮ヤ妹ゴカ齊宮ニ立身ニ不幸アレバヨリル也伊勢
 ヘ下テ天照大神祭事アル今ハ無也大将―ハ源ノ御心イト―ハ六條ノ御息処タ
 ノモシゲナフ無沙汰スル故ニ六條ノ御息処ノヲ心ニ大将頼もシフナヒト思也
 姫宮ノ齊宮ニヲスハリ故ソレヲ幸ニシテ源ノヲ心モ頼もシフナヒ故カク―齊
 宮ノ姫宮ヲ年ユカヌ漸十三四也ヲ年ユカヌ故

（○齊宮ハ伊勢齊院ハ加茂也上（カミ）加茂也外ニ無事也八幡ニアルベキ
 ニ無也齊院ハ三年キンリニ在也齊宮ハ一年也大和姫ノミコト伊勢ヘモリ行
 初メコレヲ例シタ也トヨスキイリ姫初也伊勢ヘモルハヤマトビメ也今伊勢ニ
 ヲクラネト云アルコレソノ例也ト云今モ其ニ立ト榊来テ其家ニ立ト云也古ノ
 ハ帝位スベルトカフル父ミカドソノマ、アレドモ母后崩シテモカハルナリカ
 フレバ縁ニモ付也式子内親王モ齊院也齊院ノ野宮ハ紫野也四日程也齊宮ハ嵯
 峨也一年也新ニ極ル也ケツサイノ為也此次ノ卷榊也カノ齊宮伊勢へ行時ニ付
 テノ榊也御息処付テ伊勢ヘ下ル也アトハステヲク也クサリ次第也又外ノハ別
 ニ極也ソフタイ神祇ノ事ハ皆ソフシタ者也三年ト雖二年目也仏家ニ云三年忌
 ト云モ二年目也キンリニ一年サガニ一年三年目ニ下也紫野ハ京ノカミ也今宮
 アタリ也北ノハヅレ也サガニハリノアトノ処ニシテアル也野宮トテアル也黒
 木ノ鳥井ト云処ニシテアル也サビタ者也）

【四オ】

ツイテ往ト云ル也是モト嫉妬ブカヒ故カノ齊宮ノヲ年ユカヌニカコツケテ也
 ウシロメタイハ心モトナヒ也兼テ齊宮ハ去年ヨリ定ル故コレ幸ニシテ下ラン
 ト六條御息処思也院ニモ―是モ源ノ父也此デ初テ院ト云タ也故宮―是カラ父
 帝源ヘ御教訓ノテイ也此故宮ハカノ桐壺ノ弟ゴデ前ノ東宮源ノヲチゴ也六條
 ノ御息処ノモトノ亭主也御息処ヲトキメカシテ馳走シテ御息処也前ニソレ程
 大切ニナサルヲ源ノ思ヒ者ニシテ從ヌヲ云ナビケテソレ程ニ源思召ヌ故院モ
 氣ノ毒也カク／＼ハ源ノ平生底ノ人ノ様ニモテナス也イトオシキ也齊宮―
 ソノ六條ノ御息処ノウム此タビ伊勢仆（二）下ル齊宮也院ノシノヲ子達（タ
 チ）同前ニ思召也此ミコタチハノシノミコ達也イツ方―ヲシモ此様ニ思フ其
 方モヲヂノ事也イトコ也イツ方ヘツケテモ愚―也六條御息処籠略ニセヌガヨ

カラント也心―心ノナグサミ色好ノ心ニマカセテカクノ如クスキ／＼シキワ
ザシテヨノ―セ間ノソシリウケント也御―院ノ御気色悪也我

〔○私考曰大将ノ君―大将ノ事紅葉賀ニ記今コ、ニ云ルハ源氏ノ君参議ニテ
大将ニ任シ玉フヨシ也元ヨリ源姓ノ任例ナケレバ本文ノ如ハ例ノ一躰ナルベ
シ〕

【四ウ】

源ノヲ心ニ父帝思召様ニ思也カシコマリ―返答モセズ恐レ入テハツト云アル
也人ノタメ―院ノ被仰ハ恥―アトデ出ル車争杯御息処大ナ恥カクモ源ノカラ
ト見エルコレラカラヲン靈ニモ出ト見ユナダラカハマンベン也女ノ怨ヲハヌ
様ニセヨ也ケシカラヌ―左様ニ父ノ御異見ニ付ケシカラヌハ藤ト密通杯聞付
玉フ時ニ也カシコマリテ―ハツ／＼ト云ソコヲ出也又カク―院ノ六条ノ御息
処ノ無沙汰ノ事ヲ聞ナサルヤウ被仰ニ付人ノ―源ノヲ心ノ中(ウチ)ニ六条
ノ御息処ノヲ名立ナビキニクヒヲナビカシソレニ従フヲ年デナヒニ源ノ立反
ヲ身ミルニナビケテヲキ行ヌハスキ／＼シイ不信実ナト人思ハン也イトヲシ
キニハ六条ノ御息処ノ心底笑止也イト、―六条ノ御息処ヲ笑止ナ故弥ヲ心ニ
ハソマネドモ之ヨリレキ／＼大臣ノ女メ也ヲヂノ後家故籠略ニハ思召モツラ
ウシテキノドクナトハ思也マダ―大切ニ尊敬(ソソケフ)ニハ思召ドモ御内
々デ忍デノ分デ天子モシレトモカゲサマニスル也女モ―六条ノ御息処モ源氏
ニハ

〔○◇(兼道云)オホケナサハオホウケナヒ也百人一首ジエンノ哥ノ処可考〕
〔○私考曰前坊ノ姫君前坊コ、ニイヘルハ小一條院ニヨセテイヘルヤ帝王編
年記ニ敦明親王三條ノ院皇子号ニ小一條ノ院是也長和五年正月廿九日立坊〕

〔○私考曰齊宮ノ始ハ人皇第十一代垂仁天皇ノ御宇倭姫命ヲ齊王ニ定テ後天
皇即位ノ始ゴトニ改カヘサセ玉フ也其御時先ト*定次ニ初*齊*院次ニ野宮
次ニ伊勢ノ齊宮ニ入玉フ皆キ式アリ〕

【五オ】

八ノ姉女房也年不相応ナト御息処ノ心ニ思也不相応也似タケナヒ也打トケタ
様ニナク遠慮ブカウス此宮ハ發明ナヲ人ノ氣ノタケ／＼シイギツトシタ人也
妄◇(ガハ)シイ事ナヒ人也ソレニ―トハ彼宮ノ御息処ノ心トケズギツトシ
テ打トケヌ也ソレニ従タルハアチカラナツカシウセヌソレニ従タ様ナ顔シ
テキツトスル故ユキニクイ様ナ顔シテユカヌ也ユキトムナヒ故也是アル事也
モテナシテト此デ句切也院ニ―父院モソシナ事シリセ間人モ源ノ御息処ヘ通
フ事シラヌ事ナイ也シラヌハトハノ字入レミル心也シラヌハ也ソレ程カクレ
ナヒヲ源ハ深フ思召ヌ也見ルヲ源ヲ心フカフナヒヲサラ／＼ムゴイト御息処
思也此ニ隔句アルモテナシテ院ニトツバカヌ也モテナシテフカウシシモトツ
バク也源ノブサタ故ニシナツコシウセヌヲ源ハソレヲ幸ニシテソレ故ユカヌ
ト云ヤウニスル也カ、ルーコンナ源ノ御息処ヲ籠略ニスル事ヲ權ノ姫君聞也
權ノ姫君ハ源ノイトコ也桃園ノ式部卿ノ女メ也源ノヲ心尽シ文ヤルニ従ヌ也
ソレガヒンシヤントセズ上手ニ源ニ従

【五ウ】

又氣也一生源ニ従ヌ人也源氏一部ノ賢女トシテアル世ニヒバクヲ美男ニソレ
程心尽スニ御息処ナドノ様又見トカク従ヌガヨイトテ一生ハリ切り従ヌ也御
息処ノ様ナニ似マイ似テ源ニスサメラレステラレテハモノ思ヒノタネト思也
ハカナキ―返事アイマニアレドモオサ／＼御息処様ス見返事モロクニセヌ
也サリトテ―ソレジヤトテニクサゲニ文(フミ)モ取上ント云様ニハセズシ

ナツコシウシテアル也源ニ從ヌトテ君ハ源也源ハヲ心ニモ人ヨリ各別ナナサレ方ト猶思也ワタルハソウ思テ月日ワタル也思シハ權ノ事思也大殿―是カラ葵方也源諸方ノ忍ビアルキシテ葵ノ方ヘハシカ／＼ゴサラヌ心―ハヨウナヒナサレ方ト思也アマシソレヲカクシテカクレテ行トセズハツ／＼トスル也イフカヒ―云テモ益(ヤク)ニ立ヌ様ニ見エル也フカウ―ソレ程ニ怨モ葵セヌ也心―是葵上御懐胎也御病中故心細フ葵ノ思也メヅラシウ―源モ初テノ事故今迄ナヒ也御懐胎故ハシ／＼ハ大切也ウレシキモノ乍(ナガラ)ユ、シウ―ハ心モト

【六オ】

ナウ御大切也コトユヘナフ御産アレト思也御ツ、シミハ御祈禱モノ忌(イミ)トウナサル也カヤウナル―御懐胎デモノ忌キ禱ノ時ハ源弥急(イソ)ガシイ也御息処ノ事心ニヲコタルニ非ザレドモ御サンノ祈ナドデセ間ヘモ一統ニゴブサタナラント也其比―齊院ト云ハ是ハ加茂ヘ往也伊勢ノ齊宮ニ往様ニ天子ノ御代(ゴヨ)初二妹ゴデモ姫宮デモ進ゼラル是モ有タ事也オリキ玉テハ院ニナルトソノ時分ノ齊院ヲリル事也ソレヲリル故コンドメノカワリ往也キサイ―院ノヲ女メ女三ノ宮往也源ノ為ニハ妹ゴ也紅葉賀ニヒメ宮ノ御モ著(ギ)ノトアルソノ姫宮也去年カラ也帝―帝悪(アク)后御大切ニ思フ宮ナレバ筋―御両親様トモ御大切ニ思フ宮ユヘ此様ニ神事杯デ各別ノ事也セ間ノ人トカクベツニゴサリ処モシメ張リケツサイスルカク別ニスル筋コトニ也イト―御両親様トモ心苦也心苦氣遣ナレドモコト―コトハ外(ホカ)也外ニ齊院ニナルナヒ故大事ノ姫宮ナレドモ進セネバナラヌ故ヤル也ギンキ―残タギ式サ法アル也加茂ノ神ヘ進ルカミゴト也イカメシウ―大事ノ姫宮故キツト

(○私考曰齊院ノ始ハ末摘ノ卷ニ記ヌオリキ玉フトハ是前齊院也其(ソノ)

オリ玉フ時ハ辛崎ニ於テ祓ヲ修ス是神事ノ解*除也トイヘリ延喜式齊院式ニ詳也)

(○同御禊トハ齊院ヲト定(ウラサタメ)ソノ後二度ノ禊也)

(○兼道按湖月抄ニスチゴト、濁ル恐ハ誤ナラン筋異也スムベシ)

【六ウ】

サハギテイツキカシツキ奉也祭―加茂ノ祭ノ程也去年カラ齊宮ニ具ハルハツニナルト初*齊(シヨサイ)◇(院)トテキン裏ノ中◇(左衛門ノ陣)デモノイミスル処ニソコニ注連(シメ)ハリ三年居ルコ年御禊(ギヨケイ)トテハライシテ加茂ノ野宮ヘ入ル也ソレヲ義式ト云祭ノ時分ニ残タ齊院ノ義式アレドモソレニ事ソヘテ大事ニスル一切ノ事其人故ニケツカウニモナル事ソウナト也一年キンリニ在カモノヘ行前三日加茂ノ川原デハライシテソレカラ紫野ヘユキ四日程ヲリカモヘ行也カズ―ハ加茂ヘヲ入ナサレウトテノゴケイノ義式ニハヲトモニ行カズ残◇(アル)也大納言一人中納言一人參議二人合シテ四人也四位四人五位四人十二人也元ヨリ大事ノ姫宮故ケツカウニト思召故十二人ノ役人ノ中モ別シテ形ウルハシイ人エラム也ソノ日ノ装束リツハ也下重―装束ノ下ニキル袴(ハカマ)二重ニキル也上―ウヘノ事也平生ノヨリハデニスル也トリワキ―各別ニ源ヘ院ノギヨイ下リコノタビ齊院ゴザル程ニ源氏ヲ出ナサレ見ツクラヘ也カネテ―源モゴザルトテ諸方ノ見物心遣也源ノゴザル道ス

(○人カラト見エタリトスマバ如何日ガラト濁テヨシ心ハ人ガラ也カラト見エタリノ心也人ユヘノキミ也哥ニモ猶人ガラノナツカシキ哉トヨミアル也ハ、キ、ノ卷ニアル也)

(○ハカマ二重ニキル如何日男女トモニハカマヲ二重ニキル也)

△トトリワキタル宣旨トアレハ源氏ハ参議二人ノ外歟抄ニハ二人ノ中トアリ如何日参議二人ノ中也サンギハ八人アルユヘドレデモナレトモ源氏行也コトニゲン氏ノ様ナレキ／＼ユカネドモ今日ハ行也

【七オ】

ガラ拜セントテ出ナリ

△五丁ウ十一月六日會

△一条ノ今日ハ彼御息処ノヲ女メゴノ齊宮ノゴケイノヲトモ也ゴケイハ伊勢ヘヲ下ノ齊宮去年被仰付テ一年ノ間ケツサイシテ左衛門ノ陣ヘ入テアルハヅナレドモ故障アツテ御息処ノモトニ在也此事先ニアル左衛門ノ陣ヨリ加茂川ヘ御禊ノハラニニ往ハヅナレドモ六条ノ御息処ノモトヨリ加茂川ヘ行也ノヲトモニ行也源氏モ各別ノセンジ也十二人ナル中原氏カクベツノ宣旨ハ宰相二人ナレドモ源氏ハ大将也宰相兼帶也(故)各別ニ宰相故齊宮ノグブスル也カネテ源氏ノ物語故外ノゴケイノ見物ヨリ源ヲ出ニヨリ見物ノ人多ト書也諸方ノ見物車心遣シテ見物ニ出タ也心ハサマ／＼ビレイ尽シテ花ヤカニシテ出也一条古大内裏ノ時ハ一条ヲ、ヂ二条大路トテ平生ノト違ヒロイ也抄ニヒロサ廿丈トアル拾芥抄ニハ一条通十丈二尺トアルト覺タリヒロイ事也車スリヤウユキ違様ニスル也ムク

△五丁ウ宣旨カナモノニテハドコニテモセイジトヨムヤ曰然リ

【七ウ】

△ハスザマシイ程ニ也処々ノ公卿カシメノサジキ也トクシツライ也人ノサジキヲモ車デモ女中キル装束ノ袖出ヲ袖口ニキヌ重ヌル段々ミセル此様な晴ナ時ハ外ニ出(ダシ)袖トテ出ス也ハ兩方コシタテホンノ袖作

リ袖モアル也ソレサヘリツハニ見事也大殿ノ葵上ハコンナハデナ見物ハ平生トモセズソノ上ニコノサヘハソヘル也御懷妊故ニ思カケヌ也イデヤハ発語也己私トモ別ニ参リ見物シテハ出バヘセヌヲ出デナケレバ也凡人凡*人(ホンニン)平生源氏ヘ御縁ナヒ者サヘ也怪トハ賤ノ者也怪ノシヅノヲシヅノメ也怪ノ山ガツト云怪ハ*審シタ事也山カツシヅノヲハ貴人カラハ目ナレヌアレハ人歟ナシト見違カラ云也人デ無トハ見違ネドモナニ者ト分◇(ラ)ン也遠方ノ国／＼ヨリモフデクルナルヲ也ヨソサヘミルニアマリモハ俗ニ云アンマリナ事也大宮大宮ハ母ゴ也此節ハ葵御キゲンヨイ也時分也サフラフ御前ニ奉公スル人モサビシソウ也トテト云ニ進メラレテゴザルニナル事コモル也メグラセト云ヲ假名ノ絵入ノ源氏ニハ車メグラセテイタト轉ノ

△車ノ兩方ハハザマノミ也アト先ミスナレバソノミスノ間ヨリ袖ヲ出ス也兼道按紅葉賀ニ出袖事ヲ記ス

△六丁ウ抄唐庇、「カラビノサシ」檳榔庇、毛車ハ緒毛ノ車也尼眉ハアママユ半部ハハジトミ網代ハアジロ也八葉ノ車ハ内ノ繪ノモヤウ八葉アル也九葉ノ一ツタラヌ様也梅バチハ五也九葉モアル也八葉スマズ皆飾抄ノ終ニ出也

【八オ】

字書ソレニ非ズフレヲナス也ヲ供ブンヲメグラセトモヲ催也是ガ大ナ戒也ソフタイ貴人ハ此様ニハ出ヌ者也出(テ)バ前カラ頭向シテ出ル事也不明ニ出テハソソウナ事アル也大身ノ衆ハ出ルトヨソヘモシラセ内ノ者モシルハヅ也遅故日タケテ也ケシキモニハカナ事故ワザト事ニ非ス連属セヌ心也ヒマモナフ元ヨリ遅也大勢ノ人出ルカクゴ故早フ行キ場フサギ居ル也スキマナフ諸方ノ車ユヘ也ヨソヲシウ葵ノ大家故ニヨソヲシウデヨソヲイリツハニシ

タ也立煩故女房ノ立派ナ車多(ヲ、キ)故ドコヘ立ン様ナヒ也ザウ／＼車
 二付人少(スク)ナヒ也ケイゴノ武士ヲ云也皆ソコノケトテ車ノケサセ葵
 ノ車立ントスソノ中ニアシロ車アル也アジロハアソントハネルアジロ車ハ檜
 (ヒノキ)ヲアミ細(ホソク)シタ者也ヨキ車ハイト毛ノ車ビロウケノ車庇
 (ヒサシ)ザシニスル網代(アジロ)ハカルイ人乗ルヘイ生五位六位ノチヨ
 ト出ルニ乗ル御息処ハノラヌ車ナレドモ今日ハ忍デ出ル故ニアジロノ少シナ
 レタコブルイニワザト乗(ノリ)行也シタスダレハ網代ニハカケヌヒロウケ
 イトゲ

(○六丁ヲミ終如何曰見物也又問先ニ日タケユキテト如何曰源氏ハイツモ此
 例也死ナヌニ前ニ死ルト書アトデソノ事◇(又)書ナリ出玉フト書アトニ
 出ル事書也)

(○車ハ男女ノ車杯同コトナレドモソノ車ノミスノ間ヨリソデ杯出スヲ女房
 車ト云也)

(○アントヨムハアミシロト書字ユヘニハネル也曰タブンソフナラン先ア
 ンジロトヨムヨミクセ也)

(○私考曰女房車此車皆手引ナルベシコレラ腰車ト云ナカヘ高ラン輪等アリ
 又牛車ハ各別也云々)

【八ウ】

ニハ懸ル網代ニハカケネドモ女中乗ル時ハ内ヘ見ミス又カケル事アル人ニ
 ミラレマイ為ニ網代ナガラ懸タ也下スダレハ衣(キヌ)也向(ムカ)フ後(ウ
 シ)ロミスカケル下スダレハ二幅(ハバ)ニシテヒロイ也綾(アヤ)サヤ杯
 ノ絹(キヌ)ニハバ也青スソゴ紫スソゴアリ上(ウヘ)青下(シタ)紫ニス

ルヲ云也ソレヲカケル也ヨシ網代ハ古(フル)ビタレドモユヘヨシノアリ
 ソウナ仕立也心ツケタ者ト見ユイタウ先ヘ出物ゼウニ見ントセズ袖口モ
 得ト見(ミエ)ヌミスノ下(シタ)ヘ出レドモ御息処忍ブ故カクス也ソフタ
 イノシナレトカクモノニ氣ヲ付タ也モノモハ貴人ニ仕ル女中ハ袴(ハカマ)
 ノ上ニモカラ衣キル貴人ノ前デナケレバモハキヌ也装束ビナノ後ロニ白キヌ
 アル是裳(モ)也カザミハ童女ノキル者也御息処ノ召遣ノ童女ノル者也ソウ
 シタ色アイモン様ヨイ也コトサラニ別シテワザトヤツシテ外(ソト)ハ悪
 シテ忍ダテイ也ニハ一ハ御息処乗ル一ハヲ供ヤソウタイ貴人ノアトカラ行ハ
 弁當ソノ日ノ著(キ)ガヘナドアトノ車ニノセル葵上ノ車カズシレネドモ十
 両モ車行也コレハ一彼葵ノ威勢デゾウ人(一)ノツカヌ車ヲサシノケ葵車立
 ル皆ノケラレテ

(○内ニカケルキヌヌヲ下スダレト云也外ノスダレヲ下スダレト云也曰内ノキ
 ヌ故下スダレト云キヌニ非ザレハ染様ナイ也青スソゴモアリ紺スソゴモアリ
 紫スソゴモアリ)

(○私考曰アシロハ簾條ナリ又網代トモ見エタリ下簾トハ車屋形ノ内ヨリ
 前ヘサカリタルキヌ也其色ハ車ニヨリテ色々アリ飾抄ナトニクハシ)

【九オ】

タマリアル也御息処ハ先坊トテ先(サキ)ノ東宮ノ後家(ゴケ)也又源ノカ
 ヲリアル御息処モ大臣ノ女也アナヅラレル人ニ非ズトモノ人々口(クチ)ゴ
 ハイ也イツ方一是世間ノ評番也ドコデモアル事也草子ノ地也若キ車ゾヘノ士
 丁也其日ノ祭ニツキノケシ両方ケンクハ也エーソレヨリ上(カミ)ブンノ人
 故止レト云テモヤマヌ也オトナ／＼葵ノ上デモ御息処デモ御息処ノ前駆ハ
 無也前(一)駆ハサキノリ也葵上ハ先ヘ騎馬デ撰家ナレバ五位四位先ヘ往也

諸大(一)夫行也ゴセンハゼンク也ソノ様ニ争ナト云ドモ也ソナ事デ止ラ
 又也止ル人ハ二人カ三人カ也争者ハ多ユヘ声トバカヌ也齊宮一是ハ初二カノ
 アンジロノスコシナレタル下スタレート云ハ御息処ジヤト云事コ、デ断也源
 氏ノ御ソエンニナサルヲナグサマンヤト出ル也今日源ヲ出故也ツレナシ一カ
 ノアシロ車ノソソウナ車ニノリワレハレキ、デナヒト有ツレナヒハ変ゼヌ
 也御息処トアラハサヌ様ニシテアル少モヨイ人ノ顔セズソレ変ゼスニヲルガ
 ツレナイ也自(ヲ)アチヨリミシル也ハツレ忍デモ供マワリニ召遣ケ来知ル
 也サバカリハ御息処位ノ人ナラバ也モト葵上ト御息処ト源ノ事ニ付シツトノ
 イコンアル事葵上ハ貴人故思ネドモ

〈○七丁ヲエシタ、メアヘズハ如何曰エトゞメヌ也〉

〈○私考曰袖口裳ノスソカサミハ皆車ノ打出ノ衣也是ハ化粧ニコシラヘタル
 カザリ也カサミハ汗衫ノ哥ヨリ出タル和訓ニシテワラハノキル装束スソノ長
 キモノ也総合ノ卷ニクハシ和名抄汗衫(カサミ)〉

〈○同ヒトタマヒハ副車也河海二人給和名抄副車漢書注後乗也曾閑久流万
 俗云比度太万比〉

【九ウ】

ケ来ハ奉公立デ御息処位ナラバ也サバカリハチトノ事也サモ一ハソウナ云セ
 ソ也大将殿カサニキテ云也カウハ人ニ勝レタヲコウト云大将殿ヲ人ニスグレ
 タヨイ後(ウシロ)立ト思ヒ云ナラント也其御方ノ一源ノ御家来モ葵上御夫
 婦故入込也源ノ御方ケン帯シタケ来也マジ一ハ葵上ノ方ヘマジル也源ノヲト
 モシテアイマニ御息処ヘ行也イトオシ一笑止ナ事ト思也ソノバニ至リテハア
 チビイキモコチノ面アル故ナラヌ也アチノヒイキアラン故同様ニムガウ云也
 シラヌ顔シテケンクハスル也ツキニ一ツキニ御息処ノ車ツキトバスカノ葵ノ

車ソコヘ立ツバケタ也ケ来ノ車◇(ナド)モソコヘ立タ也御息処ノ車ハ人ダ
 マヒモ車ノ事也是ハ葵上ノヲ供車也ゾウ、ノ者ノセアル車ノ事ヲ云ナセ人
 ダマイト云ナレバソフタイトキンリノ御用デ人遣時ソノ人々ノ車ニノリテ出
 又ゾウ、ノ車ヲキンリヨリ下サル葵上ノヲ供ニ出ハケ来ノノル車ヲ父左大
 臣殿ヨリ下サル人ダマイハ人ニ賜(タマ)フ◇(心)也葵ノトモ人ノ車ノア
 トノモノナドノセル車ノマダオクヘヲシコメラル也物モ一モノ見エン様ナヒ
 也

〈○七丁ヲ豪ナレバゴウト濁ルベキニ非ヤ曰コウトスミテヨミテゴウノ字ノ
 心也〉

〈○禁裏ニカシ車アル也サナケレバ五位六位ノ人ナレハ多ク車ナヒ也〉

〈○父左大臣ヨリ賜フ車トハ悪カラシカ但供車ノ事ヲ人賜ト云テ元ハキンリ
 ヨリ下サルニヨリテノ名也然ハ今日ノ車ハ供車ノ事ヲ云ナラン如何曰雜車ノ
 惣名也必今日ノ車キンリヨリ下サレタニ非ズ人賜ト書也◇(人)賜ト云ハ
 車ノ事ニアル也和名抄ニソヘ車二人ダマヒト付アル也人乗ニ非ズ弁当ヤキガ
 ヘノセル也コレモ牛●ニヒカスナリ〉

【一〇オ】

ソコヘヲシコメラレタハ心ヤマシヒソレハツライキノ毒ナ事ナレドモカ、ル
 一見物ナラデ心煩ハソレナルガ忍ダ体ヲ見付ラレタガツライネタマシイ腹立
 也シマ一シマハ床几(セウギ)ノ様也車ハ牛デ引牛モ首(クビ)ニ長エヲ負
 (ヲヘ)バ草畝レルユキ付バ牛ハナシテ休息サシテソノカハリニ床几ニカ
 ケラク也シマモハシゴモロウニヌリ真チウナレド焼ノ金具ヨイ者也ソレモ打
 ヲラル、也スゴロナル一シマ無也◇(此)車ノドウト云ニ説アル也牛ノドウ

ト云ソレナレバ頸(クビ)ヘカケル也一説ハ車ノコシキト云輪ノ中ニロクロアルソノマワルロクウケル穴也ソレニ打カケルト云ソレニ非ズ車二両也上(ウヘ)ウチヌギ上(ウヘ)ノカサ無土臺バカリ残ルソレニ御息処ノ乗ル車ノ長エ打カケル也人スハルドウニカケヲク也又タグイ無人目悪也ソレカラクヤシイ也ナニ、一ナゼニ来(キタ)ゾハテコナンダラヨカツタト思ニカヒ無也モノモ一見物セズニ帰ラントスレドモヌケテ出ル路ナヒ也コトソフ云中ニ今齊宮ヲワタリト云也サスカニケフハソシナウキ目ニ逢タレドモサスカハ心アトヘ立カヘル也源ノヲ通故ミタイ也ツライ人ハ源氏平生ソエン

(○シバハ此ノ床几ノ様也黒ヌリ也又ハシゴハ車ハ牛ノクビヘカケル類高者故ソレヘノルニ用ルハシゴ也ハコハシゴニシテクロヌリカナグアリハシゴ一ツシバニツ皆別ニ人持取也)

(○私考曰シチハ權也車ニ乗トキ踏玉フモノ也又輓(クビキ)ヲモタスル也腰車牛車トモニナリテハ叶ヌモノ也九条殿家車ノ図式ヲ私考ニノス可考)

(○同ス、ロナル車トハ車フタツアルトイヘル副車(ヒトタマヒ)ナルヘシトウトハ輓(コシキ)ナリコシキ俗ニ筒ト云コレ輻(ヤ)ノアツマル処也シチヲシヲラレテナケレハ副車ノトウニ輓(クヒキ)ヲウチカケタルナルベシ)

【一〇ウ】

ニスル故ツライ也御前一ハ前通テ行◇(ヲ)也ソノハラ立ハアレドモ源氏故見タイハサスガニ也サ、ノクマ一古今ノ哥也「サ、ノト云カグラノ哥也シバシ川ニコマヲ止テ水カヘ影ダニミント也サ、ノクマナラバ止リミンニ御息処サ、ノクマデナヒ故エ見ヌ也ツレナク一源ノナニ心ナフ御息処ノ方ヲキ付ズシテ通也中々一中々ハ却テ也源ノヲ通ヲ見ル故弥心尽シテツライ也ゲニ

ソノ外々見物ノ車モノズキシテサマノケツカウ尽シテ見物車也ワレモ◇(一)コボル、ハ大勢ノルヲ云也サラヌ一其様ニ大勢ノル婦人故サラヌ一源ノミヌ◇(様ナ)顔スレドモソノ中源ノヲ通ヒノナジミノ女中ノ乗ルヲ見源ニツコリト笑テ通モアル也大殿一葵ノ車ハ著シクハツキリトシレル故源ケクマメ立ニツコリトモセズジチメニテ通也源ノヲ供葵上ソコニアル故恐レジギシテ通也カシコマルハソコヘスハルニ非ズ源ノ本妻故也ヲシ一ウシロニ御息処ヲ車アル委細ミエネドモ源ノヲ供ノジギシテ行程ノ事ミユル也ヲシ一ハヲシケサレタル也ウヘモナフ残念ト思也葵上ニジギスレドモ御

(○七丁ウ抄モ見ル事ナヒハ源ノ御息処ヲミヌ歎曰然リサ、ノクマナレバカゲ止レドモコ、サ、ノクマデアラン様ナヒ也又問カゲヲノミト云先ノ哥ナレバカゲミタニ非ヤ曰然リサレドモ先ノ哥ハミタ也此ノハ止ラズゲンノイタト云事ノミ也)

【一一オ】

息処ハ見エズ元ヨリ知ヌ也弥立腹也
○「カゲヲノミ一先ノ古今ノサ、ノクマノ哥ヲ承ルカゲヲノミ見一ハチラリト源ヲ今日ミル也処加茂也一条大路カラ加茂也ミタラシ川ハカモノミタラシ川也源ノヲ通ナサレテモアル者カトモ思召ヌテイガツレナヒ也源ノ今日ツレナフ通テ平生サヘミノウイニ弥ウイ也下地ケンクハデ腹立ニ源ノ通モツレナト思ドモメモ一源ヲ見ヌモ残念ト思也メモアヤハゲンノゴヨウス也アヤハモン也源ミレバ目ニ文(アヤ)ナス様也純子(ドンズ)ニ花アリツルアル様也キヌノモンミル様ニアル也イトゞ一今日ハ別シテ源ノ出バヘスルヲソレヲミネバザンネン◇(ナニ見テヨイト思)也コレ又心ヨハサ也程々ニ源ヲ出故

其外公卿大ナ言杯十二人ソ外ノ公卿立サウゾクハ装束也イミ―皆コシラヘタト見ユル中(ウ)ニ別シテ公卿ハ四位五位アル中前ニ宰相大言サイ相ハヨイ也上達部ハ公卿也一処ノソレ程ニリツハナレドモ源氏ノ一処ニヲ◇(シケ)サレアルモノカトモミエヌ也

(○私考曰カリノ隨身ハ花鳥餘情云假令納言ノ大将左ハ左番長一人左近衛ノ舍人五人スヘテ云人ノ隨身ヲユルサレテ召見ユル也右大将モ亦同シ其上ニ殊ニ晴ナル時ハ若ハ將監將曹府生各一人ツ、加ヘ玉ル事アリ是ヲ一負トモカリノ隨身トモ云皆地下ノ輩也然ニ本文殿上ノソウトハ六位ノ藏人ノ將監ヲ帶タルヲ云殿上ノ將監ヲ一負ニ見エル事例ナキ事也)

【一〇一ウ】

光源氏ノ物語故イクタビモヲシカヘシノホメル也大将―是ガスンド源氏一部ノ難義也隨身ト云者ハ中将モソレ也隨身ト云者上(カミ)ヨリモラウ元ヨリノシノケ来アルヲ番長ノ府生ノトテ六衛府ノ官エカケタ士下サル、ヲカリニツレル故ノシガノデナヒ故カリノズイ身ト云也大将◇(天上)隨身ノ中ニ殿上シタ人アル者也大将ヅレル事古今例ナヒ事也ソレヲ源ツレルスマヌ也殿上ノゾウニ將監(〃)將曹(〃)アル五位也コレヲ重事也ソレツレルハ撰閣也大将モ下(シタ)ニ立ユヘツレル也殿上ヘ上(アガ)ル假(カリ)兼帯ナレバ撰(セツ)関デモナラヌ也ナゼナラヌナレバ將監將曹ハ大将ノ下(シタ)ハ也大将中將少將將監將曹トユク也將監將曹ハツレドモ天上ノソウハナラヌ也此デ云ゾウハ將監將曹也四分アル大将ハカミ也中將少將ハ助也將監將曹ハゼウ也ゼウヲ假名デ書故ゾウト云也コ、デモ殿上ノゾウハ將監將曹也ナゼ將監將曹殿上スルナレバ將監將曹六位ノ藏人兼帯スル也藏人ハ

四位五位デ殿上スル者也六位ハ殿上ナラヌ也兼

(○布衣(ホイ)ハ無官無位也キ色也布ノ者也今キヌヲ用一条殿バカリヲ用也)

(○大紋ハ官位アル人キルスハウハ同モノナレドモ今日ノ上下也トツハイ也タレデモキル京ニテハ大工サヘキル一説ハ信長切テ上下トスト云大平記ニサヘ上下ノ名目ナシ松長彈正ヨリ初トモ云也大紋スハウ仕立同者ナレドモカザリニ紫皮付ノヒボトウノト達ト見ユ大モンハ背ニ大ナツルノモンアリスハウハ五寸斗ノモン也)

【一〇二オ】

雖將曹藏人ニナル故殿上スル也六位ノ藏人四人アル皆殿上スル也將監將曹デ藏人兼帯シテ殿上スル殿上スレバ禁裏ノ御(ゴ)前ヘ出御奉公スル故中々大臣デモ自由ニセヌ也ソレ故ニ珍シキ―天子ノナンゾ珍(メヅラ)シキ行幸(〃)ノ時天子ノギヨイデ被仰付事アレドモ今日大将ノ源ノヲツレナサル、事ナラヌ也是スマヌト花鳥ニアル別註ニ元ヨリ例ナヒ事ナレドモ源ハ天子ノ子也コトニ天子御テウアイ故各別ノ例ノ外デ源ノヒツタクリコイト云トテツレル也是威勢ヅレル也威勢アル故コネバナラヌ也コ、デ右近ノ藏人ノソウト云ハ前モ云キノカミガ子也品定ニアル軒端ノ萩ト云女ノ兄弟也カリノ隨身右近ノ藏人ノゾウツレルサ、又ハソウナヒハ元ヨリツレルハツ也マバユクハエンウツクシウシテカ、ヤク程也源ノゴヨウスセ間ヨリモテカシヅカレ今日ヲ通ノテイ木草モ―也ツボ―ツボ装束ト云ハ女ノ古ハヨソヘアルク時ニシタ装束也先コン日コ、ラノ士丁衆アルトモカゴニ竹ノコ笠(ガサ)入レ行事アル中(ナカ)高ニシテ唐人ガサノ様也市女(イチメ)ガサ

（○將監將曹モ時ニヨリ束帶スル也）

（○番ノ長ハ府生ハ六エフノ下（シタ）也武士故弓箭持也）

（○私考曰和名抄近衛府大將為長官和名加美中少將為次官和名須介將監為判官和名ソウ將曹為主典和名佐官）

（○同右近ノ藏人ノソウトハ六位藏人右近衛將監カケタルヲ云六位藏人ノ間ハ殿上スルカユヘニ本文ニ殿上ノソウトアリ須磨明石ミヲツクシ松風ナトニモアリ）

【一二ウ】

ト云也下（シタ）ニ帶シ上ヘウス衣（ギヌ）今日ノ打カケノ様ニ引ハリ上ニヲビセズソノツマヲビニハサゲ今日能（ノウ）ニツボ折（ヲリ）テマフト云ソシナ者也カサキタデナケレバ云ネドモ今日ノウニ借云也ナセツボ装束ト云ナレバ市女ガサ（笠）著上ギノハシテ帶ニハセルハツボノナリニ似タ故ニツボ装束ト云也イヤシカラヌヤト云デ賤イ者アリ又イヤシウナヒ者コモル也諸方ノ尼モ源ヲガム也タフレヨロボヒテ出也ソシナ尼杯ノ出ハ常ハアンマリ也ヨイ年シテ出ズト、云様也アナーアナ悪シ也アナニクシモ聞エニクイ也万葉ニアナニクミサカシラスルト酒ノマズ人ヲモドクハサルニカモニルアナニクイ也ソレト同シテニハ也アナニクシト云事也左様ナ者ハ平生ハ出ズト、思ドモ今日ハ断也源ヲミル断ト思也口一老人ハ齒ヌケル也ユガムヲスガフチト云也ユガム也カミ一モツボ装束也古ハ髪ユフ事ナヒサゲガミスベラシ也ウスギヌノ下（シタ）ヘ入レアル也手一合セハ神拝ム様也今デモ京デ本願寺デウバカ、拜也東宮様ノ行（ゲフ）啓ニハ手アゲ（上）拜（ヲガム）事私ドモ見タ也オコ

（○サカシラスルハカシコダテスルトテ酒ノマズ酒飲人ヲモドクハ猿ニ似ル

ト也サルニ心ナヒ也アナニクミハアナ悪イ也）

（○見奉リ上（アゲ）タルハ貴ム心カ日上ヘミアゲルノミ也貴ム心ナシ）

（○顔ノナラントハ如何曰顔ノヨフナルカラハルウナルカラ知ヌ也）

（○私考曰凡隨身ノ躰一負ハ束帶又官人已下ハ冠、布褐衣云々劍弓壺、胡、籙ト云也）

（○曰ツホ装束トハ上ニ打カケタルキヌノ両ツマヲ折テマヘニハサムトイヘリ）

【一三オ】

アマレ愚痴ガマシイ也アマレ物ミ様トスル故ニ源ノ乗ルヲ見上ル也アリ難ソウニエミホコル也ナニトモ一源ハ元ヨリ宮デ貴人也葵ノムコ也ソノ外天下ノ美男也ドノ女モナビカヌナシズリヤウハ国ノカミ也国ノカミハ四年ヅ、ヲリ先々マワレドモ代官ノ様ナレドモコト外富（トミ）タ者也トシタ者故中將少將ニモマケヌ心ホコル者也宇治ノ卷ニアル也源ハナレトモ思ヌ事也ナニトモ一也エセハヒカゲ也心ノ隈アルシテモノ見故色ドツテ出也サマコトサラニヨウスツクラウ也心一ハ心一ツニ源ニ思ハレタイト云心デ心一ツニエモンツクライダテスル也サマノ見物人アル也公卿ソノ外レキノソノ様ナナカヘコンナズリヤウノ女メ出者サマノケン物也マシテズ領ノ女サヘソレ也マシテソノ外源ノ正フヲ通ナサル人ハ一人今日ノ源ノゴイセイヲ見テワレ通ヲウケル身分ナレドモ必竟源ニハツリ合ヌハイト哀（ナゲク）モアル也

（○車ハケツカウナル者也一間四方モアラン中ニハ小タビミ六デウモシクベシ三人モ五人モノラルベキ也黒ヌリニシタ紫ノイトゲノ車ハ上ヲ龜ノ甲ニ打テ下（シタ）ヘ三尺モノノイト垂レル車半分モタレテアル也イトノ厚サ一尺

五ブモアラン本マガイ也紫ノイト也ハザマハ金也両方ハタゞハサマ也前後ハミス也アトヨリノリ先ヘヨリルナリ内ハ金バリ付ニテ四季ノ繪ヲ書法也東宮ノ行啓初ニ此車出シテ見シ也ソノ時ハ二両出也二両ハ此時東宮幼少也ヲチノ人ノルソソウナ車也カモノ祭ニモ車一両出ソノ時内ヲ見シナリビロウ毛ハヒロウニテフク也ヒサシザシトハ雨ノ為ニ内ヘヒサシスル也物見ノ処ニヒサシアル也ヨキ車ハ皆コレアリアシキ車モ仕立ハ同事也イトヲサゲル也牛一ツニテ引也行ケイノヲトモハ百官悉出也皆歩行也見聞ナリシ也貞名曰ソノ日牛二疋ニテ引アル也ドレゾシラズ牛ニモカザリアル也

【一三ウ】

（○車ノ図トテ二卷アルコレ一条殿カ二条殿ノトテアル也ソレ／＼分ケテ采色アル也）

（○親王杯ノ乗ル車法皇杯ノヲ車吉例ニテヲモライナサレタルト也外ニハソレ程ナルハナヒトミエル也常ニモ御コシドウト云様ナラ藏ニ入テアル也○車ノ中ニ五ヲ七ヲトテサガリアルソレラトラヘテアル也）

（○撰家方今ハ常ニアルクニアジロノノリ物也名目ソレヲコシト云也ギ式ニハタクコシニノルコ、ノソウ礼ノ様ナ者也）

（○束帯ニハ太刀ハク也衣冠ニハ上（ウヘ）ニ帯ナシモタス也常ニ上下アルク時ハ大小指也儒者ノ様也齒ハ必黒スル也ハカマハキズ必上下キル也麻上下ナラズウラツケ也夏モチヤウヒラト云様ナ上下キルウラアリ）

（○スミニテ眉ハ次第二脇ヘヨセル十八九ニテナフナル也ソレカラ眉ハヤススミノ眉ハゴ石ヨリ少シ大ナツブ程アル也）

《十丁ヲ十一月十一日會》

△式部卿宮―

源氏ノ御イセイノ強イソノ日ノゴケイノヲ供ノウズ高テ見通ヒ玉フ中賤イ者

ハ我身ニ引合セ見源氏ハ高位故我ハツリ合ヌ者未トゲマイト思テノ哀（ナゲ）キ也式部卿ノ宮ハ源氏ノヲヂコ也天帝ノ弟ゴ杯也イト―式部卿ノ宮被仰也マバユキハイセイアルカ或ゲンノ様ニ天怪ゴ美男故アマレウルハシクキセイアル故日ニ向様ニ云面ニ向レヌ様也ネビハ年マサリヲトナシウナル也モハヤ十九廿ノ時ユ

【一四オ】

ヘヲトナシウナル也ネビハ年ユクヲ云也神―アマレスグレタ人ハ神ノミ入アル為ソシナ事アツテハト式部卿ノ宮キノドクガル也是ヨリ前紅葉賀ニ源ノマフヲ見弘キ殿ノ女御云ハアンナヨイハカミ取テ殺ス者ゾイトノロ／＼シウ云也同様ナ事ナレドモコレト違也ユ、シイハイマ／＼シイ也ヨスギタ亢竜ノクヒ也姫君ハ―アサガホノ姫君ト云ノ也今云式部卿ノ宮ノ女メ也源氏ノイトコ也前モチヨツ／＼ト出ル源氏ノ心カケ文ヤレドモ一生ナビカヌ也源氏一バンノ貞女トシテアル源ニナビカヌニ非ズ心ハ源ウルハシイ人ト思ドモ未トゲイデハモノ思ニナルト思ヒ切テ逢ヌ也年比云ワタリフミヤリナカダチ入レル也世―ハキツウ源ノ云テヲコスガセ上ノ人ニ似ヌキツウシン切也ソレ程念比ニ云カラハ御キリヤウ十分ニナフテモナビクベキ也ナノメ―ニテダニハソフアルベキニ也從ズナルマイ也マシテ十分アママル源力念比（コロ）ニ云事也イカデ別シテゲンノ様ヤハナヒト也カウシモハ源ヲホメル也ヒメ悉ハ止也イト―源ニナビキ從ントハ思ヌ也ナゼナレバ今被仰入様ニナク後々淺／＼シウナツ

【一四ウ】

テハ如何ト御息処ニミゴリシテヨリツカヌ也若―權ノ姫君ノヲソバニ召遣ル女中ハ聞ニクイ迄メデ御美男ジヤトホメ合也祭ノ日―祭御禊（ゴケイ）ハ加

茂ノ葵（アライ）祭ヨリ三日前也此日ハ車争アリ祭ノ當日ハカモノ祭ニハ出ヌ也大殿ハ葵上ノ事指テ云也大将―源氏也其日ノ葵ノ車ト御息処ノ車ト処ヲセリ合也マネビハカ様ノデアルトイ細ニ云也ソノ日ノ様スマナシト通ニコチラデ云也イトノ御息処ノ事也ハチカクヤト源ノ思也イトノオシウハ御息処也カ、ルウシハノ心ニウイキノ毒ト思也猶―葵事源ノ思也此猶聞エニクイ也惟アツタラ重々シイ大臣殿ノ女メ桐壺ノメイデゴレキノ故重々シイウズ高ウ生付人ノ猶モノニ也ト猶ノ字コ、へ入レテ見テヨイ也重々シウ生付トモ猶事ノ足ラヌハ也高キ生付故風流ニ御息処ヘナド文通デモスル和ナ事ナヒ也スクノシキハキツトシタキミ也身ノシノヲ心ニハ御息処ト車ツキノケノシノ車入レヨト思ヒ御息処トナカ悪ウセシトハサモ思召サヌ也サシモノ

（○私考曰祭ノ日トハ卯月中ノ酉ノ日也此祭バカリハイツレノ祭トイハズシテ、加茂ノ祭ノ事也トイヘリ岷江入楚云加茂祭ハ卯月ニ両度アリ中ノ酉ノ日アルハ国祭トイフ加茂太神宮ハ山城国ノ地主ニテ當国ヨリ奉ル祭也次ニ酉ノ日ハ内裏ヨリノ祭也此祭ノ始ハ欽明天皇ノ御宇四月ニ吉日ヲエラヒマツラル、由也其儀式委江次第二見エタリ）

【一五オ】

シハ付字也サモ也自ハソフハ御息処ヘソエンニセントハ思ネドモ葵ハ源ノ御本妻也御息処ヘモ源ノ折ノ通処ナレバ人デモヤリ文デモヤルベキ事也ナカラヒハ葵ト御息処トノナカノ事也ナサケハコンインニスル也御心ソノスクノシウキツトシテアルヲ心ユヘ御息処トナカヨフセウトモ思ヌヲ心ヲキテニ従ヒテ也ツキノ召遣ノ者也セサセハ御息処ノ車人賜ノオクヘツキヤルハツキノ人スルナラント也カシハスイ量也御息処ハ是モ源ノヲ心

也心ノハズカシイ人也ヨシアルキノツクハツカシイ人也イカニソノ日ノハヂヲドノ様ニ思ヒラルゾ也ウンジハ今モイヤナ事ハウンジハテタト云也チト心ノ中ニウツフンアル也人不知然テ愠（イキドヲ）ラズト云愠（ウン）也心ニチトイコンアル様也コトノ外ハラ立ニ非ズドノ様ニウンシテアルトマウデハミマウ事也齊宮―齊宮ハ去年ト定（トテウラカタ定シテ極テアレバ左衛門ノ陣トテ禁中ニ齊宮ヲ入ナサレ一年ケツサイモノイミノバ有テイツモ入ルコレサハリアル故入ラヌ也ソノサハリハ左衛門ノ陣ニサハリアルヤラコチラニアルヤラ知ヌ也ヤハリ京極（ニ在也サカキハ唯神事故

（○ナカライハ惟中ニテライハ付ジカ曰然リホドライト云テイ也）

（○◇（私考曰）齊宮ノモトノ宮トハ未ダ初齊院ニ入玉ハザル里第ライフ也）

【一五ウ】

メツタ二人ニ逢ヌケツサイスルト云也惟神々（ノコト）也コトツケテハンレニカコツケテ也心モト源ノナサル方アシイ也（ニ）此タビノ車争デ弥源ニ逢ヌ也コトハリ―源ノナル程ゴ尤也我元ヨリノシカタアシクマシテ其日ノ事ニウンシテアレバ也ナヅヤナヅヤト句ヲ切ドウシタ事ゾ也カタミハ互（タガイ）也互ニ争ズト也ソハハママキニ向ズシリ目デ見テアル也ソフセデオハセヨカシ也打―独ゴト云也ツブヤク也今日ハ今日ハ祭ノ日也四月ノ中ノ酉ノ日也祭ト云バ加茂祭ニ極也山ハエイ山花ハ桜ノ様也出デ給フト云先通也コレマダ出ヌ也イツモ源ノ文法也西ノ臺ハ紫ヲル処也二条院ノ西ノ臺也今日見物車用意セヨト被仰付也女房―ヲ抄ニハ紫ノ召遣小童（ヲコシテラウヲジャシテヲトナノ様ニ云トアレドモソレニ非ズ唯大ナ女也女（ヲンナ）ドモコシラヘ出来カト被仰也姫君―今年十四也成人也ウツクシウ出来ト思召也君ハ紫指テ云也イザハ進メルキミ也サアゴザレモロトモニテ見

物セウ也御一マヘニツクラヒタテトアルス

（○十一丁ヲ君ハノハ如何曰カラナヒ字也源氏コシナ事多也）

【一六オ】

ベラカシテアルキヨラハサツハリトスル清ノジノキミ也ラハ付字也源ノヲグシナデ、小児ノ事故久一古ヘハ長イ髪サキツム也サキツミノソロヘ一寸モ二寸モ切サキノロヘテイタ事也久一ハ切ソロヘル事ソグト云也古ハカミ切ソロヘルヲ月日エラム月ハ二月四月六月杯也日ドリモアリ拾芥抄ニアルカト思也髪ソグ事イツカラデドウシテソグト云一条ノ禪閣ノ書チトシタ者ニアル清和天皇ノ母ゴ歟后歟順*子歟染殿（ソメドノ）ノ后歟住吉ヘ参詣シタ処（トコロ）ノ者ミルヲ取ルリ上ル丸（マル）ミル也先ツソロイアルソレニヨリ髪ソグ事初ト云様ニアル也ミルト云者ハ四時不変ノ物デ目出度事ニ取也久クアル者ニ祝シテソグ也ソグ時ニカサリ物アルカミソグニハ碁盤ノ上デソグ藪柑子（ヤブカウジ）ミル青石（アライシ）ニツヲクトウシタ事ゾ也先柑子ハ婚禮ニモ用ユ目出度也ミルモ目出度也石モ岩（イハ）ノ苔（コケ）ノムス迄ト云目出度也飾ヲク也日ハ酉ノ日ヨイ也今日ハ日ハ知レテアル也加茂祭ノ日ナレバ也ソレ故曆道ノ博士（ハカセ）ヨビ時バ

（○私考曰拾芥抄髪曾木（カミソギ）日事以三甲戌日一用之凡西丑日為吉又乙卯巳用之又常以二午日一用之春必用二午日二月四月十一月用之他月不可用云々）

（○髪ソグ事重ノ月ヲ用力如何曰然リ拾芥抄ニアリ）

（○私考曰岷江入楚ニ曰臺ノ上ニ山菅山橋海松（ミル）青白ノ石ニツ重テコレヲカミニハサミノフルト也但ビンソキノ事ハ染殿ノ后ノ初メ玉フト也

此事女身ノカタミト云書ニアリ清和ノ御母文徳天皇ノ后染殿后也アマノサシアグルミルメヲゴ覽シテ卅六人ノ女房ミナビンヲソグトナリ）

（○私考曰曆ノ博士ハ推古天皇ノ御宇ヨリ始ル後世ハ吉備大臣ノ苗裔賀茂氏ノ譜代トナレリ日本紀推古天皇十年ニ陽胡（ヤコ）ノ史（フヒ）ノ祖（ヲヤ）玉陳百*濟ノ僧觀勒ニ曆法ヲ習トアリ）

【一六ウ】

カ（カリ）問也先一時ヲトハセラレ女中トモ先コシラヘ也ワラハ一女房達ハソレ又召遣●（ハ）ル女（メ）ノ童（ワラハ）也ヲカシハホメル也出来ミル也イト一紫上ノセウバンニ付々（ツキ／＼）ノコモラウノモソイデ遣ス也トモデ大勢也ワタスデ又大勢也ウキモンノ一貴人ニ奉公スル人ハ大人デモ小人デモ男女皆袴（ハカマ）キル此メノ童モ源氏自身ニソフニ非ズ外ニ役人ノアル也ウキモンノハカマヲ著スウキモンハ地ヨリハ紋高ウ浮（ウキ）アル女ノ童ノキルハカマハフセンリヤウノ袴也蝶ニツ向ヒアル様也モトフセンリヤウハ浮（ウキ）也浮タ絲デアル也フセンラウト云ハフセンリヤウニナル紋ノ蝶ニ似タノジヤト云事ソウ也カミハスベラカシ也故ハカマ迄タレル也ケザヤカハアザヤカ也白袴ニ黒カミカ、ル故也ウタテ一ハアマレ甚シウ也処一ハアマレ長也処セバウモアル哉ト云和訓ノヲヨリ也アマレ長フ外ニルイナヒト云様也イカニードノ様ニ後ニハヲイ長ナラント也カミハソゲバアトヨリハヘレドモ当分ヲシムキミ也ソギ煩ヒハヲシムキミ也イト一

（○ウキ紋ハ蝶ニ限ヤ日モノニヨル也蝶モ蝶ニ非ス蝶ニ似タ者也堂上装束カラカラクルヲ用タ也紋極テアル故也）

（○十一ウカタテハウタノ心ナキヤ曰ウタト云テスマズ甚キ（イ）ミ也古今テモ宗祇トコモ甚キミニ註シテアルスマヌ事也甚ト云ハ先ススム也）

（○アマリ情―ハ詞ヲウラカラ云テホメルヤアト二千尋ト云ヘバ也日前ノ情―ハ風流ニナヒト云心也アトノ千尋ハ髪ニ非ズ行末ノ長久ヲ祝也）

【一七〇】

平生ドノ女デモカミ長人アレドモヒタイガミハ短者ナルニ此紫上ハ短イカミハナヒコレモカミホメル也アマレ無風流也チト短モアルガヨイニ也アマレ風流ニナヒト云モヤハリホメル也チ_ヰ（イ）ロハチヒロ也マダ長フハヘヨ也コレラモ理屈ダケウ云バカミ千尋ニハヘドウセウニ也ソレニ非也少ナ言千尋ト源ノ被仰ハユク末長フ御本妻トセント見ヘ思テ悦也

○「ハカリナキ―源ノカミソギヨム哥也ソコフカウ分（ブン）量ナラヌ程フカイ也チヒロナレドモチイロトヨム也ハカリナキデユク末長イ心コメヨム也ミルハ不変ナ者也ミルノフサカミニ似タ故カミヲミルフサト云也

○「チヒロトモ―紫ノ返哥也初チイロト云ヲ承テチイロヲフカイ心トドウデシランユクスヘフカイト被仰テトル也ナンボソフ被仰テモ知レヌ也シホノ満タリヒル様也定ナヒ也ノドケ―ハ定リマスマイ也紫十四歳故ヤウノヲトナブリコンナ返哥スル也モノニ直ニ返哥口デモ云ズ恥サニ書テヤク也

（○私考曰浮文ノ表ノ袴ハ童女ノ表ノ袴ナリ浮文ハ窠（クハ）ニ霰（アラレ）ナリ尋常ハ表ノ袴ヲ著セズ晴ノ時キル也今按此ニ浮文ノ表袴トハ例ノ一躰ナルベシ本式ハ無文ノ由ナリ）

（○十二ヲ哥ノドケカラヌハ如何曰ノドケウナイハ源氏ノ心ニカケテ定タコトナヒヲ心ト也）

【一七ウ】

ラウノ―上ロウラシイ也ヨイ衆ラシイ也ワカウ―十四故若也オカシイハウ

ツクシイ也メデーメデーヨイト思召也今日モ―我物見車ニ乗行也今日モトハ先日葵ノヲ出ノ時遅ユク故今日モ立込アル也車スヘルヲ立ト云也ソレガ立込アル也馬―右近ノ馬場左近ノ馬場トテアル左近ノ馬場ハ一条西洞院也右近ノ馬場ハ一条通大宮也ソコヲ祭ワタル也今ハ渡ス也古ハ一条通ヨリ東ヘカモヘ行也ソコデ見ントス馬場ニ中将少将ノ衆從ニカ、リヲルソコヲオトギヤト云ハ幕張り廻シタサジキ也ヲト、ヤト云名目也ヲト、ヤヲ馬場ノオトギト云也中少将アル從処ノキン辺也源ノヲ車先ニテコミヲルモ也タテ煩思召也公卿ノ車多モノサハガシイアタリト思也立カネテヤスライテヲル也宜―ソコニシバシ立煩ヲルニカタ一ホウニ宜女車アル宜ハマヘアルキツウヨイニ非ズ源氏枕草子榮花ニハナマヨイ事也十ノモノ七ヨイヲ云大ガイヨイ也イタウ―大分大勢乗テヲル也スタレノカケヨリ袖ナド出ヲ、ク出テ見エル也桧扇サシ出シテタレトモシレヌ也源ノゴケ来ヲ招也コ、ニヤ

【一八〇】

―私ノヲル処ヨイ処也モシ是ヘヲ出ナサレバ処去ラント云也聞エレハトハ詞ノ字也下（シタ）ノ聞エタリハ云タリ也処去ラント云テヲコシタ也イカナル―ドウシタ好色者ゾト思也女ノ方カラ声カケル故処モ―アチヨリ云通処モゲニヨイ也アソコヘ車引ケト被仰也イカデカ―ドウシテコンナヨイ処エタソウラヤマシウネタマシイ故テマヘノ車立ルト被仰◇（ハ）也サテアチノ車ヨリ宜イユヘ由ノアル尤ラシウモテナス扇也ツマヲ―桧扇ノ大（ヲヤ）骨（）折テソレニ哥ソヘヲコト見ユル

○「ハカナシヤ―是源内侍也ハカナイ心也人ノトハ今日紫上下同車シテアルヲ小児トハ思ズ大人ノ源ノ心カハス女ト思也ヨソノ人ガワガ物ニシテヲル源氏ヲ也葵デ逢心アル也源ハ今日ハ人ノ者也今見物バデヲ目ニカ、ラント思シニ今日ヲマツニマツカイナヒトアトヘカヘル也少シ色メク也シメノ中ニハ

―神事故人ノカザセル也源ト同車シテアレバ注連(シメ)ハレバコレヨリ内へ入ルナト非常ナ者入ルナトハル也注連ナケレドモ紫上ト二人ヲレバ注連張タ様ナ者也ソコヘユカレヌ也内へハドウモユカレヌヲ

(○兼道按加茂祭ニ葵カツラヲカサス此カツラハ楓也桂モ楓モカツラナレドモメヲノ違アリ楓ヲモミジトヨムハ非也モミジハ槭樹ト書カヘデ也一切紅葉ヲモミジト云ナカンヅク槭ヲモミジト云ハコノ木猶以モミジスル故也カツラノ事見大和本草楓下ニ)

【一八ウ】

目ニカ、ラレヌト云也手ヲ見タ手ノ様ナト思バ件ノ源内侍也紅葉賀ニアル老女ノ徒者也アサマシウ一年ヨレドモソレヲ年ヨラヌ様ニ若シウナリタガ也五十七八也モフ五十九位也ハシタナウハケント云也不相応ナ返答云也

○「カサシケル―一旦源内侍ニ逢事被仰也ヒヨシナ事シテ也八十氏トハ八十氏モ氏ノカハウタ人ゲウニヨルガ八十氏ナレドモ八十二限ラヌ氏多事也神事故ソウ云必竟大勢ノ人ニ逢ソノ方ニ逢ガ我心ノアタナ也ヒヨシナ事シテ也女―少シ恥ガル様也

○「クヤシクモ―源内侍返哥也今日葵也加茂祭ナレバ人々カザシ車ニモ付神ニモ付也今日葵カザスハクヤシイ也名ハ葵ノ様也逢様也名ハ逢様ニシテ人逢ト云名ハ人ヲ頼ミニサス也逢ト云名デコレハ逢カト思テカザスニ逢レヌハコレ人頼メ也人ト―源ノ紫トアイ乗アツテスダレ―元ヨリ女トアイノラントテスダレアゲヌ也ドウシテ云ゾ也モノミニハ中二人アツテモスダレアゲル也女中ノレハ中ニ几帳ヲ立ソノサマヨリミレバスダレヨリ見易也元ヨリ几帳モアラシミスモ外ノ人ヲルユ

(○十三ヲ哥源ノ哥アフヒヲ抄ニアイトヨムヘシト師アフ日トヨミ玉フ如何日抄ト違テアルベシ此先師ノ傳也逢日トヨムハアヲイカヅラ一日ニ限事也今日ヘカツラ云ユヘ逢日トヨム也此事サイ初ニモ断タ也逢日ノ葵ユヘ此中ニ葵ハコモリアル也)

【一九オ】

ヘカカゲヌ也心―源ノ心ヲ通サル女中方ネタガル也一日ノカノ御禊(ゴケイ)行幸(キョウキョウ)ノ日ハリツハニシテ行也ケウハ心快シダラリニシテ行也彼ノ人カラ云キミ也誰―是モ顛倒也ノリ并フ人誰ナランケシウハアラジト云バ早ク聞ル也ケシウ―ハゲスシウ悪ニ非ズ源ノヲ氣ニ入ルレキノ女中ナラント也ハヤハ助字(ジ)也スイ量ニサゾヨイナラント思也心ヤマシウ思フ人ガコウ思也イドマシ―源ノ心也源内侍ノ方カラ哥ヲコスイドムハ両方ハリ合争也源内侍ノハハリ合ヌ也カサシニ争事ナケレドモ哥ヨミヤリナドスル風流也モチツトヨイ人ト哥贈答セバヨカラントサビシウ思也カヤウニ―此源内侍ノ様ナツラノ皮厚ウナヒ外ノ人ヲ云也面ナウナヒ外ノ人ヲ云也人―源紫ト相ノリアル(ニ)包コレ源ヘエゾウ答セヌ也ハカナイハツイカリソメノ也御イラヘハ返答也タレヤラ知レヌ故心易ウゾウ答センモ恥カシク彼ヘエゾウ答セヌ也御息処―是ヨリ御息処ノ事也平生サヘ源ノゴソエン故モノ思アルニヒトヒノ車争ヨリ思ソフ也ツラキ―一向源ハヲ怨メシイト思切也今ハトテ―今ハ是切ジャトテ伊勢ヘヲ女メノ斎宮ト一処ニ下ハ心細也

【一九ウ】

下ルニナツテハ心細也又セ間ノ人ノ聞処モ源ニアヤシ今ハ下ルト云レルモ残念也ソウジヤトテ源ニ別レ下ハ心細イセ間ノ人聞モ外聞アシケレドモソフア

ルトテソレナラトテ立止ラントモ思ヒカヘシテミレバカクノ如ク人ガ車争ノ
 様ニ上(ウヘ)モナフ我ヲ朽タ様二人アナドル也ツリスル―是ハヨク取合哥
 也伊勢へ下ル斎宮也ソレニ伊勢事也アマノウケハ釣竿ニウケヲ木ニシテヲキ
 ソコヘ沈マヌ様ニシテ魚クフ様ニシタ者也ウケヘ上(ウヘ)ニウキアル者故
 アチラヘコチラヘウキアル一処ニヲラヌ心ノ定ラヌニタトヘタ者也ソレヲ
 コヘ取用ヒ下ラント思バ心細ク外聞アシイ故止ラントスレバ人アナドル下
 ランカト下ルマイカト思ヒ煩ヒシアンスル也ウカヘソノシアンスル故ニ也
 カニヤハユヘニヤ也御心チモ―此ウキタルモツリスルアマノウケカラ出ルウ
 キヲウケル心ウカヘスル是物ケノハシ也大将殿―源氏也御息処ノ下ラン事
 フモテ―下ルナトモ云ヌ也人ノ情コンナ者也ノシノ氣ニ入ン人デモ下ルナト
 云ンモトヨリイヤニ思ウ故コレアル云様也入ラン事トモシイテ被仰ヌ也

【二〇オ】

数―源ノ詞也私ガ様ナミニク、也マハ付字也我等フゼイナレバステルモ断ナ
 レドモ今ハカウナル上(ウヘ)ナレバ云ガイナヒ我ナレドモ見ハテ、下サレ
 マイカソウアラバ浅カラヌト思ハント也コレキツト下ルナト云ニ非ズカスナ
 ラヌ私故エトメハセネドモト也是ハステイ也今モアル事也ソコデチツト詞ニ
 シルアル也カ、ヅライハカケテヲク也少シカケテ云フ也~~サヤ~~(ソレユヘ)
 イヨ、イセヘ下ル事定メカヌル也ソノ心スマヌ故ニ先日ミソギ見ニ出ルニ
 恥カク也ミソギ川―ハソレカリテ川ノ浪(ナミ)ノ早イニタトヘタ也イラレ
 ハソレ故ニイラ、イリツク様ニハラ立也大殿―是御息処ノ車ノイコンカラ
 トリツク也タレモ、―親ゴ達初メ源氏杯也御―源ノ葵ノモトニアル御懐胎
 也ヲ物ノゲ故外ヘアルク事ナラヌ也ビンナキハ便(タヨリ)モナヒ事也二―
 二条院ハヲノシノ本ヤシキ也ソレヘモセツ、ハエコザラヌ也サハイヘド―
 モト源ト葵トハムツツリトハセヌト云ヘド也ヤムゴト―是ヨリ御本妻也元ヨ

リイトコ也大切ナ御本妻トハ思召シテアル也コトニハ人ヨリカク別ニ大切ニ
 思也

【二〇ウ】

珍シイ御懐胎サヘソフ也下地サヘキツトシタ御本妻ニ此節ゴ懐胎ソウ也心苦
 フ思召也ミズホウ―ハ出家ノシユ法シテ祈祷スルコト也ナニヤト云デソノ外
 神事ノハライマジナヒ様ノキトウモアルベキ也我―ハ二条院デ行也シユ法ス
 ル時ニ物ノケ―ト云ガラン靈ノノリ移ガ人ノヨリマシニ~~廿~~(ウ)ツリ云事也
 生靈(イキリヤウ)ノ事也サマ、―我ハソンゼウタレソレト祈ランヲ云
 也人ニ―段々ニ祈ラレクチバシルガアルニソノ中一ツヨリニモウツラズ口、
 走ランアル也タバ―ヒツシリ葵ノ身ニ引ソイテ也自(ミ)ハ葵也ツトハジツ
 トヒツソイテアル也コトニ―ドコヲ病メル事ナクヲトロ、―ハヲドロク様
 ニコ、イタウト云様ニナイ也又―ソレ程イタメ苦メルデハナケレドモ片時モ
 ハナレヌ也コレ御息処也イミジキ―キビシイシユゲン者ノソフトモ折ドモン
 レニ従ヒ出テコヌ也シウネキ―執心ブカイ也オボロケハ大テイ大方ノ者トハ
 見エヌ也大将―源ノヲ通ノ処、コ、カシコトアテ、ミテモ外ニカハル様ナ
 ヒ也此―葵ノ父ゴ母ゴ杯心アテミル中ニ此御息処也源ノ御シン切也二条ノ君
 ハ

【二一オ】

紫也ヲサナクマダ夫婦ノヲ契ナイ也外ヨリシラヌ也是モ怨アルナラント云也
 源ノヲシナメテノ様ニナヒミナシン切ニ思スナレバウラミシツトニヨリアノ
 如ニツクナラント思也物ナド―ハ八卦也八卦ヲク也ウラトウト云也陰陽師ニ
 八卦ヲカシテモシヤトエ云當ヌ也モノ、―是ガキツイ此タビ病ルト云様ナ者
 ナヒ也皆ナンデモナヒ者也カタキハ今云アタカタキニ非ズ病トツリ合テ行程

ノカラノアルコンドノ物ケデナヒ也カタキハ對(タイ)スル也ソノ出タ処ノ
 ヲン靈也コレガアタスルト云者ナヒガ出又ハ葵ノヲメノト也ソレガ前死スソ
 レガトリツク也乳母(メノト)ウラミナヒ者故トリツクニ非ズ是ハ少サイ時
 ヨリモリソ立テイトシウ思テナゴリニヨハミニ出テクル也付バ自イタメル也
 是大家(ケ)ニアル者也左大臣殿カミニハ知ネドモソノ者怨アル也ムネノ
 ハシツカリトコレガコノタビノ相手ニナル者ナヒ也タビノ是カ御息処也唯
 ツ、クリトシテ必大^レ声ニナクニ非ズサタン息ノ声出アル杯々ハムネヲ
 病也キツウコタヘ難ツラガル□イカニ

(○サ、メクハサ、ヤク也女中方杯サ、ヤク也サ、ハ少サイ事也ユヘカ曰然
 リサ、メゴトトモ云也)

【二一ウ】

イカニドウアラウヅ生シカ死ナン^非(カ)ト親ゴ方源氏杯皆キモツブス也院
 ノハ源ノヲヤゴ也葵ノ為ニハシウトゴ様也セツノヲ尋アル也折アルカ祈禱
 デモスルヤト御念入ル也イト、其様ニ院迄左様ニ被仰ニ付テハ弥ヲシイヲ
 人也世ノヨノナカコゾツテヲシムト云ヲ聞ニツケ御息処ハラ立也タビナラ
 ズハハイヨノ立腹シテ思召也年比ノ平生年来ノ事ナレドモ其様ニシツト思
 ヒ御息処ノ葵ヲ惡トモ思又也シモハ助字也カクノ如アラサリシ也イドミハ争
 也少ハアツタ也ハカナカリシハカモニ於テ処ノソレカラ御息処ノ心動カ
 ウハルウナル也カノ高家デ大家也イセイアルソノ様ニ車ヲヲシクダク甚也
 先ニハ怨甚也コチラハラミアラントモ思又也カノ殿ハ父母葵ニハ也ソレ程
 迄モ怨シ様ニ思又也キツカヌ程也

《十六丁ヲ十二月十六日會》

△カ、ル御もの思ひ―車争後葵ノ上ノ御フ例トカノモノ、ケメキスグレヌ也

カノ車争故ト知ヌ也権門ソシリヲカヘリミズ也大家ハ

【二二オ】

知ヌ也カ、ルノ御息処ノ乱也御ハ御息処モブラノ煩フ也イツモノ御処ニ
 ハ齊宮ヲル伊勢ノ神事ノ処故仏法キラウ故ニ処カヘテ加持ナドスル也ソレヲ
 御ズ法ト云也大将ノソレヲ聞ドウシタ病氣ゾイトヲシウ思ヒオコス也
 葵ノ方病重故其方ヘツイテアレドモ御息処ノ方ステン気故思ヒオコシテ行也
 コレヲ御息処ヲ思処アル也レイノ御息処ノ六條院ノゴ処デナヒ也レイノ処デ
 ナヒ也タビ処トハ京ノ中ナレドモ我ゴ処離レ外ヘ出テアル故タビノ様也ソウ
 シテヲカシキ故源モブンノ処故忍デ往也心ノ存ジノ外ニブサタシテヲ云也ア
 チニモ聞届平生ブサタノツミユルス様ニイ、ワケスル也ナヤミノ葵ノ病氣モ
 キノ毒トウレウル也コレハ葵也自ノテマヘハ葵ノ事思ネドモヲヤタチソレヲ
 ミルガキノトク故葵ノ病氣ノ間ミスグシテソウシタ後ミマハントテナン也ナ
 ンデ句切ルナンブサタシテト云也万ノ事テマヘノブサタハ心ニノドメテナ
 ダメテ下サレ也常ノ源ノ御息処ヲミルニ前ヨリ御息処ノヨウ

【二二ウ】

ス心苦ゲニ見エルヲ断トハ物思ヒアル様ニ見エルハ車争ヲサン念ト思故尤ジ
 ヤト思也打ノ今迄ノ云ワケハヨルノ事也夜フケ帰也御息処打トケヌ也源モブ
 サタノ怨アル也御ノ源ノゴヨウスヨイ也ヲカシイハホメル也カノ伊勢ヘ下ル
 心アレドモ源ノゴヨウスミレバ下ルマイカトモ思ヒ心乱也ヤンゴトノ葵ノ方
 ニゴ懐胎デ臨月近クヲツ付平産アラソウアラバ葵ノ方ヘヲ心フカカラント
 思也一ツ方ハ葵ノ方ヘ一方ヘヲ心シズマラント也ソウアルヲ此様ニマチ遠ク
 絶マガチナラハ心ノミノ心尽シナ事デアラン也中々ノ中々ハ却也コ、元ニア
 ラバ京ニ居ラバ物思ヒノオドロノ源ノ事ヲ京デ思ハ時々出ント也オドロカサ

ルトハ忘ル、ガヒヨ（イ）ト出ル心也御コヨヒコント云ニコヌ故文バカリト云也日比葵ノ事也此日比ヨイ様也エヒキヨガテハヨケテコラレヌ也例ノコカツケ云ヲコザルマイトト思也コトヅケハカコツケ也
○「袖ヌル、源ノ事思バ袖ヌラスト思也恋ノ事ナレドモ袖

（○モノ思ヒノトハフト思ヒ出ス也先ニ忘テアルニコチヨリ状ヲヤルヲオドロカスト云也ソレデ思ヒ出故也ネテヲル人ヲ驚スト同事也道按此未四十九丁ウニウラメシゲニオドロカシキコヘ玉ヒナドスレバトアリコレ也）
（○ヒキヨガテハヅクニヨケルト云風ヲヨギテ吹ケト云ソレ也）

【二三オ】

ヌル、ト云バヒチハ土ノ事也ヒチクコトモヒチトモ云田子ハ田ヲ植ル男也賤者也ソレヲ御息処ノ我身ヲ田子ニナゾラヘル也田ノナカヘハ入バ袖ヌレル手前ノ源思フコヒチハ袖ヌレル也◇（カク）ト思ヒシリ乍源氏ヲコヒニスレバ袖ヌレル也トシリ乍百姓ノ田ヲ植ルガ所作デ袖ヌレルトシ（リ）乍オリ立ツ也カツハカクハ也手前ノカラゾト也山ノ井一是ハ古イ哥也クヤシクソ一上（ウヘ）ニ袖ヌル、トアル故古イ哥ニ袖ノミヌル、山井ノ水トヨムハ断ジヤ手前モイドソノ通アルト也御源ノ御息処ノ手ヲ見猶ハ怨ミガチナシウネイ人ナレドモ御手ハコ、ラノ一也コ、ラハ大ブンノ事也古今ノ詞也鶯ナクヲコ、ラ鳴ラントアル也大分ナク事云也イカニ一ハ心ハイカニゾ也ドウシタ事ゾ也ヨムハソヤ也ドウシタ世ゾ人々ニ心モスグレタ心形モ取、アルドレステント思ス也又ソレナラトテ袖トラヘコレ疵ナヒ一生ノ妻ト思ヒ定ハナヒ也御息処ハ手ヨク書哥ヨクヨミ立様テウウナレドモシウネイ也コレ悪也御息処ノ手ヲミルニ付カ様ニ

（○カツハ且又シラヌノ心アリカツ散ル花ト云ハ少シ也貧ナ者カツ、ト云モ少ノ心カ曰然ラン又カクノ如也五音通カ曰横通也サナリトモカクト云ヌ也）

【二三ウ】

思召事也御返源ノ方ヨリ又返答ナサル也前源ヨリ参ルフミ◇（十六丁ウ）御文ハカリゾ暮ツカタアルトアルアチラ承ルハヅ也袖ノミ御息処ノ哥ニ袖ヌル、トアルヲ承袖ハドウゾソレハドウゾ深カラン事也ソレハ浅イ也
○「浅ミニヤ一袖ヌル、ト被仰ハ浅ミニヲ立故也池デモ川ヘデモハ入ヲアリ立ト云也コナタ袖ヌル、ト云ハ浅也手前ハ身モヌレル程ナルヲ也オボロケ一大抵ノ事デハナヒ也大抵ナレバコノ御返事直ニ参リ云ハンケレドモ葵病氣重故工御對面デ云ヌ也大殿ニハ一葵ノ方ニハツキ者ヲコリ煩ウ也此御一ハ御息処指也イキスダマハイキ靈ノ事也コチ、ハ御息処父也ゴ靈ハラン靈也ソフ云モノナヤマスト云事御息処ノ耳へ入ル此（物）ハブツモノ也心ノナヒ字也オホシ一ソレヲ聞御息処ノ心ニ心一ツデ思ヒツゞケテミレバ我身一ツノ思ヒニハ一コレラナル程カウデアルベキ也ナル程病メントテニ非ズ物一◇（廿一丁ヲ抄ニ引）モノ思ヘハ（サハ）ノ蚩モ一我身ヨリア（ク）ガレ出ルタマカトゾミルト云

【二四オ】

哥アルモノ思フ人ノタマハコガレ出ル者也オホシ一アリトハ御息処ノ夢ニ也下（シモ）ニ葵トツカミアフ事アルソノ夢也ヲ心ニ覺エアルト也年比一御息処ノ心二年比思ヒ殘大事ナリカズ、思テ月日スグス也此様ニ思ヒクダク事ナヒ也ハカナキコトノ一車争ノ時人ナレトモナヒ様ニ思ヒケシテ也思ヒケスガ無（ナキ）者也アル者トモセヌ也ミソギハ齊宮ノミソギ也ヒトフシ一カノ

車争ノ一フシ也ウイ事ト心ウカレソゞロニナル也ケハ俗語ニソレジヤケニト云ケ也ソレジヤユヘニ也少シ御息処ノ夢ニ也カノハ葵ノ事也ツイニ逢事ナケレドモ心中ニキヨラニリツハニシテアル也ヒキハテマサグリトモ云也カナグル也ウツ、ニモハ平生ノ我心トカハル也タケクハ氣ツヨウナル也イカキモ怒ト同ジキ強フナル猛事也ヒタフルハアト先ミズシテソソウニナリ葵ノ上ヒキカナグル事ユメニ見ユコレカラ思ヒ合ト云コレ也アナーコレカラ本心也アナハア、ナアウイ事ジヤ也ゲニ身ヲステ、ト云古今ノ哥也イニヤハイキヤ也古イ哥トラヘ

（○十八丁ヲヒキマサグリノマサハ如何曰マハ付字也サグリ也）

【二四ウ】

ゲニ古イ哥ニ云通心カ身ヲステ、イタソウ也昔男カリニイケケリヲ伊物ニイニケリト云同事也ウツシ、現在人ニ非ズキヨロ、トアル也俗ニ云マボロセノ様也サナラヌハソウナラヌ也コレ程ノ事デナフテサヘ也セカイノ人ノクセデ人ノ事ヨサマニ云事コレ程ニナフテサヘナヒ也マシテ況ヤコレハイトキツウヨリ、人ヲウルウイ、ナシツベイ道スヂ付タ也イト、是デイト名ガ立ソウ也一向ニ死シテ後ニ怨ミ残シタ死、^{*}靈クルハアル事也ソレデサヘ人ノ上ニシテ我身ヲツミフカヒ事ト思也現在ノ我身ニ我ヲン靈ニナリタト我身ヘ持テ来テ付様ニ云也スクセハシユクセ也過去也スベテコレト云モ源ニ心カケル故也源ハツレナヒ也御息処心尽シテモツレナフコヌ也ドウゾ源ハ思事思ヒカヘシテ止ント思也思フモコレモ古イ哥也「思ハジトコレモ古今ノ哥也齊宮一是カラ齊宮也ソウタイ齊宮ニ立ト云事定レバ左衛門ノ陣トテキン中ノカリ処ヘハ入也中（ウチ）トハキン中也指

（○引哥思ハジトヤナグ如何曰古今哥也思ハジノヨヤトアル也抄ノ誤也）

【二五オ】

合アリユカレヌ也今年秋ゴザル也一年キン中ニアルハヅヲ也一年ノ中テン上ノ御殿ニアル也長月ソレカラ一年キンリニゴザリ九月ニハイツデモ朔ニ野宮ヘゴザリソレカラ伊勢ヘ下テ是ハ直ニ往一年ゴザルハヅヲ直（スグ）ニチヨトキンリヘゴザリユク也十日廿日ノ間キンリニゴザリ一年ノカハリニシテトル也再一ドキンリノ左衛門ノ司サヘゴザルトテ祓シソコ出ルトテ又祓スルコレハ左衛門ノ陣ニゴザル間少ナヒ故二年ニドヲ一月ニ一トシテシマウ也齊宮ハ二ドノ祓シテ野宮ヘ入り伊勢ヘ下ルト云ニ也タゞ御息処ハホケノハブラ、ボウ然トシテアル也俗ニ云ボケタ様也ヨムハホケ、也コレハ先ヘ物ノゲニナリ往バアトコンナ者也ミヤ人ノ神宮（ミヤ）ノ人々也前御息処死バ齊宮下ル事ナラヌ是大事也御ハ宮（ミヤ）人ノイノリナレバハライナラン神道也オドロ、御息処ノ病ソレ程ヲドロク程ニナヒトゴサシテアシイニ非ズ大將殿モ源モ折々御息処ノミマイニクレドモマサル

（○十九ヲマサル方トハ如何曰ミ息処ニ對シテアチラヨリマサルナリ）

【二五ウ】

葵キツウ煩故ニカレコレイソガシクコヌ也マダーマダ御臨月デモナヒニ也人油断シテアルニニハカニケヅキ腹イタムト云様也ソレ故弥ヅ法ノカチノト祈禱スル也例サマ、祈禱シテモシウネキトシウネン深イ御息処也初モ口チバシリヨリニモウツラヌ也ヤンコト止（ヤン）事（シ）ナヒウヘモナヒ祈禱スル出家トモ我ヲ此様ニ祈リ口走移ラン者ナヒニトナヤムハ難義スル也サスガニ動カヌ者ナレドモサスガニ也祈ラレテ少シ、是御息処也源ヘ

ヲ目ニカ、リタイ也是ヲン靈云也ソレヤコソヨウスアラント云也近キーソコ
へ入レル也ム下ニ今ヲ限ノ様ニ見エル也聞一今ヲサイゴ限故源ニ云ヲキタ
イ事アル故カトテ父母ノク也加持ノ少シユルメクレヨト云故ニユルメル也
加持祈禱ユルメソノマニ取コロサンカトテツヨミノ為ニホケ経ヨム也ミキ帳
一源ハ入テ几帳引アゲミルニ御一ハラノ子也ハラハリアル夫婦デ無独ノ人ミ
テモ心乱ベキ也マシテヲシウマシテゴ夫婦ナレバヲシウ悲ウ源思ガ断也白

（○十九丁ウシウネキ執念ニテキト云ニテ御力日執念ノ訓カシラズシウネン
キヤ也ナニフンシウ心ブカイ也事也）

【二六〇】

産人ハ白者キル色一白キヌキルニ葵ノ色ウツクシイ也カミ一コチタキハヲビ
タ、シイ也長也平生ハスベラカシサゲカミナレドモヒツカラゲイテアル也
平生ハトカク御夫婦アヒキツト立テ堅シテ源ノ心ニ合又今日病氣ニヨリエト
リツクラハヌ也カウデコソ一カクノ如デコソ和ニアツテコソ風流ニミエカハ
イラシイ也御手一源ノ葵ノ手ヲトラヘテナクハ源ノナク也例ハ一葵ノ源ノソ
ウスレバ恥カシクイヤガル也平生ト違也凡病人ハ目ダユゲニミル者也ツラノ
源ヲミテ涙ヲ流テミル源ノイカナラン葵ノナクユヘニ親達アトヘ残シテ悲
イカ又源ヲ見ルニヨリ夫婦ノナゴリヲシム故カト思也靈トシラヌ也ナニ事モ
ソノ様ニキ短ク持ナ也ソフアリトモソノ様ニイタムトモ御不腹アラン也ケシ
ウハアシウ也ドウアツテモ夫婦ハニセト云バ又對面スベキ也オト、一葵ノ父
母ヲヤゴハーセトイヘドモフカヒ契（ア）ルハ先ノヨデハ巡リアフ也コレ
ナグサメ云也カラ付也イデハ発語也イヤソウデコザラヌ也是靈云也調服スル
ガ苦イ

（○コチタキハゲウサンナルヤ曰ヲビタ、シイ也前ノ夕顔ノ卷ニモアル也宇
ハ巨敷曰コト、シイト云訓ナラン）
（○私考曰白キ御衣トハ葵ノ上ノ御産ノ出立也凡御調度白几帳白張屏風以
白綾張之表裏各文アリ白高麗縁ノ疊以下皆白装束ナリ御産部類記ニ委
シ）

【二六ウ】

故ソレヲ止（ヤメ）テ玉ヘト云ハン為也ナ、ハコナタ頼ン為也カク一私コン
トモ思ヌ也是ヲン靈也モノ思フ一マイラウトハ思ネドモモノ思フ人ノ玉シヒ
ハ此様ニアコガレ出ル者也

○「ナケキワビ一コレデ弥御息処トシレル也哀キワビル故心空ヘ乱ル、玉シ
ヒ也結一是ハ古イ哥ニ伊物ニモ引テアル◇（抄ニ引）玉ハミツ一入ハ玉シヒ
飛ヲ見レバ玉ハミツ一下カヘノツマト云テ下ガヘノツマヲ結ト人ダマ下ヘ立
モドルト云事也ヲン靈結ビトメソレヨト云也ソノ一葵ノ上指テ云也各別ノモ
ノ云也フシギナ声ジャト思ヒ巡シテミルニ一ヅイニ御息処ノ声也源ノサテノ
浅マシイ事也人ノ一人ガトヤカクト云御息処ノヲン靈付テアルト云ドモソ
レハヨカラヌ口悪イ者云トキ、ニク◇（ク）イ、ケス也今忽ソコデ直ニモ
ノ云故ヨ一ヨニハカウシタコトモアルトソコデ御息処弥イヤニナル也ア、ナ
ア心ウイト源思也カク一ソフ被仰テモ慥ニシラヌ也タレータバノレト云バ
タバソフイモナヒ御息処ノタチワルマイ也人々一人々ソレヘ近フ参ルモ御息
処モノ云テキノドク也◇（カタハラ一ハキノドク也）少シ一チトモノ云ヤム
也ヒマ一者ノケノヒマアルト思召宮ノ一

【二七〇】

宮ハ母ミヤ也葵ノ母宮也湯ヲノマントテ人ニカキオコサルニツイ安産スル也
ウレシト―宮始メ源モ笑也人ニ―驗者ガイナサン為人ニカリウツス也凡物ノ
ケハ一人ツケバ二人モ三人モ死靈生靈皆ツク者也外ハカリニツク也後立テ
平産スルヲ残念ナト口・口ニ云也此様ニ云ハアト産ナレドアラント思也胞*
衣也云限リナヒ段々ノ願立アトザンモ来タ也山ノザス―エイ山ノザス也ナニ
ノ僧カノ僧トモ也シタリ―ソコデ散走ノ為也ソコノ折ノバへ立出也多―大分
ノ人也(々)ガ心ヲ尽シゴサレハトウアラント思ナヤム也日比ノ―心尽シ
タナゴリナリ打・休也今ハ御産アル故物ノケアリトモヲ命ニケガアルマイ也
御―其上ニイヤガ上ニ御祈禱ナドアルマダアレトナヒ也先ハ―◇(ナレトモ
御先ハ御)産~~レ~~ト~~キ~~アリテ若宮カシヅク也ケウハ指当テ興アル也

《廿二丁―正月廿一日會》

△院―〔空白〕安産有テ男子御出生也サル前ニハトノカクノトテ御病氣ノ物
ノケノトテ疾ニアンサンデ何レモアンドシテ此上別条アルマイト思也先アン
サンアル故奥方初テノヲ子故イツキカシヅキ其ヲ子大事ニスル也皆人モコレ
デヨイト

(○私考曰山トイへハ必天台山也座主トハ一山ノ管領シ玉フ人也天台座主始
延暦寺ノ義真和尚弘仁十三年四月補座主治十一年也僧中初例抄ニ出相模国
ノ人也)

【二七ウ】

心ユルム也ミコハ親王◇(達)也カンダチメハ下ハ宰相中ナ言大臣迄也ウブ
ヤシナヒハサンヤノ夜トギノ為コ、デモアル親類知音ヨリ夜食ヲクル事アル
分際ソフ応ニヲクル也堂上ニモ飩食(ドンジキ)ノセンプノ類又ゴ手ノ錢(ゼ

ニ)トテカケゴ打錢迄ヲクル事アル者也ソレハ寝ヌ為也何分ウブヤシナヒハ
夜トギノ夜食事也抄ニモ引テアル内則ニ接ハ勝也デカツ◇(コト)也謂食ニ
其母―聞エニクヒ様也ウブヤシナヒハサン婦ニクハス様ニ聞エ大牢ハ牛羊
ブタヲ云也ソレヲサンフニクハスニ非ズウブヤシナヒハツメテヲル者ノ食ノ
事也牛羊ブタヲ以馳走スル也一國ノ嫡子タン生ユヘケツカウニスル事也一ザ
ノヨトギノ人ニクハスヲナゼウブヤシナヒト云ナレバ内則ノ註ニ接(セウ)
読~~テ~~捷(セウ)―ハ勝(セウ)也トアリイハユル食ニ其母ニ使~~ニ~~補~~レ~~虚強~~レ~~氣
也トアル虚ハ産シテ氣血トモニ虚スル也コレデハ聞エヌ也ハタノ人ニクハセ
テソノ氣ヲ以サンフノ人ノ氣ヲ強スル也ソノ人々ノ氣強ナレバサンフモ強ナ
ル也ソノツヨフナル氣デ食フ心也ソレ故夜食マカナヒヲウブヤシナヒト云也
コ、デハ七夜ノ間大事ニス

(○碁手ト書源氏ノ中ニ外ノ処ノ抄ニアルベシ)

【二八〇】

堂上デモ七夜也ウブヤシナヒハ毎ヤハナヒ也キツト立テシン王達ミコ達ヨリ
クルハ半ノ夜也三ノ夜五ノ夜七夜也三日ハドコノ親王ヨリクル故テマヘハ扣
ト云様ニ談ジテモヤル事也ヤルハ三夜五夜七夜ノ間諸方ヨリツドウ事也夜ト
ギスル人モ大勢也珍―初テノ産ノ事故メヅラシイ也イカメシイハヲビタ、シ
イ也ヨゴトニ―每晚ソレヲ見タリヤカマシウケウヲウニサハゲ也男―女子デ
サヘナルニ児左大臣家デ初故女デモナルニ男ナレバ弥以也カノ―六条ノ御息
処ハ此様ニアンサンアルヲ聞テモタバ―ハ残念ナ也イコウ疾ト云ニソノ病ニ
シナイデアンサンハ不快也カネテハ―是ハ御息処ノ心中ヲ云也ハタハ助字也
平ニモ産アツタハ快ナヒ也残ヲ、イ也アヤシウ―セ間デモ云也人ニ付タモノ
ハウカ／＼スルト云也怪ハモノフシンスル也我ナガラ我ノ様ニナヒウカ／＼

シテアル也夢ニハ葵ニツカミツク様ニ思ウカ／＼思ヒ得トシアンシテミレバ也御一御ソバキルモノ也ケシト云ハ護摩ヲ焼(タク)ニハ五売トテサマ／＼ノ麥赤豆(アヅキ)入レル聞カラ

(○廿二丁ヲウブヤシナヒ半ノ日ヲクルシサイアリヤ曰シラズ残タギ式ノ大格ハソレナレドモ七日カ間クハズニヲラズネムタク也タ、キレバサムクテヲラヌ也)

(○二十二丁ウ常ノ五売歟如何日然リイハレハシラズカラシ今入レルテイハミエズケシトヨミ違テアルケシニ非ズカラシ也)

【二八ウ】

シヲ入レル白芥(ビヤクガイ)トアルミナケシ／＼ト云也ケシニ非ズ白*芥七粒トテ◇(不空三蔵歟)フクウノ白芥子七粒ヲ以テ鉄門ヲヒラキント云也カノカラシヲケシトヨミ違トミユ葵ノ方ニハ山ノザス驗者杉(スギ)ケシクベゴマ焼イノル也御息処ノヲン靈出(イデ)ヲル祈ル者ハ御息処目ガケ祈故ソノケシノ香(カ)ガノシノ髪ヤ衣ニ付也我心ウカ／＼スルト思テ得ト省テ見ニノシノキルモノケシノ匂スル也アヤシサニ一メンヨウナ事ジヤ鼎(コンナ)匂セヌハヅジヤガト思也御一ユスルハ髪洗事也マイルハ女(ヲナ)子(シ)衆召ヨセテ洗ス也ユスルヅキト云ハ髪洗ウタライ也ツキハウツハ者也サカツキ飯(メシ)ツキノルイ也ハ女トモ召シテカミ洗キル者キ更テミテモアトカラソノ香(カ)ニナル也我一ヌギカヘテミテモ洗テミテモソレ故ニ我ハ人ニ付テ祈ラル、ト是デ知ル也マシテ一我サヘ我デニウトマシイ口惜ザン念ナトウトマシウウトム様ニ思ウマシテセ間カラ云タリ思タリスルハ猶ナランサゾ人ガ云タリ思ハント思テアレドモコンナ事デケシノ匂スルト誰ニ云合スベキニ

(○私考曰御ユスルトハ所堪(ユスル)也御髪アラフ事也侍中群要ニ御堪トアリ云々)

【二九オ】

非ズ心一ツニサラ／＼残念ナ人ニ付テ人云タリ思タリセント思也イト、ソノ様ナヒヨシナ事ジヤトミ心マドイマサル故弥ウカ／＼シ氣ノ取ジメナフナル故アチヘユクヨリ外ナク猶行也大将殿ハ一源氏也平産アル故ノド一ハノドヤカニシヅマツテアサマシ一コレハ平産前ニ葵ノ上ヨリニ付(ツイ)テ口、走事アル源ノトヒモセヌニヲ目ニカ、リタイトテ口、走事アル也御息処ト口、走カラシルア、心ウイト御息処ノ事源ノ思出イト一ソレカラウトマシウナリミマハズ程ヘタ也ソレモ者ウイ也ソレモ笑止也イヤニナレドモソレモナジミノ事故心苦ハ笑止也又一ジヤ心苦イ笑止ナトテケ近一ハ氣ノ通程近ウヨツテ御息処ヘミマイソバデ物語セント思テミモイヤ也イカニ一現在ソバヘユカバ弥口、走コト思ヒ出ハウタテキノドクニアラント思也顔ミタラ弥キノドクナラント行ヌ也又我其様ニステヲカバ御息処ノ為ニナルマイセ間カラ云立評バンニソウ云ガ定ナレバコソ源ノトダヘユカヌト云ハ也人ハ御息処ノ事也源ヨリフミ計ヤル也

【二九ウ】

イトウ一葵ノ煩ノ残アル也ナゴリハ病氣ノ残也ユ、シウ一ハ大切ニ思ヒ油断モエセズ左大臣殿家内アル也タレモ一ハ父モ母モ兄弟衆モ也断一源ノ心ニアノハヅ尤ト思故ヨソヘユカヌ也猶一ソレモ尤ナルハソノ残りアレバ例一全快ナサレヌ故葵ノヲヘヤデ源ト對面ナヒ也若君一是ハコンドタン生ノミコ也コレハウツクシイ也ソレ故亢竜ノクヒヲ恐也今一當歳子ナレドモ今ノ中カ

ラ源ノモチアツカウ事ゴ大切ニナサル也今カラ大事ニナサン様違タ者ジヤ也
 コト一源ヲムコニシノシハ撰政也足又事ナヒ也此上ニハ孫ゴ出来ハ足又事ナ
 ヒニ出来タ故思ヒ残ス事ナヒ十分ジヤト也タゞ一事タリナニモ残事ナヒト左
 大臣殿思ニ唯一色葵上ノミ心チ全快ナヒ也ヲコタリ一ハズレド快氣デナヒ
 也サバカリ一シツカリトハナケレドモソレ程疾シ物^井(ノ)ケ残り大事ニア
 ルアト故ソレ程ニナヒハツト思也イカデカハ一イカデソノ様ニキツウ心マド
 ハス事ナヒ也アンサンモスル事也マヘノ残りナランナレバ也若君一コンドノ
 (○イトウ一草子ノ地ニ書出ス也)

【三〇オ】

新若君ノマハ目也ミハミル也目デミル也目付也東宮ニ似ルハツ也東宮モ実ハ
 源ノ子デ兄弟故也源ノ見テモノシノヲ子東宮ニ似(ニ)ルニモ東宮ニモ久逢
 又故逢タク思ヒ立コタヘラレ又故忍デ東宮ヘミマイニユカント思也内一内ハ
 キンリ也久行ネバイブカシウ心モトナイ也今日ウイ立シテサン内セントス出
 シ中(ウ)ニ葵ノ上ニ逢タイ也聞エ一ハ一コトニコトハナシデモシタイ也
 アマ^井(リ)一夫婦デアアルニ覺束ナヒ程隔テアル也ケニ一ツキノ思也一
 向ニカザル事ナヒ也御夫婦ノ事ナレバ取ツクラウ事ナヒ也葵ノネタ処々源ノ
 シトネヲ近クシク也モノナド葵ノ上ヘ被仰也葵ノ源ヘ返事被仰ソレ猶ヨハゲ
 也全快デナヒ也サレド一猶ヨハゲニ聞ユレドモサン前ニ今死ヌルト見エタ也
 コノ一ハサレド也前ノ事思バ夢ノ様也ユ、シ一アブナヒ事デアアルニ今ハヨフ
 テト源ノ被仰也カノ一コレカラ御息処出タ事也葵ノ上サン前()ニ死ダ様
 ニ見エタガ葵上オキ立テツブノ(ト)口走源ヘ云也ツブノハ俗ニ云
 ベチノ云也

(○私考曰内ナトニモアマリ久シク参リ侍ネハトハ葵ノ上ノ御看病産褥ノ自
 ノオコタリヲ云延喜式ノ神祇式ノ三凡触^ニ穢^ニ惡^ニ事^ニ一^ニ忌^ニ者^ニ人^ニ産^ニ七^ニ日^ニトアリ後
 世三十日ヲ忌ハ此書ニカナフベカラス)
 (○廿四ヲエンハ如何曰ユフエンノエン也)

【三〇ウ】

ハキノト口走事也源ノソノ事今思出シテミレバイサヤハインニヤ也置ン
 也イザト濁ハ惡也俗ニ云バコレデ今日ハ物語ヲカフ也イサハインニヤ也云タ
 イ事多ケレドマダモノムツカシウ見エレバ一^{コソ}先云マイトアマス也御一白
 湯(サユ)デモ上ケヨト云カ煎薬デモ上^井(レ)也イツ一源ノ元ヨリ貴人也
 ソノ様ニ御病人アツカイアルマイニ哀一ト葵ニツキノヲイトシヤト源ヲモ
 思也イト一葵ノテイ也ウツクシイ人ノサンゼンヨリノ病ニテアルカ一ハ生テ
 アルカ死シテアルカノ様也御一葵ノネテアルヨウス也乱一ハモツレタ様ニ見
 エヌ也ハラ一ハバラノトナリ枕ニカ、ルセ間ニハアリニクイ様ナウツクシ
 イ生付カミ也年一^ニ年^ニ比^ニナ^ニ事^ニヲ^ニ葵^ニノ^ニ上^ニハ^ニ足^ニラ^ニ又^ニ事^ニアル^ニト^ニ思^ニゾ^ニ也^ニア^ニカ^ニ又^ニハ^ニ足
 又也平生ハアマシヲナカヨフナヒニ今日ハネテアルヲミレバナニヲ不足ニ思
 タゾト打マモリアル也是モ葵ニモフ御對面ナヒ故也院一院ハゲンノヲヤゴ也
 法皇様也早フモドラレイテカウト云也此様ニセウジウ心安ソハデ見バウレシ
 カラウ也

【三一オ】

宮一宮ハ葵ノ母ゴ源ノヲバ様桐壺ノ帝ノ妹ゴ也葵上ノ病氣大切トシテ今迄キ
 ツトシテ引(ヒツ)ソイアル故ヲヤゴ引ソイアルニソコヘ行モブエンリヨ也
 ソレ故此間中ユカナンダト也猶一猶コレカラゼンノ次第二快ヨカラント也
 例一イツモゴサル処ノゴザレ也コソハ出テコザライデ也アマリ一母宮ノア

マリ子ドモアヒシライノ様ニソバニゴザル故也カタヘトハアマリ子トモノ様
 ニソバニ引ソフテアル故少シハソノカラデモゼン快ナヒト也カタヘハ少(ス
 コ)シハ也ソフ云ワイテサツハリト装束シテ出テユク也院へ参内東宮へモユ
 カントテ出産ヨリハ葵ノ上源出テ行ヲコチヨリ見出ス也秋ノ一秋ノ司召春
 ノ司召アル春ハイナカ官トテ阿波ノ守阿波ノ介アルソレハ名目ヲ縣(アガ
 タ)召ト云也縣ハイナカ也ソノ人召シテ官下サル故也秋ハ京ノ官人ニ官授(サ
 ヅクル)也皆司召ナレドモ名目立テ春ノハイナカ召ス故アガタ召ト云秋ハ
 司召ト云也ヒツクルメテ云バ司召ト云者故コ、デ秋ノ司召ト云処ニヨリ縣
 召ノ事司召トモ云◇(宇治十帖ノ中也)宇治ノ中ニモアル也又春ノヲ春ノ司
 召ト云縣召事ヲ云也又秋

〔○私考曰ツカサメシトハ京官除目(チモク)ノ事也本式ハ三月三日ヨリ先
 ニ行ハルベキヲ後世ニハ秋ノ除目トイフナリ冬ニモ及也是ハ京ニアル諸司ヲ
 任セラル故ニ京官ト書テツカサメシト申也又春ノ除目ヲアガタメシトイフ外
 官ヲムネト任セラル、ユへ也其作法各江次第二見エタリ河海ニ除目ハ天武天
 皇四年三月ニ始レ之ト云ヘリ〕

【三二ウ】

ノヲ唯召司トモ云事也ドウ云テモ大事ナヒ也節會(セチエ)ト云事キンリ
 ニアリ大臣ウケ持テ何レモソフ応ノ願ノ官下サル也我動タロウヲカゾヘ
 立テ云テ願也今ハ自身ノロウ有テモナン十年動タ何ニナサレ下サレトハ武家
 デハ今云事ナヒ也公家デハ望ノ官アレバ私ハカ様ノロウアルナニニナサレ下
 サレト願事アルソノキ量アレバナル程被仰付也大臣取ネバナラヌ事也君ハ
 左大臣ノヲ子也兄弟ハ十一人アル也イタハリハロウ也少將デナン年ヲルト
 云様ノ事也家ニ然ルズモアル事也左大臣殿行故ソレニ離レズ行也車引ツバ

キテナン両モ出テ行也殿ノ中ルノ人ノ油断ノ中(ウ)ヲラン靈ガソノ
 油断ニ乗テ入込也俄也イトハ葵上疾也内ハ内裏へピンギヲスル召
 モナク死シテ也足一死シタ後云テアルニ足一足デ中(チウ)アルク様ニ帰ル
 也何レモキンリヨリマカレデハ罷リ出テクル也ジモクノ夜一源氏一統ノ人々
 皆モドリタ也罷出ト句ヲ切也ジモク大事ノ夜ナレドモソノ夜ノ義式ノ事
 敗レタ也コレモ隔句也罷出ト玉ヒヌレバ

【三二オ】

皆事敗トツバク也ノ、シリナンボヤレト云テモ夜半時分ナレバエイ山
 へ人ヤル事ナラズエセウダイセヌ也今ハ平産アル事ナレバ今ハソフアリト
 モサンゼンノ様ニ病メドモソフハアレドモ也アサマシアサマシウ此様ニ急
 ニ死故トノハ貴人ヲ指テ云也左大臣殿ノ内也人トトモ當リ又カラカミヤ
 諸道具ニモ當也処々カヲノ病ミ見舞ノ人大分ノ人入込テクレドモミ
 ナウロタへ左大臣殿モ取込故ニ云仰事ナヒ也ユスルハ動事也イト声ヲアゲ
 テナクガヲソロシイ迄ニ聞エル也

〔廿五丁ウ〕正月二十六日會

△御もの、け——諸方カラ葵ノ死去故弔(トムライ)イタミノ人來トモアマ
 リ諸方也大臣殿取込故淋(トリ)次者ナヒ也ユスルハ動ノ心也ドウテンシタ
 也サハガシウヲソロシイ迄声高クナク也御モノ、今迄コンナ事取コロス様
 ニイキタエル事アル也トリハラン靈ノトリコロスノトル也イルハヲチ入ルヒ
 キイルノイル也トリコロスノ事也死者ハ枕カヘル也カヘネ

〔○チモクノ夜ノ一行所持ノ本ニナシ如何曰コレハ残ヲ外へウル也後ニ買者
 コレヲ一行書入レタトミヘル也筆耕ノ手カハル也吾子ノ本ハ古本也ソレヨイ
 也紙ヨイ也高直也昔ハ五処トゾ也今ハ略ニナリ四処トゾル也木ヲ入ジテ入カ

ヘル事モアル事也)

(○トリエレハ物ノケノ取コロス也死タ者ヲチイルト云ソノルイ也)

【三二ウ】

バ猫マタゲハ悪ト云也枕カヘレバ生カヘラヌ者也又蘇生アラシヤトテソノマ
 ヲク也今モ枕カヘル也ヤウ／＼死ナレタ故顔色セウ衰シテカハル也限
 ミ杯也コノタビハ無ト見定也タレモ／＼大臣殿宮源モ也大将殿一葵上ノ死
 ナレタ悲キ事也ソレニ事一御息処ニナルハ悲キ外ニ一色ソヘテヒヨシナ事
 ト思也世一是カラトシ世モセント思也タビ一御息処ノ外ニ志通スル者ズキ
 ノ方也葵シ去ヲイタミテフミクル也ソノ段デハナヒ也色メカシイ方ヨリミマ
 イウケル気ナヒ也花チル里末ツムナド也院一院ハ桐壺ノ帝法皇ニナリアル故
 院也死ナレタ故弔ニ人クル也院カラノ人アルハケツク面立シキ也哀ノナカノ
 悦也ウレ◇(シ)キハ面目アル故ウレシキ事也セハ「初瀬川ウレシキセニモ
 メグリアフト云古_レ哥モアル初瀬川ニツケ云也処ニヨリヨヲセト云也スレバ
 音ニナル也是ハ今云古イ哥ニカ_レリ云立コ_レハ水ナケレドモ瀬也」◇(抄ニ
 引アリ)ウレシキモウキモ一ト云古_レ哥

(○初瀬川ノ哥玉カヅラノ中ニモ引哥ニアル也)

【三三オ】

アル也カン涙ヲ泪下ル也人一是ハカノ近辺ニナル女中又出入スル者杯今モア
 ル事也ソノ物ゲハドウシタ祈スルノドコニカタヘスルノト云者也カツ一前ニ
 ◇(廿六丁ヲ)カハリ玉フコトドモノアレバト云テ承カツ一カツハ少シ也ア
 ルイハ如_レ此ノキミアレドモコ_レデハ少シ也ソノ少シジ_レソコナハレタ処ア
 ルヲミル也(／＼)モ親ノ迷(マトヒ)デサマ／＼ノ願立リヤウ治スル也カ

ワルヲミル／＼モスル事也日一五七日モ日比_レ持也葵死ハ十四日也ソウ／

ハ八月廿日余リトアル也十四日ニ死シテ廿日余リ迄也鳥一ハ東_レ山阿弥陀
 カ峯ノ下也中_レテハヒキキテ也ツレテ行也將ノ字也伊物ニ伊勢國ニキテイキテ
 トアルモツレテ行也送々ソウ／＼送リヲクモカナシキ事ドモ也コナタ一諸方
 ノ人寺々一フギンニ出也供ノ人々僧トモソコラ廣キ野ニアイタ処モナヒ也院
 一是ハソウ／＼ノ隔デナヒ也是カラハ又大臣殿ノ家ノ内ノ事也更ニ云ニモ及
 又前モアル后ノ宮ハ藤壺ノ后也時ノ東宮ハ冷泉院也サラヌハソウナヒ諸

(○廿六ヲカツヲ如_レ此見テアシキハ如何日コレハ少シノ心ヨシカツサク梅
 ノカツ也カツチルモ少シチル也)

【三三ウ】

方ノ大臣公家ヨリクルモアリイヌルモアル故マイリ違也アカズ一云モ不ソク
 ナト云キミ也今俗ニ云クヤミニクル也イタミニクル也オト、ハ一コレ_レ見ヨ
 親ハ行ズソウ／＼行アトヘ来タ人也エ立アカラズアル也カ_レル一老後ニカク
 ノ如クモ_レヨウト云ガ抄ニモ引ウソリントモコヨウトアル立モトアル兒也進
 退ノ定ヌ兒ヲ云日本紀ニハ進退ト書モコヨウトヨム進デモ退デモナヒ也イダ
 ハ蛇(ジヤ)ノノヘクル兒也コ_レヲノ人一ハマヘモアル也エ立モアカリ玉ハ
 ス_レ兼(ト)アレバベツタリトソコラアタリノメクリアルク也スコシイタミフ
 クム也万葉ニ働ト書イタムト云字也イタミアツテ身体ノ自由ナラズエ立モア
 ガリ玉ハヌトアレバネコロビ打ナゲク也モ_レコ_レヨウノ和訓ハ知レヌ也神代ノ古
 語也コ_レラーアマタ多分(ブン)ノ人イトヲシガル也夜一是カラ又ソウ／＼
 ノ事也ソウ／＼ノ事ニ付諸方ノ人フギンノ僧夜一ヨアクル迄アル也ハ_レカ_レナ_レキ
 ハアハシイキミ也尸ハ聞エヌ也花鳥ニハ遺骨トアル骨ヲヒロイテヲクルト見
 ユ一休ソウ聞エル也火葬

【三四才】

シタユイ骨持カヘルト見ユカバネハ皮骨（カハホネ）也死シテ其儘アルガ尸也焼テノケタコツバカリヲ尸トハ云ニクイ也安適ハ火葬シタ煙リ立ヲナニコトナク御尸ト云タト也又一説ニハ唯シナレタカバネアル見レドモソノカバネ見タバカリヲナゴリニテトミル也イトモハカナキ御カハネバカリヲ御名残ニテ暁フカクカヘリ玉フト云バソレヲナゴリニシテ暁ニカヘルト云ハソレニモ非ズアチデノ事也サレバユイコツト見シ敷也師説ハソノ焼ク煙ヲ見テ云ト也先遺骨也暁一玉フハ源氏也妻ノ死シテハ送り行者也常一人独カハタ顔ヨリ外ニ近ク見タ事ナヒ也能（ヨク）聞エル也師説ハ人独ガ也云ケシイ説也コノ説ハ是モヤハリ葵也夕顔ニ非ズ人ノ死ハ常ノ事也人独ガ上（ウ）ヘノミ御覽（ゴラウ）ジテト云也詞入レミル也先ガカ両説也外ニツイニ見又故ヲ哀キフカイ也ヨソノヨリヲ哀ツヨイ也八月一シナレタハ十四日ナレドモ八月一ニ也嘯（有）明（アケ）ジブン也コレハ暁モドルテイ也八月廿ツハソノモノガナシイ折フシノコト也

（○暁フカクハ暁ヨリマヘ也夜フカイト云ト同コト也朝ユクハヅヲ夜ノ中ニユクヲ云ソレト同コト也）

【三四ウ】

オト、ノ一源ノモドク大臣ノ子ヲ思フヤミニマドウヲ見ルモ御尤トキツウカナシイ也空ノミ一コレレ見タ時ニ断一ケレバト大臣ノゴヨウスミレバ御尤ジヤトカナシム也ケレバトバデ當ル也源氏モソラミラル、也

○「ノボリヌル一ノボリヌルヌル煙ハ火葬ノ煙也ソレト別ネドモトハ此煙立上リドコニアルト見エネドモドコゾニアル様ニミラレル也ナベテハヲシナベ

テ也此雲井ハソラ也煙上リタト思故ニ哀也マヘモ空ノミ詠ラレ玉テトアル也トノニオハシツキテモトアレバ此上リヌルト云ハ道デヨム哥ト見ユ又前ノ引ツゞキハオトゞノヤミニクレマドヒ玉ヘルサマヲミ玉フモ断ニイミジケレバ空ノミ詠ラレ玉テト云ツゞキミレバ内ヘ入テヨム様也オクノ詞ツゞキハ路デヨム様也是ハ空ノミ詠ラレ玉テト云ハ大臣殿ノナゲキニツゞキタ様ナレドモ是ハ哥ハ路也例ノ隔句也大大臣殿ノヤミクレマドフヲ見玉フモ断ニイミジケレバトノニオハシツキテモ露マドロマレ玉ハズトツゞク也上リヌルト云哥ハ路デヨム故ニコノ哥ヲ

（○道按空ノミ詠ラレ玉テハ人ノモノ思ヒアルニハ空ヲ詠メクラス也夕顔ノ卷ニモアリナガメハモノ思ヒノ事也詠ハナガクミル也ウツカリト見込デモノヲモフテイ也タゞミルコトヲナガメト云ハ非也）

【三五才】

隔テトノニオハシツキテトツゞク也ソフナケレバ上リヌルトツゞク此哥途中ノ歌ト見ユ師説モソレ也抄ニモ両説ニアル也年比一ジリ／＼ト切口ニ塩シム様ニ昔ノ事思也ナトテソケラク也ツヅニ一コ、ラヘ入レミル也ドコニ置テモ聞エハスル也ノドカニアラント思テシタガナゼ其様ニ油断シタゾ也前ヨリ葵ト年ノ違アリ又威勢争デナカ悪也ナヲザリノ一平生ノナンデモナヒ事ノ手ズサミロスザミニツケテモ此方ツライト思タナランソノ様ニコチヨリシタ也世一葵ノ年来トカク源ニ親ナカリシ也ニバメル一ニバメルハニビ色ヨリウス事也服（）者ニビ色キルニビハ花田也ソレニ少シスミサス也少クロケアル也ソノニビ色メイタガニバメル也ニバンダ者ト云事也妻ノ服（）ハフカフナヒ也服（）三ヶ月忌廿日也服ノ色浅也亭主死シタ妻キルハ服（）フカイ也バムハ気色（ケシキ）バムナド形容シテ云也全ニビ色ニ非ズ少ニビ色

カハル也花田少シクロクスル亭主ノヲ妻キレバ本ニビ色ニスル源ノコンナ者
キン

（○廿七ヲナドテノツ、キ如何日ナドテノドカニツ、キテヨイ也）

（○廿七丁ウ花田ヲニビ色ト云ヤ又花田ニ少スミ入ヲニビ色ト云ヤ日花田ニ
少スミ入ヲ云也花田ハ花田也ニビ色ハミナトズミト云様ナ者也花田ハ青敷
蒼敷日先青也アイノヨイ色也ソラ色ノコヒ也ナニコトナク青花デソメタ者
也）

（○私考日ニハメルトハ鈍（ニヒ）色トテ服者ノ衣ニシテ凡ハウス墨イロ
ナリ若紫ノ卷ニモ記セリ）

【三五ウ】

ト思ス也我先ヘ死ナバ妻ハフカウソメテキント也是ハ本ニビ色也亭主ノ死ハ
父母ニ準ズル故五十日ノ忌也アノサヘガ哥ニカハル也

○「限アレバカノフカクソメ玉ハマシトオボスサヘソレサヘソフ思召サヘ
限アレセン方ナヒ也令ノ定ユヘ妻ノ服（）ハ三ヶ月廿日ト極タ定メアル
也ウスズミ衣ハスミゾメ也服モ花田ニスミ入レドモウスフ入レル故也ニバメ
ル色ノ事也色ハウスケレドモ泪デフカウナル也抄ニ泪ハ藤ヲユメタ也服衣
ハ藤デアルユヘ也ソレハ入ヌ也浅ト云ニ測トスルト入レテアルニ又藤ト入レ
ル事ナヒ也其様ニニツ三ツニツカウ事哥ノヨミ方ニナヒ也ネンズハ珠数（ジ
ユズ）クル也イト、一又イクタビモ源ヲホメル也経一口ノ中デクル也普賢
（）菩薩ノ願ハ法界三（）味也ホウカイニアル事ナニヲ頼デモヨイ也大
（）士ハボサツ也開士（カイシ）トモ云也ケハマサル事也人ヨリハケニト
アル也伊セニモ大方アル也若君一タ霧也葵ノウム子也ナニ、一古イ哥也◇
（抄ニ引）結ヲク一此子ガナクバナニ、

（○法界三（）味也上ニナンゾアレバ下ヲ三（）味ト濁也法花三（）
味ト云也）

（○大士ノコト釈氏要覽ニ委アルト覺タリ）

【三六オ】

昔ヲシノブ思ヒ出スツマアラウゾアルデヨイ也ケレトモ其子ミルニ付又思ヒ
出スツマ也ミレバ泪コボレ、トモカウシタ形見ナクバドノ様ニツラカランソ
レデ心ナグサム也宮一母宮也葵ノ上ノ母也是モ引入ソウ也又一葵ニコリル故
又也ハカナク一日数ハズウ、行故七日、ノ仏事也カレコレト事多ガ急
（イソギ）也カウシタ事アラントハ思ヒヨラヌ故尽セズカナシイ也ナノメニ
一是カラ大宮ノ心云也ナノメハ十分ニナヒ也葵ハ十分也カタヲハマヲニ對シ
テ云十分ニナヒ也ソレサヘ大切ニ思也況マシテ葵ハ十分ニタラウニ死スル故
哀也又一女メハ大宮ノ子ニ外ニ無也サビシイ也袖ノウヘノ玉ノクダケタリケ
ント云ハ古語アリソフデ強テナヒソフ也袖一ハ大切ナ事ニ云也哥ニハタグヒ
又二ツトモナキ袖ノウヘノ玉クダケケン思ヒヲゾ知ルトフルウヨム哥アルセ
ンギセバ古語モアランカ知レヌト也大将ノ君ハ一是カラ源ノナゲキニ引込テ
アル也二条院ハヲノシノ本家紫ノ上ノヲル処也ソレヘサへ行ヌ也アカラサマ
ハチヨツト行也アハレニ一

（○引哥ニ結ビヲクト云ツムハ草ノ縁デ云也タゞ忍ブト云マデ也ナニヲ忍
ブタネニセウゾ也）

（○又タグヒノ哥ハ遣遙院殿ナランシラズ）

（○廿八ウアカラサマ如何日カリソメ也白地恋ト云類アルツイチヨト逢テ別
レルコヒ也如何シラズ韓退之カ暫ギヨシト）

【三六ウ】

葵上ノ菩提フカウナゲキシシ実ニスル也処一忍ビ、処也フミバカリカクドコヘモユカヌ也カノ一葵ノ死ハ八月十四日送葬ハ二十〇(日)一餘也齊宮ノ左衛門司へ入ル事ノ前ニ野宮へ行前左衛門司へ入ル事アリマダ入事ナヒ也入ラントテニタビノ後アラント云事アルコレハ左衛門司ト云ハ葵ノ死ナン内ニ入タトシタ者也イト、一入テアル故イト、惟サヘモ御息処ノモトニアルサヘ榊ノ憚(ハバカリ)トテ神事ニ付諸方ノ書通ナヒ事前ニアルソレウケイト、也御息処ノモトデサヘ榊ノ憚ト云タ也況ヤイツクシキハ嚴威ゲン格ノ嚴也イツクシキモ人アハレムコトヲモ云也古今序ニ御イツクシキノナミトアルソレ也是ハツ、シム也アテハ神事コチハケガレトソレカコツケ往来ナヒ也ウシト一平生ヨノ中(ナカ)ハウイト思テアルニ又コノタビ葵ノ死故御息処ノ事ニ付愈イトハシクナル也カ、ル一葵ウムタ霧ノ子ナクハ幼子(ヲサナゴ)ナクバネガハシキ一カネノノ発心也先一コンナ者也発心セント思バステラレ又紫ノ事ヒヨイト思也出家ノ志アルトニヨイト紫上ノ事

ナツテトアルアカラサマハシバラクト書テアルソレ故シバラクトモヨム人アルナリ

○キヨマハリハセウ進ケツサイ也今モ堂上ニ云フ也マハリ如何日シラズタバキヨイ意ソウ也

○私考曰齊宮ノ左衛門ノ司ニ入玉ヒニケレハトハ左衛門ノ司ヲ初齊院トシテ入玉フ事也左衛門ノ府(ツカサ)ハ鷹司ノ南大宮ノ東近衛ノ北堀川ノ西ニアタレリ河(カハ)海ニ近衛猪熊トアルハ恐ハ非ナルベシソレハ檢非違使廳トテ刑殺ノ事ヲ判断スル処ニテ神事ニハ忌ベキ一ツナリ神祇令ニ見エタリ

【三七オ】

思也ヨルハ一葵上ノ御殿也女房達ハミ几帳ノマハリニトノキシテアレドモ源ハ独ネ故也時一〇(抄二引)古今ニ時一者ヲトアル哥ノ心也サツハツノ時ヲミルハ生(イキ)テアルヲミルサヘニ死別ハ哀キ也声一聞ユ深一秋フカフナル程甘日アマリナレバ九月フカイ也風一是ケイ気也菊ノ一ソノ者思ヒナサレテモノサビシキ晝ニ菊一ケシキハ未(イマダ)節至ラヌ故少シヒラケカケ菊ノ色カヅノミセル也コキ青ニビ一ニビ色ハ花田色ニ少スミ入ルソレヨイヨノクロクスル御息処ヨリクルナレトモコチ服(ハ)者ユヘソノ紙ヲコシタ也下チカラト云ズ帰タ也源風流ナシ様ト思也聞一ニ説アル也先一色ハ神事也又服者故フミヤラヌ神事ノコトシラント也又一説ハ何方カラデモトハンハモノウイトシラント也ケレドモ御息処ヨリトハンヲ源ウイト思ス也マタソレヲウイトシラントハ云テヤラヌ也是ハ神事故トハント也

○一人ノ世ヲ一人ハヨソノ事也葵死シ源ナドノ哀ミル也ヨソノ事也此菊ハ
○同云菊ノケシキハメタルハ開ケサシタル也菊ノ枝ヲ用ヒ玉フハ聞ノ字ニカヨハシテ也青エヒノ紙ヲ用ヒラル、ハ服者ノ方ヘ遣タ文ナレバ也青鈍ハ花田ニウス墨サシタル色ナリ

○コキ青ニヒ抄ニ花田ニ青ケノマシレルト如何黒ケナラン歟曰源氏ノ装束抄ヲ可考此説如何也

【三七ウ】

持テクルキクモツタ者也テマヘニハ身ニカ、ラヌ事承サヘツユケイ也ヲクル、露ハ猶ナラント也此シブンノ人悲メルサツハツノ時ニ承テ思アマル也故ヲイタミ云ヤルト也常一平生御息処ハ紙書哥上手也ソノ平生ヨリユタカニヤサ

シウ也サスガハ執ネイヲ見限テアレドモイヤジヤト思ドモユウニ書折フシ故
 サスガニ也ツレナノツラノ皮アツイ也サリトテソフアルトテカ◇(キ)
 タへ此方カラヲトナヒセンモ人聞モ笑止也人ノ名ノ源ヨリ今此返事デモセ
 ネバ葵ノヲン靈ニナル故ミ限ト云ハスモキノドク也人ノ名ハ御息処也過一源
 ノ心也葵ノ死スルハ本病デモ物ゲデモソレハ過去(クハコ)ノインネンナラ
 ンナニニ事ニ御息処ノヲン靈ノ口走ナトサダハサダカニハツキ
 リト此様ニアザヤカニ聞タゾ也ケサヤカハアザヤカ也クヤシイハ我心ヤラレ
 クヤシヒト思ドモナヲ思ヒ直シテ元ノ様ニハ御息処ヲエ思フマイ也

《卅丁ヲ二月朔會》

△齊宮ノ一是ハ御息処ヨリ弔ノフミ来ル元ヨリ執ネイ

【三八オ】

者エンジテヲン靈ニ出テウトマシウ思故シカト弔ヌニ齊宮ノ神事故服
 (一)者カラトテ承下地ノウトマシイ上ニソヘテ猶遠シイ也キヨマハリ
 ハセウ進也今モ堂上ニハ云也惟キヨウスル事也ナサケナクハ無風流也(三)
 アラントテ也紫一紫ナレドモ服者へ故黒ミカハル也ニバハニビ色ナレドモハ
 ハ形容也少シニビ色ノ方ヘヨル也コヨナフコレヨリ文(フミ)也久程ヘル
 ヲ心ニ怠ニ非ドモ服(一)者故神事ノエンリヨデ御返答セヌハ思ヒシルヤ也
 ○「トマル身モ一返哥ノ一通ハ止ル身ハ源氏消シハ葵ノ上也葵ハ死去我ハ残
 ト云ドモ末ノ露本ノシヅク也ドウデ同事也チト残ルトテ残リトゲルニ非ズ露
 ノエンデ心ラク也心ラクハハカナイト云一通デソコノ心ハ葵死スル我ノコル
 同シユメノヨ也コナタシツトシテ葵死シソコ元ハ残テモツユノヨ也トモニ云
 人乍シスルソレニ心ラクハハカナヒ事トコメタ也カツハ一神事デエンリヨス
 ルコレデ此方ノブサタ思ヒケシテ了簡シテクレ也ナイセウハミナ同事也怨ミ

○私考曰紫ノニバメルトハ花田ニ赤花ウス墨ナト入タル成ヘシニハメルト
 ハアシク黒ミタル也

【三八ウ】

ケセト也コレラソコニフクム也御一アチハ神事也服者ノ怖ユヘ直(ジキ)ニ
 ハミマイト思事也コレニモ一聞エヌ也タレニモト云バ聞エル也タレナクトモ
 近処ノ女中ニロウシテクレ也定家自筆ハコレニモトアルキコエニクヒ也ソレ
 トモ定家自筆ユヘスマシテミレバカノ初メノ御息処ヨリクルフミニ聞エヌ程
 ハオボシシルランヤトアリスグニ齊宮ヘカハル神事故フミヤラヌト思召シシ
 トアルソレウケ此方ニモ御(一)同然ト云コレニモ也里一齊宮ハ是ヨリ先ニ
 左衛門ノ陣ヘ入トアル御息処ハ此節里ニナルジブンナレバ也ホノメカシ一底
 (ソコ)ニ三人トモ皆死ニ怨ルハハカナヒ事ト少カスメアル也ホノメカスハ
 チラリト云コト也ホノメクハ火カラ出ル訓也チラリトミセル様也御息処ノ心
 ノ中ニヲン靈ニナル覚アルシルク一彼事故被仰下トシツカリト思也サレハ一ソ
 リヤコソソウデコソアラント思也伊物ニモ出イミジハキツイ也キツウツライ
 也カナシイ也猶一猶ハ下地サヘモ源ノ事恨テ限ナヒウキミト思ニコンナ事フ
 クメバ猶以也カヤウナル一御息処ノ心テイ也ヲン靈ニ出事

【三九オ】

院ヘ聞エバドウ思也故一御息処ノ御亭主也源ノヲヂ也御兄弟ハ大勢アル同
 ハ外ニモ兄弟アル中(ウ)ニ別シテ桐壺ノ帝ト先坊トナカヨイ也外ニ對シテ
 同也此一先坊ノ死ナレル時ニ先坊ノ院ヘ今齊宮ニナルヲユイゴンシテラク也
 聞エツケサセハソコヘアテツケラクヲ云也ミカドヘ打マカセラク也ソノ様ニ
 頼ラク故先坊ノカハリニモ御息処ミアツカイ進ゼント也ヤガテハソノマハ也
 常ニ桐壺ソフ被仰也ヤカテ一キンリヘ来テコザレトハ先坊ノ頼ラク故御テウ

アイセントテ也一旦ヤモメニナリ今召トテ參ルマイト思也カクノ如ク源ニナ
 ビイタ也初ニソウシタ心ナレバミカドヘデモユク也後家立ント思ニ心ノ外ニ
 源ニ引ナビカサレタ也カノ若シイモノ思シテラン靈ナドニナリ出也サヘ
 デ源ニナビキモノ思ヒスル上ニ此ラン靈ニ出ル名ヲサヘ也猶ハ下地カラ心イ
 タマシイニ院ニモドウカ思召サント猶心イタメラル也サルハソフアルハソ
 ノ様ニ心病ガソフアルシサイハソノ御息処ハ大テイセ間ナミデ云バオクブカ
 イヲモシイ聞エアツテ先ヨイ人也野宮ノノ宮ヘ聞テ左

（○私考曰ノミヤノ御ウツロヒノホトハ初齊院ヨリノミヤヘ入り玉フ也
 ノミヤヘ入玉フハ凡初齊院ニ同シトイヘリ西宮記ニクハシ云々）

【三九ウ】

衛門司ヲハライスメバ野宮ヘ入ラントアレドモノノ宮ヘ入トハナヒ也此デ野
 宮ト云ハ是ヨリ前ニ野宮ヘ入ル事カゲニナリ早（バヤ）入ル也ソノ入りシ
 ナサマノ風流ナ事スル也ワカ天上（）人ノ好色メカシイハカサヨシア
 ル人デ一切ナサル方ヨイ御息処故事天上人思ヒカケ野宮ヘ通也其比ノ役ノ様
 ニ野宮ヘミマウ也源ノ聞テハ断也ナル程ソノ様ニ天上人朝ユフ露ワケアリク
 ハズジャ也ユヘユヘヨシハアク迄ツイテアル人也少モ愚ナ人ニ非ズモシ万
 一ヨノナカアキハテ伊勢ヘ下バソウノ（）ハナンボラン靈ニナラン源
 氏ウトマシフテモサスガニ京ニアリ文通スレバヨカラシイ勢ヘ下ハサビシカ
 ラント也サスカハイヤナレドモ若下バノコリ多（ヲイ）也御葵ノ死去ノ
 後御法事ハ七日ノ法事也過ト云ハ七日目ニ七度スル法事也正日ハ四十九
 日也中陰アキ也スギナンハコレヲ取コシテ短フシマウ也正日迄ノ法事ス
 ムブンナレドモ日カズタラヌ故コモリアル也葵ノゴ殿左大臣殿ノヤシキ也ナ
 ラハヌ源ノ五十日トモコモルツレツキニナヒ也心苦ガルハ三位ノ中将

ガ心苦ガルソレ

【四〇オ】

故ミマイニクル也葵ノ兄ゴ也品定ノ相手也ジチメナ事モ例ハ平生好色ノ事互
 ニハナス也ソノ事云テ源ヲ三位ノ中将ガナグサム也カノ源内侍也打拂ハ
 源ノジチメ立タ事云バソレヲ云セヌ為ニ打拂為ニ源内侍ノ事ヲ云也大将ソ
 コデ源ノ被仰ハアノアイトシイ源内侍ノ事ソノ事云ナ也必竟タハムレナ
 リヲバ古ハヲヤノヲヤヲバト云大バ也ハハハハ也コデ云バ祖母サ
 マト云様也タハムレ也ヲトハドノト云ニ當（アタル）也ソノ事云ナガイ
 サメル也ソフ被仰ルレドモ源内侍ガ事イカ様源内侍デハアルゾト笑也是ハ実
 ニヲカシイ也カノナリシデ句切也是ハ末摘ヘ源行頭中将アトヨリユキモロ
 トモニ帰ル事アルモロトモニ大内山ハ出シカト入方シラヌイサヨイノ月ト云
 頭中将ヨム事アルソノ事云出ス也此秋ト云ニ説アル是ハ師説ニハ夕顔事也
 夕顔死スルハ八月十六日ノバンナリカノイサヨヒハ末摘也秋ハ夕顔カラ
 モドリ朝ネムタガルヲ朝頭中将行テミル事アルソノ事云ト也又一説ハ末摘
 ヨリ帰（カヘ）リ朝ネムタガルヲ

（○卅ニヲ打はらひハ笑ニ非ヤ曰コノはノジわらふとハヨマレズウヘニ書ニ
 はトカレヌ也ハ者ノ字ノヤツシ也）

【四〇ウ】

頭中将朝見同車シテキンリヘ参内スルニブラノネムル事アルコレモ秋也兩
 説也ナニブン句ハ切ルカノナリシデ句切也秋ハ別也サラヌソフナヒ也
 末摘夕顔ノ事デナヒ也クマハカゲノカクレタ事也オリソコナフソソソコ
 モトニコソナ事アツテ知テヲレドモ云（イハ）ナンダナド云也ハテノ好色

ノ事云テアトハ葵上ノ死後故無常ゴユヘニ哀ナルニテチル也時雨―是カラ別段也各別ノ日也段カハルト見ユ此衣ガヘハ十月ノ衣ガヘ也直衣(ノヲシ)ト云者ハ四月カラ九月ハ花田十月カラ白也夏ハスバシ冬ハアツイ衣(キヌ)ニナル是ハキヌ也妹ゴノ服故ニビ色也今迄ノ服()色ヨリ冬ニナレバ日数タツユヘウスラカハ色ノ事也オ、シクハ男ヲシイキツトシタ事也雌雄(シユウ)ノ雄ノ字也頭中將ノ一体(タイ)カウシタ人也オ、シウキツト立タ人也君ハ源也衣ガヘ時分ナレバ霜ガレノ―也時節ノ景気也是モ時雨サツトシテト云説アレドモ師説サ也時雨ト泪ト争也雨―是ハモト文選ノ高唐ノ賦宋玉ガ文也楚王ノ夢ニ巫山ノ神女(シンニヨ)ミエ今日寢*席

〔四一ウ〕
 (○私考曰中将ノ君ニヒ色ノ―衣更シテハ夏ノ喪服ノニヒ色ナル直衣指貫ヲタ、ノ喪服ニ衣カヘシ玉フツイデニ色ヲウスクナシ玉ヒタルナルベシ夏ハス、シ冬ハ平*緒ノ練ナリ)
 (○卅ニウシグレサトシタル抄ニサツトシタルトヨムアシキヤ曰凡ヨミクセヨイアシイト云コトナシ習ノ通ヨム也コレモサトヨム也コレハサトシタトヨミテモサツトシタノ意也サツトシタトヨムハアマレゲウサン也サトシタトヨム文章ヲシウテヨイ也)

【四一オ】

進シ我ハ巫山ニヲル朝々暮()々陽臺下ト云事ナレドモコレニハ旦(アサハ)為ニ朝雲ニ暮為ニ暮(行)雨ニアサバンチラ、ミント云是ハ其心ナレドモ源コ、ニ云ハ文選ニカ、ル事ニ非ズ劉禹錫ガ詩也為レ雨為レ雲今、知トアリ今、知デミヨ源ノコ、デ吟ズルハ此詩也今ハシラズハ本詩ニアル也ケレドモ必竟葵ノ事也葵死ヌルガ雨ニナルカ雲ニナルヤラン楚王神女ニ逢モ重テ對面ナヒ也ソシナ者ジヤト也ツラツヘ―ホウヅヘツイテアル是モ嗟歎ノテイ

也女―頭中將思召入也源ノアノ御ヨウスヲ女ニテ御夫婦デモアルカ見ステ、死ナバソノタマシヒヒツツイテアラント也頭中將ノ色メカシイ心ニテ也近フ―源ノソバヘ近ヨリツイスハル也シドケ―源ノゴヨウス元ヨリ葵ノ御殿ナレドモヲノシノエン居ノバ故ギツトセヌ也ヒモバカリ―直衣(ノヲシ)ナルガ直衣ハ入レヒモトテ雨羽ヲリノボタンカケノ様ニ右ニ穴アリソコデシメル輪ノナカヘボダン入レル故入レヒモト云也シドケ―ハソノヒモシメズニ居ルニ頭中將クル故礼義ニヒボ結ブテイ也

(○私考ヒモバカリノ説アリ如何也師説ヨリ聞エタリ可考ニ私考ニ略レ之)

【四一ウ】

コレハ―コレハトハ源也頭中將ハ直衣ヲ衣更シテクルソレニ對シテコレ也頭中將ハ衣ガヘノ序ニ色ウ~~ル~~ル(スクス)ル也源ハマダ衣更聞ヌ也ヒツコミヨソヘユカズ又晴ナヲ客ナヒ今デモ寒ウナヒ時ハウスイ者キル也源ハ心喪(シンソウ)也葵ヲコトノ外痛ム故頭中將ヨリ今少シ色コイ也コレハ紗(シヤ)ノ直衣也頭中將ハウラツキ也是ハ白也源ノハニビ(ノハニビ)色也紅―ハ下(シタ)ノキヌノ色也ヤツレ―服()色ノ直衣召故ヤツレル(ヤツレル)イクタビモ源ヲホメル也中将モ―アノモニテ源氏同然ニモノ思ヒノテイ也(シテ)ヲル也

○「雨トナリ―是頭中將ノ哥也雨トシグレト雲ト別ノ様ニスル時雨ハ用ユヘ雨トナツテ時雨(シグ)レルトヨム也葵ノシヌクレ残ル雲ヲ云也雨トナリ雲トナルト文選ノ文并ニ劉禹錫ノ詩ニソフアル死事云也朝々暮々ミヨト楚王ニ神女云ドモミヤウモドコヲ見様ナヒ也巫山ナレバ目当(アテ)アレドモコ、ハミヤウ様ナヒ也ユクエナヒ也大空一ハイニナル雲ユヘ也

（○抄ニ引政事要略写本ニアリ大部也作者未勘）

（○私考曰是ハ今スコシ姉妹ノ服モ嫡妻ノ服モ三ヶ月ナレト源氏ノ君ハ妻ノ服ナレハ中将ノ君ヨリ一入コマヤカナルニヒ色ノ直衣ヲキ玉ヒヌト聞エシコマヤカナルトハ濃（ユキ）色也又紅ノツヤ、カナルトハ衣ノ色ナルベシ輕服ノ人紅ノ衣ヲ著玉フ事古注ニ説々アリト雖予思ニ是ハ忘レガタキノ心ニヤ古今集恋ヨミ人シラズ「紅ノ初花ゾメノ色」

【四二才】

○「ミシ人ノ源ノ返カ也葵ノ上雨トナリ雲トナリ死ナレタ事也前ノハ雨ヲ体（タイ）ニシテ雨ノフリユクヲ時雨ト云コレハ前死ヌルヲ雨ト云コレハ十月ニナリ雨トナル雲井ミ様ト思バシグレカキラシソノソラミエント也面白ヨム也トノ玉フート源ノ心テイ著（イチシル）ク頭中将目ニ見エヌ也怪フフシンナ事ジヤ年比ハ葵トナカヨイト見エナシダ也ソレ故院ノ居タリ起タリシテノ玉ト被仰タ也又左大臣殿モ段々源ヲホンソウシテ源ノヲ心ニ叶様ニトアルモ葵ノイトシサ也源モソレユ◇（ユク）也大宮ハ葵ノ母也桐壺ノ妹也伯母（ヲバ）ノ女メゴ也ハ、方ノ大宮也モトヨリヲバ也ソノ女メナレバドチラカラミテモソ略ニナラヌ也サシアヒハサシツドウ也ソレ故源ノ葵エフリステン也シモハ助字也物一葵ノ方へ行テモノウク思ヒ乍月ヲヘタト見エタガ也イト□□ウ□□◇◇（頭中将ノ）心ニ源ヲイヤジヤニゴザルハイトシイト思也誠ニ□□源□□□□◇◇（今源ノミシ）ナレド、被仰ゴヨウスケ色ミレバ中々イヤナ事デハナカリシソウナ誠ノ御本妻ト思ヒシメテ有タソウ也コトニハヨソ

（フカク思ヒシ心我ワスレメヤ）

（○桐壺ノ卷ニキタチヲホウシイトナミテトアリ立タリキタリサマノシタ

也）

（○大宮ノ御カタサマ如何曰大宮ノ方也サマハ付字也）

【四二ウ】

ノ女ヨリカクベツニ思召タソウナ也ゴヨウス哥ニ付テ頭中将キツトミシル也イヨノハ葵ノ死スル事タミサヘ口惜クザン念也（ナニ）源ノ志フカ、リシト思バイヨノ也万一葵死ナバ源モゴザラン様ニナル故万タンニツケ明リ失様ニ思也クシクジハ心クツスル也イタカリハイタム也クツスルヲハネテヨムヨミクセ也素本ノ繪入ノ源氏物語ニハシノ字入レテアル惡也ヨミクセデコフハネル也素本（）ノ誤也クシト書テヨイ也カレタル十月ノ事故カレヌ也下草トテ惟クサノ事云也下（シタ）ニアルヲ云ニ非ズリンダウハ秋アル冬迄ノコル也撫子六月カラ十月迄ノ花也中将ノ中将ガ万ノ事ニツケテ明リウセルト思ヒクツシ心イタメラルソレカラ中将ノイナレタソレカラ源氏ノ也枯タル折（ヲラ）セテ中将イヌルアトデ葵ノ母君へ奉也若君ハ葵ノウム子也ソコヘヤルニ非ズタ霧ハ幼少也夕霧ニ付テアル宰相ノモトヘヤリ母ゴヘヤル也

○「草ガレノ草ガレハ葵シヌル事也秋スギ今冬也撫子ノ子デ夕霧也

（○卅四ヲ哥秋ヲ葵ニ比ニ非ズ草ガレヲ葵ニ比スルヤ如何曰同コト也草枯モ秋モ葵ニカ、ル也秋ニ至リ草カレル也）

【四三才】

ヨリ聞ユ句一葵ノウム夕霧ナレドモヲ子孫ニハ思マイ也孫ハ子ヨリ遠故句ヲトルト見ント也ゲニ一哥ニマガキニ残ル撫子トアル花ニ對シタ故ゲニ也撫子ノ如クゲニ也宮ハ母ゴ也吹風ニツケテモ一コ、ラ面、白書様也タ、ノ事故風

吹バ忽木ノ葉ヲチル大宮ノ泪モソノ様也風ニチル木ノ葉ナレドモソレヨリモ猶也ダニト云ユヘ風ニ限ラズ一切也ケニハソレヨリマサツテ也マシテハ風ニツケテサヘ泪(ナミタ)コボス大宮ナルニ源ヨリヲ哥クル故マシテ泪モロイトアソコニフクム也マシテ取アヘズ泪コボレル也

○「今モ見テ下地カラ見テアルガ今モミテ中々却テ袖クタス也葬死シテハ形見ニミルハ夕霧也形見トミレバ却テ袖(ク)タス也猶ハ源ノヲ心也モノ思ヒアル故頭中將ト物語シ大宮ヘ哥ヤリアチヨリコ返哥アレドモ猶イミシウツレ也サマナグサミテミル故朝顔ハ此様ナ我愁アルヲヨクミシル人也サリトモハ平生ハ朝顔ハフミヤレドモ従又人ナリソウシタ

【四三ウ】

気ナレドモ此様ナ哀ハミシル人ジヤト也クラキ日ノクレニナレドモ也キコヘ玉フハフミデモヤル也タエマコレハ源ヨリ折々フミ通タレドモ去年此節ハ葬ノ死ニヨリ久タヘル也サノモノトサイノ往來ハアルソウシタ者ニナリ來ル事故好色メイタ事デナヒ故トガナヒ大クナヒト内衆ヲ目ニカケル也ソフナケレバ外ヨリクルトメツタニミセヌ也ソラノニビ色ノ事也

○「ワキテコノ表ハ葬ノ事也平生モノ思デ袖ヌレル別シテ此クレハヌレルト也モノ思フ秋ヲアマタ年ヘタレドモワキテ此クレハモノウイ袖ヌレルハ葬死スル故ト云テ必竟ハコナタ様ノ事思事年ヘタレドモ別シテコン年テマヘニカハリモノ思フ秋ヘタレドモコノクレハ別シテ也コレ葬死スルカラ也イツモ抄ニ引ドイツモ時雨ハト云ハワキテコノト同哥也イツモ時雨フレドモ此タビノ様ニ袖ヌレル事ハナヒト同事也ソレ故イツモ時雨ハトアル也御源ノ心止テ書事常ヨリモ見処アリスグシ打ステラレヌ御返哥ナサレズバスママイト思也自モナルホド

【四四オ】

ヲノシモソフ思也大内山ノ聞エニクヒ也抄ニモ引堤ノ(ツ、ミノ)中納言カネスケ宇多ノ天王仁和(ニシナ)寺(ニアルニアチヘユキ白雲ノトトヨム此心取テ大内山ノソノ白雲ノ八重九重ニ立ヲ思ヒヤルト也抄ニ一説ハ先ニ云ハ仁和寺ニアル御室(ヲムロ)ニアルト也又キンリニ大将ノ直廬トテアルソコノ事ヲ云ト也キンリニ在ヲ云ト云ハ聞エレドモソレデハナラヌ也キンリハ服(ニ)者也里ニ居ル也今ハ左大臣殿ノヤシキニアル故キンリノ大内山思ヤルニ合ヌ也中納言勅使ニナリ行白雲ノ九重ニタツトヨム哥ノコト思ヒ打コモリアルヲ思トミネバナラヌ也エヤハトハ抄ニ引「色ナラバー也色ナレバソメンナレドモ思フ心ハミセラレヌ也

○「秋霧ニタチヲクレヌガ葬ニヲクレル也シクルハソノ葬ニヲクルハト聞ガソノシグルハ空ハドノ様ニモノ思ヒアルゾト尋也ドノ様ナラ哀(ヲナゲキ)ゾト察シヤル也思ナニモカモ朝顔ハ事ノ足ル人也ナニコトニ一切ニツケ聞タ程ニハ見テハナヒ者也一切手ニ取テハヨイ者デハナケレドモ朝顔ハ源ニナビカヌツライ也

(○直廬(チヨクロ)ハ宿直ノ心歟曰然リスベテキンリヲ大内山ト云コレハ大将ノ官故ニカク云也)

【四四ウ】

ミマサリハ難イ手ニ取テハ悪也返事ミ(テモ)トヤリヨフミエル是ハ我者ニナラン故ニヨフ見エルソレガ我者ニナレバソフナヒ也アハレニオボヘ玉フ人ノ御心ザマ也トツバケテヨイ也源氏ノ事也ツレナツレナヒ朝顔ノ宮ナレドモサルベキ折々ノアハレハレハトモニアハレム源ノ夜ノ月ト云アハレ也アハレサズ返事スル也コノアハレハトモニアハレム源ノ夜ノ月ト云アハレ也アハレ

ヲスグサヌ様ニ贈答スル此様ニ源ト朝顔ノナカノ様ニアツテコソ也実事アツテハ互ニブシ／＼出来此様ニヲソウニアツテコソ也猶ソレハソレデ猶一是ハ御息処ノ様ニユヘモアリヨシモアマル様ニアルハソトヘミエルバカリデユヘヨシハアレドモ外ニナンアル也ソレハヲン霊ニモナル様也此朝顔ノ様ニシテアルハナンナヒ也

《卅六丁ヲ―二月六日會》

△臺ノ姫君ヲ―タイハ西ノ臺也西ノ臺ニ紫ノ上ヲル故也ト云ハ前ニ猶ユヘヨシスギテ―イデキニケリトアルソレ承カノ御息処ニユヘモアリヨシモアツテ人目ニ立派ニミエルバカリデ内セウニハヲソロシイ事アル故ジヨノ難出来也アマレソレ作レバソウシタナンアル紫ハソフソ立マ

【四五オ】

イト思也ツレ／＼()―コレハ葵ノ上ノ方ニナル故紫ノ源ヲコヒシウ思ハント思召也タゞ云バ源ノヲ子ノ様ニ思也母ヲヤノナキ子ヲク様ニ思ミヌ程心モトナフキズカイ也如何―源ノヲカタライ打手ナレドモ小児故昏礼マダ也小児也シツトナヒ也ソナ処ニ心ヲクキズカイナヒ也暮―是モ葵ノ方也トモシビ持来也ヲトノ井油也然ルベイ葵ニツク女中アツマル也ヲ前―ヲ伽(トギ)也中納言―是葵ノ召遣ノ女房衆源ノ平生心通スル女中也忍ハコヒ忍也カクス事ニ非ズ此―此御思ハ葵ノ死後ノ源ノナゲキ也思ヒ／＼ト古今ノ詞少ニアアル母ノ思ヒタレノ思ヒトアルコレハ死後ノナゲキノ思也コレモソレ也源ノ独リ子ヲサビシイ故中納言ノ君御テウアイナルベキニ葵死後故却テソナスデニモカハツテユカヌ也中納言ガ葵ノ死後故ソナ心ツカンソフナト思也オホカタ―ソナナサケラシイ事ナケレドモ大方ニハ中納言ニモ打カタラウ也カウ―是ハ源ノ詞也中納言始メソウタイノ女中ニ被仰也カウ―ハ葵ノ服()中ツメテアル也

【四五ウ】

平生ハ此様ニツメテゴザル事ナヒ也アリシヨリケニハアリシヨリマサル也タレモ／＼ソノケ内ニナル者トレモ／＼皆也ヨソヘイテ滞留シテモドル事アリベツタリトコ、ニ居リ皆ミナレル也ソウシテヲイテ服()去ハ源モ二条院ノ方ヘカヘレバ今迄ノ様ニハエ―シモハ助字也コレハ古哥也(抄二引)ミナレ木ノ―ト云哥ノ詞ニテ書コヒシカラジヤコヒシイデアラント云ノコス也忌―葵ノ死去ハコソゴ絶シタコト也云ニ及ヌ事也ソウタイノ事思ヒ巡シテミル也セ間カクベカ、リノ事ニ付テ思ヒ巡ニドウモコタヘラレヌ事多也イト―タバサヘモナクニ源ノミナレ／＼テエシモ常ニカ、ラズハトテサイ／＼コザラヌ様ニ云故猶ナク也云カイハ葵ハ云テカイモナヒ事也ソレハ云テモカヒナヒ事ト思フ上ニ前後忘却シテアルソレハソレ也名残―葵ノ死去ハ云テカヒナヒ事也前後忘却スルソノ上ヘ今迄ヲ出ナサルナゴリモナヒ様ニナラン也アコ―ハソコ立去ガアユガレ也聞―ハロクニエ云ズハカナク也哀―惣／＼()ソフ云故惣ゞヲ見メグラシ

《○卅七ヲアクガレ如何日ハナレルコト云也アクガレ出シ玉ナラント歟伊物ニアル御ナカモアクガレト榎(マキ)柱ノ卷ニアル也アハ発語也コガレル也ハナレタ故焦ル也コガレルノ訓火也》

【四六オ】

見渡也名残モナヒ様ニアクガルトハナゼ云ゾキツウ心残りトリナスソウシテ此方心テイデナヒ也心長―心長ニ此家ニ今迄ノ通ナル人アラバテ前ノ心テイカハラヌヲシラント也命コソ―ソフハ云ドモテマヘハ心テイカハラズコント思ヘドモカウシタ者思ヒデハ手マヘ命モタマルマヒ也火―此火―面白也ナ

ゼナレバ皆各ナキ沈テアルドレトモ顔ミ合バ源モ涙出也ソフスマイトテ火ヲミテアル也見ル事也モママミノ打ヌレトモヨムベケレドモ先師説ハマミノ内也トリワキテ―葵ニ置者也親ナク葵頼ニシテアルニ死スル故心細也尤ト也アテキハソノ女ノ名也昔ヨリアル名也紫ノ日記(ニキ)ヲ抄ニ引アルソノ外昔ヨリアル名也ワレヲ頼ニセヨ也忌―ソフ被仰ニツキ愈ナク也程―ハチイサイ也小兒故チヒサイ也アコメハ装束ノ下ニキル者云バキヌト云様ナ者也マヘニモトリワキテラウタクシ玉シトアル別シテ葵ノフビンガル心ソウ故エコクソメタ也シンソウ猶色コヒ也エンウスイ―猶ウスクスカサミハ上(ウヘ)ニキル者

【四六ウ】

云也ヲツトテ云バ独衣ノ様也ウシロハ長ク引也カサミノウシロノナガクト枕草(一)子ニモアルコト外長ク引者也クハザウ色ハクハン草色也スワウニダウサヲ入レンメルトアル也服者又平生尼ナドキル者也昔―コレカラソウタイヘ云也葵ノ上在世ノ事ハスレン者ハサビシケレドモソレコトヘ也シノンデハコラヘル也夕霧ヲミ立クレヨ也ミシヨノ―葵ノ在世ノナゴリナクカレルハ他処ヘユク事也人ゞサヘハナレテ行バ別シテ源モ名ゴリナクコレヘクルモカラアルマイ也何レモ心長クアル様ニ云也イデヤ―ソフ源ノ被仰ニ付イデヤソフハ被仰レドモ今迄サヘ葵御在世サヘミナ待遠也イデヤハ発語ノ句也大殿ハ―葵ノ父ゴハ人々―召遣ノ女中方ニモブンザイ高卑(タカイヒクイ)ソウワフニハカナキ―平生葵ニナラウ者モテアソビ者ハハカナヒ也又―ハ装束召者也一生モミル者也ワザト形見ト云様ニナクゲウサンニセヌ事也君ハ―源ハカクノ如ク此様ニコ、ニコザラン様ナヒ也院ヘ―仙洞桐壺ノ院ヘゴザル也御―イツモ源氏ノ文法也

〔四七オ〕
 (○カサミハカリギヌノ後ロヘタレタ様ナ者アルナリ)
 (○私考日程ナキ相トハチイサキコト也黒キカサミクハサウ色ノハカマトモニ服者ノキル色也クハサウ色ハ柑子色ト大略同ジコト蘇芳ニタウサヲ入テ染ルヨシナリ)
 (○卅八ヲキハ、敷日然リ)

【四七オ】

ゴザルアラマシニ院ヘマイリ玉フト云也アトニ行事書也ゴゼンハ先乗(サキノリ)スルヲ供ノ人々也ジ節時雨ノセツナルニソノジ節シリガヲニ也コノハ―ジ節景氣也オマヘニ―葵ノ死後デサビシイニ源ノ初テウイ立ニ院へ行又ヲリフシ時雨フリ木ノ葉フク風サソヘバ猶サビシイコレジ節ノ感也スコシ―少シ日、数タチ忘レルヒマニ又時節ニ感シテウルヲウ也ヨサリ―只今院ヘゴザレドモコヨヒハ二条院ヘゴザルト云ニナツテ也ヤガテハスクニ也院ヨリ二条院ヘスグニゴザル也ソノマ、也士ハ源ニツカハル士也悉ニ非ズ大分ナレドモコレハ院ヘユク也源ハ院ヘユク此今ハ二条院ヘユク也カシコハ二条院也コノユクハ侍ノ人々也ヲノ、ハ人ゞ也トヂムハ止メル也コレガ止テモウ源ゴザラヌニ非ドモサビシイ也オト、モ―平生カナシカリシ上ニ源ノヲ出ミレバ猶心細也宮ハ源ノヲバゴ也御セウソコハ必状ニ限(カギ)ラズビンギ也フミヤルモ人ヤルモセウソコ也コレハ哥アル状デモアラン院―源ノ口上也院参(一)スル也アカラーハカリソメ也チヨ

【四七ウ】

ツト也字ニ白地ト書哥ノ題ニモアルツイチヨツト逢コヒヲ白地ノコヒト云也字ノ心シレヌ也ツイカリソメニ出也今日迄ナガラヘ又出テ行様ニモナツタカト也ミダリ心チドウテンスル故マイリ直ニ申上モ却テトリミダラン故ニソナ

ターソレユヘソレヘハマイラヌ也イト、一タゞサヘモナゾキノナカニ又源ノ此様ニ出故又ソレヘモエユカヌ取乱シテアルト云故返答モエ云ヌ也オト、一大臣殿ミ立ニクル也是ハ大臣殿ノテイ也源ノ今日出テユクヲ也御袖一聞エニクヒ也源ノ今出テユカントスルヲ袖トラヘマテト云ニ非ズソフ聞エレドモソレニ非ズ涙コボレル故ソレヲサヘテアル故ノシノ目カホエハナサヌ也須磨ノ卷ニ●コレモ大臣殿ヘ源ノヲイトマゴヒニ行ニコンナ処ニ昔モ御袖エヒキハナサヌニトアル也同事也院ノ被仰事指左大臣殿被仰出テ御ノヲシノ袖エヒキハナサズトアリコレモ源ノ直衣ノ袖ヒクニ非ズ目(メ)ヲエハナサヌ也コレト同事也ミ奉ル―大臣殿ノヨウスミ奉ル女中杯ヲイトシイト思也

【四八才】

大将殿―源ハサマ／＼世ヲ思也葵ノ死去御息処ノ事モノウクサビシイ也イト―又イツモノ通ホメル也オト、一オト、云様ニハタメラウモ泪ニムセブ故エ云ヌ也老人ハソウアルマジイナゲクマイ事ニモ泪モロ也マシテヒソウノ娘死シタ事故ヒルヨ―ハカハクヨナヒ也心―左様ニ思ヒマトハル故心ヲエノドメト

リシヅメル事ナラン也ノドメハナダメトコイ也通ズ人メモ―ヨソカラミテモミダリガハシク見ヘ心細クミエンソレ故院ヘモエユカヌ也取ミダシ人目アシカラントテ也院ヘコザラハナソノ詞ノ序ニ左様ニ趣ケサセトハ人目ハルク取乱サント思ヒエ院参セヌ此趣被仰上クレヨ也イクハク―限シレタ老ノ末ニ葵ニ打ステラルガツライ也セメテ―左様ニ老ノ―ト云レヌ処泪ヲサヘセメテ也君―ハナク事也ナケバ啼睡(テイダ)トテ泪タレバハナ出也即ナクコト也源ノナキ／＼被仰ハヤクレ―老少不定也サガハ常也ヨノナラハセシレタ事トハゾンジ乍モサシ―平生老少不定トハタレモシレドモサシ當リ当

【四八ウ】

アレハコンナ事ハセ上ニアルマイト思アル事也我身ニ指当也コナタニモソフアラン我モソフアル也院ニモ―アリサマハ大臣殿ノアリサマ也院ニモソ通スイ量セント也サラバ―是面白也各ナゴリシタウ也左大臣殿ハ猶也サマ／＼モノ語アルコレヲエヒキハナタヌ也ソレ故左大臣殿スイリヤウシテモウヲ出ナサレト云情ヲウツシタ者也打―源ノ打ミマハス也アケ―トハ平生ハアケテヲラン葵ノアル時ハアケヌ也主人ナヒ故アケアル也女房―コリカタマリアル也コキ―朋友ノ情恩ノ厚薄デ色ノサマ／＼(メ)アル也平生カナシイ上ニ源ノヲ出故也思―コレカラ又大臣殿ノ詞也夕霧ハヲ子也サリトモハソウアリトモ也葵死トモ也テマヘハソレデナグサム也ヒトヘニ―女中方ハ只今ヲ立ナサル院ヘゴザルニツケモフゴザラン様ニアレラハ思ソフナト也故里ハ人ノヲラヌ処云出テイナバイトゞ故里〔空白〕野トヤナリナント伊物ニアルコレ也帝都ニハ非ズアトフルス心也クツシテハ屈スル心也

【四九才】

クンシテトヨミテヨイ也葵ノ死ヨリ今源ノ出ヲナゲクソウ也平生ナレ仕フマツルナゴリモナヒ様ニナランヤトナゲクソウ也ナル程イヅレモ尤也打―葵トアマレヲナカヨウ心トケテアルテモナヒ故サリトモ―ソフアリトモヲナカムツクトナケレドモツイニハナカヨカラントアイナヒ頼ミシテアル也ケニ―女トモナクガイカサマソノ通カナシイタバナド也イト―源ノ被仰ハイト浅ハカナ人々ノ心底也テマヘソフデナヒ也マコトニ―マコトニ被仰通打トケオハシマスコトハ侍ラザリツレド、云ヲ承ナルホド親フナカリシヨフナレドモ葵ノ親フセウトモスマイトモ也末デハ葵ノ打トケル事モアラント思也イカナリトモトハ葵ノ心テイ云也末長トゾズル程ハ自(ヲ)―末長ト思フ故ヲ目ニカハル事ハナル、也中々―今ハ却テ葵ナヒ故末長打トケムツマジイ頼ナヒ故今

ハ折々(セツ／＼)コネバナラヌ也今—今ゴランナサル心テイシレンハシレント也今ハ「今コントイ、シバカリニ長月ノ有明ノ空(ソラ)ヲマチ出(イデ)ツル哉ノ今也後ノ事也入り

〔四九ウ〕
 (〇四十ウアイナ頼如何日フソウヲウナ頼ヲ云也品定ニ指クイノ女云タコト也此中ニ多コト也アイノウトアル也)

〔四九ウ〕
 玉フハ源葵ト一処ニゴザルヘヤ也御—中ノモヤウ也昔ニカハル事ナケレドモ空—ハナカモヌケ殻(カラ)バカリ残アル也葵死シタアト故ニセン(蟬)脱(一)ノ様也見丁—ミ丁ハキテウ也源ノナグサミノ尽アル也源氏ニ云手習トハ今云ノ手ナライニ非ズカキステル事也目ヲ—目ノワルイ人アル事也老人ナド目アケタリフサギタリヤニナドノケントスル事也ヨフスル事也若イ女中ノ御老人ノ目シバ／＼スルヲエンデモアル也哀—カラノ詩カ日本ノ哥也ケカスハ消(ケシ)タリ又ケサイデモソノ上ヘ書カケテヲク也カシコノ—賢*才ナヲ手也知恵ノアルノウ書ト云事也空—老人ノ事デ目ミヘヌ故遠クセネバ見エヌ下ヨリアリ仰ギミル也ヨソ人—葵死スル故ヨソノムコニナラン也古キ—是ハ長恨(一)哥ノ文也長恨哥ニハヒスイノ衾(フスマ)寒シテ誰トトモニセント云文也古キ枕古キフスマタレトトモニヤト云タハ唐本ニハヒスイノ衾トアレドモニ本ノ古フアル長恨哥ハ皆故キ枕故キ衾

〔五〇オ〕
 トアル是ハニ本ノ長恨哥デ書也ジタイ入り違テアル故枕故衾誰與(与)共トハ昔ノ人ノ詩也ソレヲ長恨哥ニ入ル故ソノ長恨哥デ書ト見ユソレカキ哥ソヘアル也

〇「ナキ玉ゾ—ナキ玉ハ葵也イト、カナシキハイタハシイ也我ネタ処也葵ト一処ニネタ処也ソコノク事シクイ也スレバ葵モノクカラント也下地哀ニノクニツケ猶イトシイ也又霜—是モヒスイノ衾ノ對(ツイ)ニエンワウノ瓦冷シテ霜ノ花重シトアルヲコレデ白ト書カヘルデ猶文勢面白也
 〇「君ナクテ—葵ナクナリ夫婦ギヨシナル床ナレドモタレ拂者ナヒ故葵ノゴザラヌ故チリツモリシ第也トコ夏—花ヲ床(トコ)ニイ、カケル也マヘモアル葵死シタアトデツユヲ打拂イクヨネタ事ゾ也ヒトヒノ—コレヨリマヘニ枯タル—折ラセ宮ニ奉リ玉フトアルソノ宮ヘ奉ハ撫子トヨミ

〔五〇ウ〕
 夕霧ノ事被仰遣「草枯ノ—トアル此時ノ事也草ノ枯タマカキニ残ル形見ハ夕霧也ソレ大宮ヘヤルソノ残ソウ也ヒトヒ—ハ夕霧ノ事也コ、ノハトコナツトシテ葵ノ事ニシテ用タ也アチコチノ用様違タ也宮—コレハ源ノ出テユクアトデ左大臣ノミルソノ哥ヲ持ユキ宮ニミセル葵ノシスルハセウ事ナヒ也カ、ル—ソレハソレデアレドモカウシテカナシイ娘先立ワレ残カウシタグイハヨニナヒデアラント思也契—コレハ前セノシユクエンデカウアラント思ヒサマシテミレドモ先ノヨツラウ思故コンセウハステル也コノヨノカナシサヲコ、デサマス也ケレトモヒ比ヒニマシテ—此大将—ソノヒバニソヘルカナシサト又◇(コノ)大将ノヨソノムコニナルガナゴリヲシイ也
 《四十二丁ヲ—二月十一日會》
 △ヒトヒフツカ—今迄一日二日ヲトダヘシテヨソヘユキコキヘゴザランソレサヘフソクニ思也アカズハ不足也朝夕ノ—源ノヲ出ナサレヌ—葵ノ死ト両方也ツユノ命モ長ラヘマイ也御—聞エル也大臣ノ声ヲシマズ

〔五〇カ〕
 (〇カヘリテツラク先ノヨヲト先ヘツバケテミル也)

【五一才】

ナク故御前ノ人々但サへ哀ニ大臣ノコへアゲナク故イト、也サト―初女ボウ卅人バカリヲシコリテトアルソレガナク也大臣殿ノ声聞一時ニ声アゲサツトナク也時節コト二十月ノ事ナレバ也若キ人―前ノハヲトナシ^井(イ)人^ミ也コノ若キ人ハ御前遠ニナルカミ御死去故サビシクヨリ又我ミノ行末長フコノヲカシキニナルマイヤト云也殿(トノ)ハ源ニモカ、ル大臣殿カニ説也下チヘカケテミテモヨイ也ヲ申シノ玉ニツ也若君―ソレナグサミニト此トハ雖也葵ノカハリニハ也イト―ビ弱ナ故也各―此中(ウ)◇(ヲカミニ御)用●ナヒ故里ノ用事無シテコント也アカラサマハチヨツトノマ也マカレデハユク也マイルハ左大臣殿ヘクル也ヲノガシ、―ヲノレ同土ソノ中(ウ)哀ナ事アル也院―父院ヘゴザレハ父院ノ被仰ハヲモテヤセタ也セウジンデアハシイ者召上ラル故ヤセタナラント也ケニハ俗ニ云ケニ也ドウシタケニカウシタケニノケ也ユヘト云事也院ノマヘデア料理進ゼラル也源ヲ御大切ニアツカウ院ノヲ心イトシイ也忝ハ勿体ナヒ也アハレハアチヘ

〔○私考曰サウシハ精進ナリ和訓イモ非是ハ忌居ル義ナリサウシヲトキタルヲ解菜トイフベシ抄略廿五ニノス云々〕

【五一ウ】

付ク忝ハ源ヘ付也中宮―是ハ源ノヲ心セルヲ人也藤壺也コチヨリ御アイサツナヒ中アチヨリサヘ切アル也命婦ハ源ノナカダチシタ王命婦ト云タ人也程フル故ドウゾサゾ御シウセウカケマイ也常―是カラ源ノ御返答也無常ノヨトハナル程大方シル也今正(マサ)ニマ近クミルユヘ世ヲイトヒ出ケニモト思也コノモモ雖也タビノヲ尋ナサレ下サルニナグサミ今迄カ、ヅライテアル也

ケフマデモトハ今日迄ナガラヘテアルトテ也イツデモアンナ処ニハ心餘(アマ)ル也サラヌ―ソフナヒ時サヘモノウイ事アル也イト―ゲンノゴヨウス也無レヘ含也アルハソフナヒ時サヘモノウイ事アル也イト―ゲンノゴヨウス也無紋ノ―ウヘノソバ織紋アル者也服ノ間ハ無モンニス上ノ御ゾハ即袍(ハウ)ノ事也ニビ―ニビ色モ服()者ノ色ハウノ下(シタ)ニキルナリエイハカムリノウシロニヒラノニアル者也元ハカラデハカムリノヒボ也二本デハカムリノヲ無也上ヘニアル故二重ニセヌ也ヒボスルハ下タニコヨリデスル堂上ソレ也武ニ出時ハエイマク也大小中

〔○私考曰ムモンノウヘノ御衣夏ハウスモノ冬ハ平織ノ練タルナリ其色椽(ツルバミ)ナルベシ和名抄ニヨルニ椽ハ櫨(イチビ)ノ実(ミ)也コレニテソメタルウスクロキ袍也冠モ無紋定ル義也エヒ巻玉フコト常ノ巻纒ニハアラス又マキヤウ異ナリトイヘリ〕

〔○抄穀ウススキヌトアリ如何曰穀ノ字也ウススキヌナリ〕

【五二才】

将ノシヨクニツイテ帯劔シテ弓箭持出時ハエイマク也今日ソレニ非ズ服()者ハマク也サキヲナカヘ巻コミ上ヘノコヂノソバニヲシ入ル也残ヲナカワリソレデハサミヲク也ソレハサビシイ也様ナレドモエイ生ノ人ノヨソヲウヨリミ事也イツ迄モホメル也春宮―東宮ウム母故カウ云也二―ハ源ノヲヤシキ也ソレニハカネテ院ヘユキ藤壺ヘ行ソレヨリ二条院ヘユクトゴソウアルト見ユソレ故聞也二条院ハ紫ノヲル処也ヲ出シレテアル故紫ニツク女―上ロウハソノ中デ格式ヨイ也サウソキハ装束ノ事也装束(セウゾク)ハ名目(ヌウモク)也セウゾキト云テハセウゾクスルト云事ニナル也源ノコランニ付カノ―コ、ラハナンノ服ナヒ故リツハニ平生ノ服デアル也葵方ノ女中イナミハイナラフ

也大勢居ナランデヲツテ也御一コレニ説アル葵ノ死ハ八月十四日ノバン也妻ノ服(一)ハ九十日也是十月デ服アクト雖マダアカヌ也霜月十五六日ニアク也コレハ服アキ装束召カヘルニ非ズコレハ院ヘゴザル装束ヲノシノイマデキカヘル也同ジ

(○カラノ冠ハアノエイヲ以スグニムスブヤ曰アチノウツ也トモ繪ヲ以ミルニ違テアル也アレニテマクヤシラズ)

(○弓セン持バビラノスル故エイマク也)

(○コヂハカムリノ上ヘニ立タ者也巾子ト書也ソノマヘニテエイヲマキテハサミヲク也巾子ハナカヘ髪チヤセンガミニシテ入レルタメ也エイハサムハ木ニテ割カケニシタ者也)

【五二ウ】

ヤシキナレドモノシノヘヤト紫ノゴザルト違也奉ルハキル事也衣一コレデミヨ衣ガヘハ四月ト十月ト也ハツキリトドモカモ立派ニシテアル衣ガヘジブシユヘアサ一ハハツキリ也ヨキ若イ者ガメヤスイハミヤスイ也少ナ言ハ紫ノメノト也クラマヘモツキユキアルコ、ヘモ付来コレガシヤウナニモカモヨイ也ヲクブカイ少ナ言也ヒメ君一紫ノゴヨウス也久一モウ七八十日コヌナリ葵ノ服(一)ニコモリアル故也少キ一古ハ小児ノ几帳ハチイソウスル大人ノハ大ニスル今モソレ也ウチ一アチラヘ顔ムケル十四ユヘニ少ハヂル也アカヌ一フソクナ処ナヒ也ヨクソロイヨイキリヤウト也ホカケ一ヨル也◇(四十三ウ)夜フケテゾマカデ玉フトマヘアルヨフケル迄藤壺ニアル故也打ソバミテアル故顔ヲカタハラヨリミル也心一此紫ノヲバ藤壺也ヨクニタ也ソノマ、也イト一ヲハゴコヒシウ思フカラツレクル紫ノユカリ也紫ノ名モソレカラ也日比一葵ノ方ニヨリ葵死スル事也必ケウ忌(イマ)地(々)シイ事也ザンジカ間コ

レハ西ノ臺ユヘヲノシノ東ノ臺カ

(○私考曰衣カヘノシツラヒ十月更衣ノ習礼ナリ処々ノ御装束アラタマルヲ云也)

【五三オ】

又ハ外力也今ハ一葵ハ死シ紫ハ十四歳デ成人故コレカラハ毎日ミン後ニハイトイアク様ニアラント被仰ハ少シ昏姻デモノ心匂シテ云也少一紫ハナニゴトカラシラネドモ少ナ言ハ早氣ガ付タ也猶一カノ様ニ被仰テモ外方ニ御息処初メ忍処ヲ、イ也ヤンコト一御息処ノ末ツム花ナドアルカ、ツライハソレニカ、ル事也又一葵上ハ死ダレドモ又御本妻出来ンカ也ワズラハシハ紫上ノヲジヤマニナル人也ニクキ一八源氏ヲ少ナ言ガ我モノニシテ云ハアマリジヤト也ヨクノフカヒト云様也我一東ノ臺也中将一源ノ召遣フ女官也スサミハヲナグサミニ足デモ打シテアル也オホトノ一ギヨシナル也アシタ一ヨアケ早々ニハ夕霧ノ方ヘビンキ、ニヤル也コレハ当(トウ)歳(一)子デフミ見ネドモメノトツキ、(一)ヘビン聞ニヤルブンノ事也哀一是ハツキ、ノ返事也ナガメハモノ思ヒ也サビシクモノ思也サシテハズンダ事ナヒ也忍処ヘモ此比ハゴザラヌ思ヒ立テコザラヌ也紫ノ一アラマホシウハアノ様ニアリタイト思フマ、ニ出来タ也ニゲ一

【五三ウ】

ハモフコンイ也ナサレテモフソウ応ニナヒ也ソウウ応シテ也天葵立ノ時也ケシキ一ハソソナ事ホノ匂シテミル也ケシキニ出シテ云也ミモ一ナンノ事ヤラ知ヌ也ツレ、一忍処ヘハゴザラヌサビシサニコナタハ紫ノ方也ヘンツキ一ハ書物デモ上ヘノ一字書カクス熟字也下ノ扁カクシテ作りナンゾ下ノ字ハナン

ゾト尋也ソレ多云アテルヲカチトスル也元ハヘンヅギナレドモ扁ツギトモ云也同事也心一紫ノテイガラウノハ上ロウラシイ也アイハアイソウノアル也ハカナイハカナイタハムレノ遊ビ事デモ繪カキ花ムスビモコリカウニスル也オボシ今迄ゴ幼年トテ男女ノ交ハ源ノ思ヒハナレテアル也ソノ年月コソソレハヲサナイ方ノアイゲウノウツクシイ事シ出スノカバイラシイバカリ也コレカラハ源ノソノキ付テカンニンナラヌ也心一今迄紫ノヲヤノ様ニ思ヒテアルニソノ事デハ如何思ハント思ドモカンニンナラヌ故ソノ事アツタソウ也如何(イカバ)トウデアツタゾ御コンイン有タソウ也人ノ毎日ソコヘゴザリアル故

〔○扁ツキ也ヘンヲツク也上ヘノ字ハ九デカクシ下タノジハ片ヲカクス也ソノ字ナニト云ス也今ハセヌコト也ヘンツギノヨミハ意如何曰スミヅギコトソガズト同ルイ也ワザトカヘタ者也〕

【五四オ】

イツトキツトキワ立ヌガケジメ也ソウシタ源ト紫ノナカデナケレドモ人一ガテヌユカヌ也ドウゾ也男一源ハノシノキマヘカヘル也人一源ハイニ何レモコヌマ也ヤウノ頭アゲル也初テノコンインキモツブシテアル也コレハシウギ也コウテウノフミ也三日アサゴトニヤル者也一処ニ居ルソレニ及ネドモ心シウギ也硯ニ入ハ返哥セヨノ心也元ヨリソノ心ナクシテミル也
○「アヤナクモアヤナクハムヤク也アヤハモン也必竟キヌニモンノナヒ様也ネタレドモ実キナヒ也夜ヲ重ネハ毎夜也実義ナケレドモサスガ也夫婦一処ニネテモゼヒ肌ニキヌハ身ニツケアル故ナカノ衣トモヨム也ト書スサヒ玉ヘルヤウ也トハ紫ノ上ノナンノ事ヤラガテンユカヌツライ故ソノ哥モツイミル故ニ源ノ書様也ツイザツト書様ニ紫ノソウ思也コレハ紫ノ心ヲ云タ者也カハ

ル一親ト思テアルニソウシタ心源ニアラントハ思ヌ也ナドテナゼニカフハカリノ如ハウラ表テモナヒ様ニ打頼也ヒル一源ノヒルジブンニゴザル也キ帳ノ中

〔○四十六ヲ御硯ヲミス、リト点ス如何宜ヤ曰ドチヘヨンデモ大事ナヒ者也此ルイハドチモ同ヤ曰然リ〕

【五四ウ】

ノゾク也源ノヲ出故恥カシクモアリニクウモアル也イトイブセキハ心モトナイ事ジャ也源ヘスネル様也思ソウハナサレントハ思ナンダ也ナハナアト云キミ也人一人モフシン立ベキ也フスマハヨギハ近年ノ物也古ハミナフスマ也フトンノ様ニシテ手ツク也カラデモ二本デモフスマ也エンノウノフスマト云也ソレハエンノウエカク也御一カムリトムナヒニ源クル故カブル故アツイ也アナアハナアユハシイ是ハイマノシイ也コドモ故ヲドス也マコトニジツニ聞エント思也ヨシノソコデ源ノヲトス也スレバ重テヲ目ニカハラヌ也メイハクシテハズカシイ也コドモ故コレ也エンジハウラミ也御一返事ナヒ也返事アルハヅニナヒハ若(ワカ)ノシイ心也日一日ハ又ヲキゲントツテミテモ也ソノヨサリコレデ十月也カハル一葵ノ御愁セウ也イツモナレバゲウサンニスレドモ也源ノ方ヘアケズ西ノ臺ヘバカリ也色ノニアヤドル也君一南ノ方ハ面テノ方也コレ光ナドヲル也イノコノモチハ七色ノコデトル者也抄ニ書也カズノニトラズ一色ニナリ

〔○フスマツイニミヌ也手ト云ハヒボノ様ナ者也〕

〔○私考曰キノコノモチ并此月ハ一陽モアラヌ陰ノ月ナルカウヘニ陰ノ日ナレハ陽氣ノタスケニ此日人コトニ餅ヲ食シケルニヤ年中行事秘抄ニ大外記師

尚勘文ヲ引テ云々

〔〇〕ヒワリコハヒノ木デシタワリコナリ

【五五才】

〔四十七丁ウ〕二月十六日會

△アスノクレゾー〔空白〕◇(五十一丁ウニアリ)ワライガチノ上へ御ノジ
アツテケシタ様ナリクツ也入レテヨイ也○此イノコノ餅ハ七色ノ粉デトル也
此様ニカズノ色アイデナフ也昏礼ノハ白色也処ト云ハ一色ニト云デ聞
エル也アスノ夜ハ三夜(ミヨ)サシタ也爰デモ三日目ニ餅ツキヤル古来ヨリ
祝義也餅ヲ昏礼ニ具ハ男子ノ家ヘヨメ入ハ我家ヘカヘル心ソレユヘ婦ノ字書
也餅見ルモ死人ニシタ者也アトヘ婦ヲヌノ心也死シタ人ニハ必餅具ヘル者死
人ニ比シテ再ヲヤノ家ヘカヘラヌ様ニトシタ者也白装束デ行死人ニシタテタ
者也ケウハ一イマノシイ日ニ非ズ源ノマギラハセ云也ケウハ亥ノ日也ナン
デモナヒ日也十月亥ノ日ナンデモナヒ日也タハムレアスモテコイノ心也コン
礼ユウベアルヲカクスヲ云又アス云ハニ今日ハト云也抄ニ亥ノ日ハ重
(テウ)ノ日ナレバ忌ノシイト云也聞エニクイ◇(コト)也子ハ一ツ陽也
丑ハニバンメ故陰也ソフタイヨロコビ事ハ半ガヨイ也半(子)ハ一ツ丑ハ二
寅ハ三◇(デ)半也重トハ陰ノ日

〔〇四十四ウ抄ニ亥ノ日ヲ重ノ日トナニ、ヨルヤ日ナニコトモ甲子ヲ初トス
サレバ亥ハ重ノ日也然トモ此書様アシ、亥ハ陰日ト書ハ宜也〕

【五五ウ】

故也ソレユヘ忌ト雖コ、デハイラヌ事也今日(ケウ)ハイマノシイ日デナ
フテモ忌ノシイトマギラハシテ云也打コレデ見ヨ必ケウハルイトテキツ

ト被仰ニ非ズマギラス也ソフ被仰デ惟光心サトイ人故タベコン礼アルト知也
惟光向カヘセバアチニナンギトシリ心トク早スイリヤウ也ゲニ一是モシラヌ
顔シテアチニ被仰ヲ承(ウケ)テゲニ也◇(アノ)●(ア)イギヤウハ昏礼
ノ初也抄ニ愛敬ト書アシイ也愛相也サウハ人ソウノソウ也モチデモキコシメ
スベキ也サテモ今日ハ亥ノコデ少ナ言獻シテ亥ノアクル日ナレバ子ノコ也
子ノコノ餅ト云名目ナケレドモ今日ハ亥ノコノ餅アスハ子ノコノ餅ト當時ノ
作デ云タ者也マメ一実目ニ云也三カ一ツト被仰故イヨノ得トガテンシテ
立タ也三カ一ツハ四也一ガ一ツト云説アル四ナレバ銀ノ皿(サラ)四ハイニ
入レテ出ス男ヘ二ツ嫁(ヨメ)ヘ二ツ出ス銀ノ皿ニ臺シテ花足(ケソク)シ
テ箸(ハシ)ソヘ出スコレヲ末ノヨニハ四ノカズ忌テ三ニシタ事アル也三ス

〔〇私考曰子ノコハイカツカウマツラスヘウ侍ラントハ新枕ノ三ヶ夜ノ
モチキノ数ヲ尋ネ申コトバナリ河海云亥ノコノ次ノ日ナレバ子ノコト惟光カ
當話ニシタルナリフルクヨリノ名目ニハアラズ秘説アリト見エタリ當話ノ作
各イヒカヘタル詞口傳アリ〕

〔〇同三カ一ニテカアランコレモ当話異稱ノ御答ナリ云々中右記寛治五年十
一月二日女御入内之後有三ヶ夜餅事使餅民部卿所被調進也是高年之人
所*役也者紫檀管有螺鈿立燕形紺地唐錦折立有蓋銀坏三盃盛餅*洲濱以
三鶴形置銀御箸〕

【五六才】

ヘタ事アル故三ガ一ツ也三ガ即一ブンジャト云心デ三ガ一ツト云謙(ドモ)
此源氏時分ハ四也三ガトガノ字濁ハ悪也ヤハリ四モツタ時分故三カ一ツハ
爰元ノテンガウニ四モンヲ三モン一モント云様也四ノ字キラヒテ云也三カ一
ト云ガ源氏三ガノ秘事也大事ノコト故抄ニモ書ヌ也抄ニ残シテハ四ノ事ヲ四

ヲ忌テ三カ一ツト云タ事也其外秘スル事ハ外ノ事也云又也コレニ左傳引合ス事アル左傳襄公十_三年ノ処ニ絳縣ノ老人ト云者ナニト云処ノナニ其方イクツニナルト問ハ七十三也ソレヲ七十三ト云ズ其殘_三ガ一ト云也此三ガ一ヲ引合也四百四十一甲子ヲヘテ三ガ一ト云バ是ハカノジ濁也是ハ後ニ付タ説也コノ亥ノ子子ノ子_敬(ガ)左傳ニ合故也甲子カゾヘル事故_三(イ)ノジ働也又

〔○師曰源氏ノ三カノ大事トソノ一ツコノ三カ一也ソノ四ノコトヲ三カ一ト云タト云モ秘事故抄ニ書ノコス也サレトモソノ抄ニ秘スルハコノ四ヲ忌事也尤コノ外ニ此様ナ事ヲ秘スルト云ニ秘事アルナリ〕

【五六ウ】

イノ子モ四百四十一甲子ツモレバ二万六千六百六十也ソレヲ算家ノ算木デヲケバ亥ノ字ノ形ニナル也師説デハソフハ云ドモソレハ後ニ付タ説ト云事也是ヨリ外ニ秘事ハアル事也サレドモ今云事抄ニ無一条一禪閣ノ花鳥餘帖ニモ書ズ別勘ニ書コレ也モノ一モノヲヨクノミコムト思召也人一人ニモ云ズ手ヅカラスル同前ニシガ里デスル也君ハ昏礼タベアル紫モキモ_ツ(ツ)ブス也親ノ様ニ思也源氏色ノニキゲントレドモ直ラヌ也キゲントリワビル也今ムエンニアンナイナク取テクル様也ソレモ面白也年一コン礼アツテハナライトシイ也源氏ノ心二人ノ心コソ一キノウケウ迄葵ノイタミアルニナレトモ今ハ思又也今ハ一ヤモソバニヲラデハヲラレヌ也ノタマヒシ一被仰タ餅三日目ニコトシヅカニシテコレミツ持来也少ナ言一ハメノト也年ユク人也源恥カラント思ヒ

〔○算木デヲケバ(図一)此形ニナル也五ナラベテ六メニハ横ニヲク也コレヨコザンナリ〕

〔○私考曰ヤウコノハコハ香壺ノ管ナルカ此管ニ餅ヲ入テサシ入タルカソノ香壺ノ管ハ色々名香ノツホヲ入ル、管也委ハ絵合ノ卷ニ記シヌ〕

〔○曰花足ハ土居ニ蔵手アル臺ノ事也寸法定ナシ〕

【五七オ】

フカク一_心シ_ラヒハ心働カス事也女ノ弁一ハ少ナ言ガ女メ也紫ノ為ニハ乳兄弟也コレミツ云ハ忍ヤカニヲ寝間(ネマ)へ持ユケ也カウゴハ香入レル壺ヲ入レル箱也三カ目ノ餅ヲカウゴノハコニ入レル者デハナケレドモ今モ云忍ンデ一故焼(タキ)物上ル様ニシテ上タ也本式ノハ青貝或ハ蒔繪ノ箱ニ入レルト云事也コレハ隠シテツボノハコニ入レタ也サシ入一ハコレ光ガ女ノヲル処ノユカヌ故几帳隔テ、弁ニワタシタ也マクラガミハ枕ノ上ミニ也アナ一ア、ナア也カシコハ念入レ也アダニスマツニスナ也アヤシ一ハ弁ガ心ニトウゾト弁ハ若イ人ナリ昏礼ノ事キツカヌ也アタニスナト云ユヘナニヤラシラネドモマヘニ忍一ト云アダニスナト云ユヘソマツニスル事ハ此方シタ事ナヒト也マコトニ一是ハ抄ニ細ニ今ハサルモジト云也サルハアダナト云事云ナト也昏礼トハ云ネドモアダナト云ナト也

【五七ウ】

ヨモ一惟光ガ詞也コナタ發明ナ人ナレバマゼマイ也若キ人一ナニ事ヤラ知ヌ也君一ナニモカモ源氏ヲシエ此餅モ祝ノ餅ト云ナラント也今ハサル一ニ非ズイマハザルモジト云ガヨイ也マヘノ三カ一モ四ノ字キラウト云マギラハス也先ハ四ノ字也イマハザルハ人ノ死ノ事云也インデモイマレヌ者故也漢ノ文ニナンボモアル一処史記ノ六十八セウ君ガ列傳ニカウシユクザカ病ニアリコレ

ハギノ臣下也カウシクサガ宰相也ギノケイ王自ノシヤシヨクヲ如何トアル不偉(フイ)ト書也イマ^非(ザ)ル也死スル事也ソレニ限ラズコ、カシコニ史記ニテモモ一処ミタ也ソノ外ノ書ニモアル者也インデモイマサレノ心也ヨヒ大事ノモノ忌スベイ御祝義ノバン故カノ死ノ字云ナ也人ハ一人ハコソ礼アルヤラ知ヌ也マカレデサセハカウゴニ餅入ガスベリ出也少ナ言ナドソコデ知ルナリ

〔○マヘモ三カ一ト云ユヘコヨヒハ大事ノ夜ナル程ニ死ヌルト云様ナ事云ナト也重清源八云昏礼ニハ人々御中トカ、ズ人々トヲドル故也進覽ト書也又死ヲ弔ニモ進説ト書也又曰常ハ恐惶謹言スミグロニカク也凶事ニハウスズミニカク也コレ常ハナヲ書ツグ心也ウスズミハ書止メル心也スミグロナルハ陽也〕

【五八オ】

思ヒ合―トハヲト、イノ朝紫ノネテアル事ナド思合也御皿―銀ノ皿也銀デゼン様ナヒ銀デダミルカ但貴人ノ事ナレバ銀デスルカ銀ノ皿ニツヅ、也夫婦四ツ也箸モソヘル也ヒマイルベキコトアルニ心サトイ人ジヤ也花足ハ皿ノセル臺ノアシ也花形(ガタ)ナリニホリヌク也餅―モチモ念ヲ入レル也少―此様ニモ被仰ウトハ思ハナシダ也カウシモヤハシハ被仰マイト思也哀ニ―カタジケナヒハゴ念入ルウレシイ事ジヤ也思召至ラヌ事ナク念入也マヅ―ウレシナキ也サテモ―ソフデハアレドモ内々ニハ我ニハ被仰下サレデ也ナハサタンノナ也カノ人モ―コレミツモ我ニ被仰ズコレ光ニ被仰ハ我ニハ子細アリ源ノ心ニタガフ様ニ思ガツライ也サ、メキハ同*朋*輩ト少ナ言云合也一本ニヨノナカノ人モイカニ思ヒツラントアルカクテ―カクノ如ク御コン礼アツテハ

キンリヘモ院ヘモツイカリソメニヲ出ノ時モ静ナ心ナクモドリタイ也面カゲハチラリ

〔○今日モ仏前ニアル花ソククツテアル也ソレヲ云也〕

〔○カシナトアルナノ◇(下敷)上ニ世ノト入レミル也予問曰ヨノナカヘカ、ルコトナイ也カノ人面白也如何曰然リセ間ノ人ノ思フテマヘモアルト必一人サ、ズ云コトアル者也定家ノ本ハカノ人トアリ〕

【五八ウ】

ノ、ト紫ミエモドクタイ也ドウシテガテンユカヌ心ニナツタ也此中迄ソフナカリシニト也通―御息処ノルイ也ヲドロカスハコチニ忘レラルカトテ目サマヌ様ニ云ヲコス也笑止ニ思モアレドモニキ―紫ノソバ心苦クユカレヌ也夜―ヨソヘユケバ紫ニ逢夜ヲ隔ル也イト―外へ通ガナヲウイ也ナヤマシ―作病シテユカヌ也世―葵ノ事ナドヨヲウク思ハル故心進ミモ出来タラバ也月日スダス也今后ハ―是ハヲボロ月ヨノ内侍花ノ宴ノミツ通ノ人也ミクシケドノハキン中ノヲ衣セウタチヌイノ御奉公勤也カウ衣ノ様也ヲ氣ニ入レバヲ手カ、ル也ナヲ―ハミクシゲトノニナレドモ大将ノ事忘レヌ也源ノ事心ツケ思テアル也ゲニ―父右大臣殿思召様ハヲボロ月夜ノ源ヘ心ツケルモゲニ尤デアル也カク―ハ葵ノ上モ死故サテモハ源ヘヲボロ月ヨ進テモフソウ応ニナヒ源不足

〔○私考曰ミクシケトノハ女御更衣ノ儀ニアラス只御所中ノ沙汰人ナリ内蔵寮ノ外御服ヲ裁縫所也西宮記曰御櫛、篋、殿在、貞觀殿中、以、上、臈、女、房、為、別、當、有、女、藏、人、〕

【五九才】

ニナヒムコ也イト―弘キデンノ心也父ゴソフイヘドモ源ヲニクイ也更衣又藤壺代々アイサツアシイ也宮―天子ノヲ氣ニ入レハ悪イ事ナヒ也マイラセ―ハキンリヘユク事思ヒハゲミ居也君モ―源モヲボロ月ヨニ逢事ヲシナメテノ様ニナクヨイ也クチヲシト―天子へ上ヲヲシイト思也タゞ今ハ―紫トコン礼アル故外ワケル心ナク面白也ナニカハ―カウシタ様ナヨニ葵ノウレヘミル也カクテコノマ、紫ノ上デ思ヒ定リワキ心モツマイ也人―ヲボロ月ヨニ限ラズ諸方へ行バドウシテモ人ニ怨ミラル也イト、―ハ葵ノ物ノ化ニヨリ又紫ニモソシナ事アランヤトコリル也彼―イト、オシハ笑止ナレドモ也マコトノ本妻ト頼ニハシツトブカイ故心ヲカレ肌ユルサレヌ也年―年比御息処ヘユク様ニセツ、ユカズヲリ、ユクヲ御息処ノ方カラ了簡シテソレデミスグシテヲカバ也

【五九ウ】

サルベキ―ナンダソウアルベイ時、時（トキ、）ノ語合云タイ事アツテモ先ノ性根ノタシカニナヒ人ニハ云レヌ心ニ思ヒアマル事アルニハナスニハ御息処也ソシナ事云合ス人ニシテヲキタイ也サスカニ―イヤニハ思ドモキツウイヤトモ思ヌ也此―紫也ゴ幼少也カクアル故タレジヤトモタレノ娘トモシラヌ也モノゲ―カルイ人ノ娘ノ様ニ思也知ヌ也父―紫ノ上父ゴシラヌ故コンレイアル故シラサント思召也父ハ兵部卿ノ宮也御―モギハハカマキル也女中ハカマガアル年定ラヌ也紫ハ今年十四玉カヅラハ二十四赤石ノ姫君ハ三歳也ハカマヲ初メル也人ニハ周ネク云ネドモヲシナメタ様ニナヒ也ヲハカマガハ大ナ礼義也一家一門ヨビアツメル男子ノ元服ノ様也女―ソノ様ニコシラヘテモ紫ハ源ヲウトム也コレ思ヒカケヌコンレイアル故ス、マヌ也年比―ヲヤト頼也マツハシハナレ親ムキミ也アサマ―ハアホウナ心ト思也サヤ―

【六〇才】

マ正面ニ顔ムケヌ也キコエ―源ノザレコト被仰モアチニ苦也イヤ也割―セン方モナヒ様ニキノドクガル也アリシ―マヘトハ紫ノ心違マヘノ様ニナフナル也オカシウモ―源ノヲ心也ヒンシヤントキゲンアシイヲ源ノヨイト思ヒ又笑止ニモ思也年比―源ノ被仰ハ年比コナタヲ大切ニ思フ本意ニ違テナレバ―古哥也（◇抄ニ引）ミカリスル―拾遺ニ入ル新古今ニモ入ルモトハ万葉ノ哥也ミカリスルハ天子ノタカモチテ出ナサレカリスル也カタノ、小野ハ処ノ名也ナラシバハナラノ木ノチヒサイ也云カケ也タカハ手ニスヘナツカス者也久ク手ニスヘナツカセバナツクベキニナツカズコヒゾ―ハコヒハ木（キニ）、居也タカハ木ニ居ル者故ニコチヨリナラスレバヨクナツクベキニナツカヌヲ取テ云也ト云テ怨ミモテユク中ニツイ十月霜月ニナル故ニ聞エ玉フ程ニテハコビユク也年―内ハキンリ也東宮ハ冷泉院実ハ源ノ子也葵ノヲヤ大殿ヘユク也大臣

（○カタ野ハ天子ノカリバ也ヲトメ野也カタ野ノミノ、ト云也河内也ナラハ木ノ名也シバト云ハチヒサイ木ヲ云也ナラシハノナレハト重ネ詞也タカノ木ニ居ニヨセタ者也）

（○重清源八云タカハホコニツナグ者也手ニトマルヨリ心安マル也）

【六〇ウ】

―葵ノゴ在世ノ事云也サウ、ハサビシウ思也葵ヲラヌ故也イト―カウ源氏ノ年改トテゴザルニ付思ヒカヘシテ年頭ジャニ源ノヲ出ニト念ズルハコラヘル事也サレドモカシニナラヌ御―源ノゴヨウス年一ツ加故シツカリトスル也タチ―葵ノヲリシ処、イテミル也人々―葵ノ上ノアト故夕霧コトシニ歳

ニナル故人々ヲル源ヲ見奉エコラヘズ源ヲ見ラクルイ也若君一イカウヲトナシウ知恵ノシイ也前後シラズホヤノ笑フル小児ノテイ也マミ一ヲヂナイナレドモ実ハ兄弟故也東宮源ノミツ通ノ子ト人ヤトガメンカ也御一内ノカザリカハラヌ也ミハ御也ソハ衣(キヌ)也ギヨイ也キル者也ミソカケハ今云衣柎ノルイ也衣柎ニ源ノメスキルモノマヘノ通カケテアル也女一コトシハ葵ノヲラヌ故ハヘナヒ也夫婦アツテコソ也宮一母宮ノ方カラ使クル也今日ハ元日ト思ヒカナシミヲサヘテモカクテ出ト聞却忍ブ泪コボル、也

〔○私考曰ミソカケハキヌヲカケル料ニシタ衣架是也其ツクリヤウ類聚雜要抄ニ見エタリ和名抄衣架「ミソノカケ」懸衣架(タナ)也〕

〔○シカケルヲ一説ニハシノジ助字ニモミル也兩説也〕

【六一オ】

昔一昔ノ通マヘノ通ヲ装束コシラヘラク也ヨソイハ装束也イトゞ泪ハ下地(ヲ)イ也況葵ノ上死後ハ也色一ソレユヘサゾソメタ者モ悪ウゴランナサレント也今一ケレドモ今日ハヲヤツレナサレ此色ノ悪ノナレドモキテ下サレヨ也ケツコウニシ尽ス也又一ソノ外ニイミジクシ尽シタ者ヲ衣柎ニカケタ外ニシ立(タテ)タ者持テキテ上ル也必一必源ニコレメセト思召ス下カサネハ袍(ハウ)ノ下(シタ)ニキル者也今日奉ルハキル事也色一色アイモヲリザマケツカウ也心コトニカクベツニ出来テアル也コレキズハナサレタカイナク思召サントテキル也コザラ一モシコズバ今日ノ料(レウ)ニシテラクニザンネンニアラント也心グルシハ笑止也御一(五十二丁ヲ)カクワタラセ一ト云テヤクルソノ返答也逢ハセヌ使也春ヤ一コレモ抄ニ引哥(ヒキウタ)アル哥有テモ無テモ也タゞ春クル故ヲ目ニカ、リニキタ也思一葵上ナドノ事思ヒ出ス故ヨツテナニ事モエ云テヤラヌ云バ葵ノ事ニカ、ル故也

【六一ウ】

○「アマタ年一数年葵上ト御夫婦デゴサルアマタ年ノ元日毎ニ此キルハチャクスル也今日チャクシテミテハ泪フル心チスル年来ト違也葵ナヒユヘエ思ヒシジメヌ也元日ナレドモ也御一アチヨリ返哥也

○「新シキ一新年トモ云ズ也フルハ◇(年)フルウナル老人也重ネ詞也愚一御兩人ノ哥ノテイ愚ナトミエズキツウカナシイコトソウ也コレハ作者ノ評番也

葵卷已畢

〔空白〕再問條々

○預参(ヨサン)トハマイルニアヅカル也召ニアヅカル也重清源八云公方家ニテ預参ト云也堂上ニモ云ヤ日伊物ニ大原マイリノ段カニ召(メシ)

【六二オ】

アヅケラレタリトアル此事也

○僧都(ソウヅ)ハ田ノヲドシニシタ者也人形ニシタ者也カゞシト云モ同者也元僧都ハ元賓僧都ニ似タト云事也又ヒタナルコトテアリコレモ田ノヲドシニシタ者也ナルコト哥ニヨミアリヤ曰アリ

○ヲシネハオクテト思フ人アリ非也ワサダノヲシネトアル也オクテト書ヲシネトヨメドモソレアシイ也多実(ミ)入テヲサレタ様ニナリアル者也

○ヒツチハ茹(カツ)タアトカラハヘル者也古今ニカレル田ニ一コレデヨク別ル也

○カイヤハ番(バン)シテアル也カヤリ火タク家也蚊火(ゑ)屋也又カイコカフ家也鹿ノ為ニ火タク説モアル鹿稲ヲクフヲ追(ヲ)フ為ニ番スルイヘ也鹿火屋(カヒヤ)トモ云也三説也ミナ用也

○ハニフノコヤト云コトアリスマヌコト也土ヲハニトヨム赤菴(土)デヌリ
マワシタ家也サレドモヨイ家モ赤土デヌル也不(フ)審也サレトモ土ヲ廻シ
テヲ、ヒモセズサモ土デシタ様也先ソレ也

【六二ウ】

先君故修理大夫与ニ南冥院殿ニ隔レ年述ニ*職于東武ニ時徴ニ得中堂原安適者
聞ニ和歌者流ノ書帰レ阿日亦令レ從レ駕翁来ニ于茲ニ二次我師那和先生就ニ其旅寓
ニ聽ニ此物語ニ從レ初至ニ葵卷ニ大凡九帖翁曰此書洪漠大率通ニ此九帖ニ則全*編
之积例可ニ以準知矣余再侍ニ華山那和君ニ受ニ其傳ニ毫_モ不_レ漏脱ニ而筆*記且併ニ
記壺井義知所考之官職私考ニ以授ニ子孫不_レ旨出ニ於窓外ニ云明和七庚寅年
二月朔旦

【六三オ】

娥眉湯浅兼道記

(付箋) 南冥院殿

南冥院操山廉節

蜂須賀綱矩(阿波)